い。大統領の聲明に依れば、就中、産業復興法は、諸法案の中心的地位を占め、その精神は他の凡ての法律を貫徹し、復興政策の基礎を形成するものなのである。

政府には、その支配を受くるもの〳〵事情を離れて、別に豫め定まりたる職分だの、範圍だのと云ふものはない。その關係は、常に相互的であつて、被治者の事情の變化するに從つて、政府の機能も變化せざるを得ない。右は寧ろ常套的の言であるが、新政府の法律的及經濟的行爲を評價するに當つては、新にこれ想起するの必要を感ずる。その各部分によりて行はるゝ事が、國家全體の方針に依つて左右せらるべきものであると云ふことも又自明の理である。凡て自明の理と云ふものはさうであるが、この一事にも、重要なる眞理が含まれてゐるのであつて、行政、立法及び司法の機能なるものは、一定不變のものでなく改正せらるべきものであると云ふことを意味する。政府或はその何れの部分も、それ自身何ものでもなく、唯だ何物かのために存在するのであつて、その國民が期待することをなし、從つてその意志に從つて變化すべき筈のものである。

國民産業復興法は或る意味に於て我が實業界に一新紀元を劃するものであつて、その效果は蓋し遠大なるものであらう。その内容の或るものが、我國の傳統的經濟政策の光りに照らして、正統的なりや否やに就て疑惑を懷くものもあるが、大體に付いて云へば、長期に亙る非常の不景氣に對する適切なる民衆的解決法なりと稱して差支あるまい。

その内容を約言せば、實業界に於ける破壞的競爭に代ふるに、建設的協力を以てせんとするにある。濫りに競爭を事とする結果は往々勞働賃金をして、飢餓の點にまでも下落せしめ、製品の實價をして生産費以下に降下せしめ、以て實業界の崩壞を來す事がある。法案の直接の目的は斯やうに弊害を除去し、勞働者をして生活を全うするだけの賃金を得せしめ、實業家をしてその資本と經營に對して適當の報償を得せしめんとするにある。

時は刻々に逼りつゝある。若し政府にして、投資需要の減少に處するの途を講ぜずんば、復興の全機構は甚だしく脅威せられ、去る三月に於ける通貨組織の崩壞よりも更に甚だしき潰亂に陷ゐることを免かれないであらう。これを脫するの途は唯だ一つ企業家に對する信任の或方法を講ずることであつて、膨脹政策を續け、而も通貨と物品の乖離を避けんと欲せば、そは絶對的に必要である。それがためには、恐らく、復興政策の或部分に改正を加ふる必要があるであらう――爲替安定に依つて、弗の下落と國内物價との間に存する心理的聯鎖を切斷し――適當なる平衡資金の設定に依り）投資に對し、直接、間接に刺戟を與へ健全なる膨脹策を遂行し、失業者に直接の補助を與ふる等である。

これ等の方法が組織的に行はれるならば、よしその作用は緩漫であるにせよ、尚ほ復興戰を救ふことが出來るであらう。國家干渉の度を益々高めることは勿論、投資に對する嚴重なる制限を緩和することを怠るならば、政府は愈々社會主義的となりて、剩さへ適當の人物と、その協調を缺く今日に於

ては、潰亂に陷るの外はなからう。右の方法を取らないとならば、極端なるインフレーション（卽ち紙幣の發行に依りて公債を償還し、銀を通貨となし或種の作物の代價を支持する等の手段に依りて）を實行する外に選ぶべき途はない。それに依りては甚だ便利であるが、後にはその困難をして益々甚だしからしむる所以にして、物價は騰貴するも、安定せる平衡を恢復することは到底不可能となるであらう。

産業復興法は全國行政組織の基礎となるべき廣汎なる社會的原理の上に立つてゐる。その原理と云ふは米國民の生活は、一箇の全體的作用にして、その如何なる部分も、他の部分と交渉なくして存在することは出來ないと云ふことである。これ米國の行政部が三月四日以來、廣き前面に於て、一齊に活動を始めたる所以であつて、農業、銀行、通貨、信用、有價證券、勞働、工業及び公共事業等の方面に渉つてゐる。他に關係なしに、以上の中の一二點に對して如何に努力を費やしても、それは效能がない。彼等はこれを一箇の組織として取扱ふことが肝要である。

過去に於て、彼等は屢々右の有機的見方をすることを忘れ、目かくしを附けて、只だ一方のみを見詰め、その中の大問題のみに付いて注意すれば、或見えざる自動的の力があつて、必要なる整理按排をすると信じてゐた。過去四年の經驗に依りて彼等の敎へられたことは、社會的目的を達せんがために、斯やうな自動的勢力に依賴するの愚の至りであると云ふことである。彼等の求むるところは債主の利益でも、負債者の幸福でもなく、債主も負債者もその一部分を成す社會全體の利益を增進することである。

一見したところ、利害相反するが如く見えて、その實密接の關係を有すること、勞働と資本に如きものはない。勞働は資本に依賴するも、資本は勞働に依存しない、故にこの兩者の利害を調和せしめんとするは、一箇の妄想に過ぎずとは、これまでの見解であつた。右の意見は、工業品に對する大市場が國內に於ける勞働階級の外にあり、工業生産の大部分が、國內の富裕階級及び外國の市場に吸收せられ、國內の勞働階級がその大部分を消費せざる社會に於ては、或程度まで、眞實なりと云ふことが出來る。併し斯やうな狀態は、工業の進步せる諸國に於ては、最早や、存在しない。現在の文明社會に於ては、その社會の全人口は卽ちその經濟組織を形造るのであつて、その國の產業は、勞力と原料を供給する社會に向つて、その生產物を賣りつけることを考へないわけには行かない。斯やうな事情の下に於ては、資本も又勞力に依賴せざるを得ない。若し勞力が使用せられずして、多數の失業者を出すことゝなれば、資本はその生產物に對する購買者を見出すことが出來ない。多數の購買力を復活せしめんと欲せば、多くの勞力を使用する外に取るべき途はない。

產業復興法の直接の目的は、多數の勞働者をして、以前の如く、再び購買者たらしめんがため、彼等に職を與へんとするにある。如何にして、その目的を達するかと云へば、勞働時間を短縮することに依つて、被傭人の數を增加せしめるのである。併し勞働時間を短縮したるため、それに應じて、賃

金を低減すれば、結局、社會全體の購買力は増加しないこと丶なる故、賃金を低下せしめざらんために、法律は最低賃金を規定せんことを命ずる。勿論法律に於て一週間の勞働日數、一日の勞働時間最低賃金等を規定することをしない。それ等のことは産業の種類と、地方に依りて、それ〴〵事情を異にすること故、各種の産業に於て、その組合を設け又その協議に依りて規定を設け、政府の認可を受くることゝするのである。

國民産業復興法は、二箇の題目を持つてゐる。第一は、産業復興で、第二は、卽ち公共事業と建築計畫と題してゐる。この第二に關することは、此處には、暫らく問題外とする。第二は公共事業及び建築の計畫に依りて、多くの人々に職業を與へ、彼等の購買力を増加することに依りて、第一の産業復興に力を添へんとするのであらうが、産業の組織及び産業に對する政府の協力と云ふ興味ある問題に對して直接の關係はない。

第一節は議會の政策と、その政策の基礎となれる事實の記載より始まつてゐる。その事實は要約して、産業上に於ける統制缺乏のため、州外商業の點に種々の妨碍の起れること、失業者の増加に依りて、生活標準の低下せること丶なつてゐる。この事實を基礎として、議會はその妨碍を取除きて、自由に州外商業の行はれんことを庶幾する旨を述べてゐる。如何にして、その目的を達するかと云ふと、商工業の組織を全うすることに依りて、各種の商工業間の協力を促進せしめ、適當なる政府の指導監督の下に、管理と勞働とをして協調せしめ、不當なる競爭の跡を斷たしめ、生産に對する不當の制限を撤去して、十分にその生産力を發揮せしめ、一般民衆の購買力を増加することに依りて、工業品及び農産物の消費を増加せしめ、失業者の數を減じ、自然富源を維持すること等に依るのである。

第二節に於ては、この法律は臨時的のものにして、裁可の日から二年間を一期として實行すべき旨を規定し、第三節に於ては商工業組合或は團體は規約を作りて大統領の認可を得るを要し、大統領はその規約がその會員に對して不當の制限を加ふることなく、又その企圖に於ても、結果に於ても、獨占に陷いり、或は小企業に對して、差別待遇をなすことなきを確かめたる上にこれを許可すべき旨が定めてある。

法律は明白に、獨占の目的のために、規約を作ることを禁じてゐる。大統領は規約を認可するに當りて、使用人、消費者及び一般公衆の利益を増加せしめんがために、或種の條件を更に課することが出來る。

一旦規約が認可せられた上は、その條項はその會員に取りて一箇の公的標準となるを以て、これを强制するを要し、その違反者に對しては、次の三種の方法を取ることが出來る。第一、聯邦商工委員會に申告して、その處分を求むること。第二、聯邦地方檢事から聯邦地方裁判所に向つて禁止命令を要求すること。第三、刑事々件として各違反事件毎に五百弗以下の罰金を課せらるゝこと等である。

或種の産業或はその小區分に於て、規約を作成しない場合には、大統領は彼自身の發意又は他の要求に依りて調査會を設け、審議の上その必要が認められた場合には、大統領に於てこれを作成す。勞働に關することは、第七節に定められてゐる。使用人たるものは、彼等自身の代表者を通じて、團體的に傭主と交渉する事の出來る旨が記されてゐる。又、自由團體的交渉の行はるゝ産業に於ては、傭主と使用人とは双方協議の上、勞働時間の最高限度、賃金の最低額、その他の勞働條件に關して協定を作ることが出來る。それ故にそが大統領に依つて認可せられた場合には、正當競爭に關する規約と同樣の效力を有する。

第三節　産業復興法の行政的機構

前述せる如く、産業復興法は、著るしく行政的性質を帶ぶるものなるが故に、その作用と效果を明らかにせんがためには、先づその機構に付いて一言するを要する。該法律は、大統領に對して無限の權力を附與し、その必要と信ずる機關を設置し、適當の人物を任命することを得しめる。大統領はこの權力に依りて産業復興長官（Industrial Recovery Administrator）の職を設け、國民産業復興委員會（National Recovery Board）を置くことにした。委員會は商務卿、司法卿、内務卿、勞働卿、聯邦商業委員會議長、及び豫算局長等から成立し、委員長は商務卿が當ること、なつてゐる。復興長官の椅子はヒユー・エス・ジョンソン少將（Brigadier—General Hugh S. Johnson）に與へられることになつたが、將軍は軍人と、法律家と、實業家とを兼ねたる人物にして、復興法案の形成を見るに至りたるは、主として將軍の建設的技倆と、倦むことを知らざる努力に依ると云はれてゐる。今一人法案の作成に與つて力ありたる人物がある。そは評議員長となれるドナルド・リツチベルグ氏にして氏は調和の才に富み、將軍を助けて大に貢獻するところがあつた。

復興委員會の助言に依りて、復興長官は該法律の中心思想たる、一産業に於ける異なる利害關係者の協力を實現せんがために、努力すること、なつた。その目的のために、彼は三箇の顧問委員會を設置すること、した。一は産業を代表し、二は勞働を代表し、第三は一般消費者を代表する産業委員は商務卿に依りて指名せられ、勞働委員は勞働卿に依りて推薦せられ、一般消費者委員は、商務卿及勞働卿の提出せる表中より復興長官自からこれを任命する。

以上の委員は、何れも、世に知られたる人物にして、それ〴〵特殊の利害を代表する。斯くて産業委員は、單にチーグル、スウオーブ、スローン及びハーレー等の如き大産業の指導者を包含せるに止まらず、ジョージアのウイリアム・ジユー・ブリーン、サウス・カロライナのデビッド・アール・コーカー・カリフォルニアのジョン・ビー・エリオットの如き小企業の代表者及び獨立せる人物をも網羅してゐる。これと同樣に、勞働委員の中には、米國勞働聯盟の代表者もあるが。獨立組合は合同衣類業者のシ

ドニー・ヒルマン氏に依りて代表され、組織を有せざる勞働者はコロンムビア大學敎授レオ・ウオルマンに依つて代表せられてゐる。消費者委員會も又種々の方面を代表せる人物に依りて成立してゐる。

これ等の委員會の職能は、單に政策問題に關して、復興長官に助言を與ふるに止まらず、異なる意見を調和し、綿密に規約を檢閲してその意見を陳述し、規約を檢閲することが、今日までに於ける主なる作業となつてゐる。劈頭第一に行はれたのが綿織物業者の規約にして、七月九日に大統領の認可を受くることゝなつた。

綿織物業者の規約の調査は、最初のものとして重要なるを以てジョンソン長官自ら司宰し、調査會は五日に亙り三十人以上の參考人が召喚せられた。そら等の人々の中には織物會社、同業組合、勞働組合、生産物の分配者及び消費者、ネグロ産業同盟、國民婦人會等の代表者があつた。調査研究の結果、多少の修正を加へられることゝなつたが、その修正の箇條を見れば、復興法の目的を最も明白に認めることが出來る。

規約の原案は、一週間の最高勞働時間を四十時間としたが、勞働代表者は、これを三十五時間に低下すべしとの修正案を提出したが、成立せず原案の儘となつた。その理由は、成程、現在の生産水準に於て、一週四十時間としたゞけでは、一九二九年以來失業者となつたもの〻凡てを就業せしむることは出來ないが、一九二七年絶頂時の平均よりも一割三分多いと云ふにある。

賃金に關しては、原案では北部は一週十一弗、南部は十弗となつてゐたが、十三弗と、十二弗に修正せられた。現在に於ては綿織物の工賃は五弗と六弗が普通になつてゐるが、一九二九年に於ける實際賃金に引戻さんとすれば、北部は十三弗、南部は十二弗としなければならないと云ふのである。以上の賃金は、一九二九年に於ては、四十八時間に對するものであつたが、四十時間を減少して、同一の賃金を與へんとするのである。併し最低賃金を右の如く增加しても、それがために消費者に及ぼす代價の騰貴は極少なるべしと想像せられる。

その他の修正の一は少年勞働廢止に關することで、滿十六歲以下の少年勞働を廢止すべしとの議は、意外にも產業側から提出せられて採用されることゝなつた。競爭に關することは將來に讓りて暫らく保留することになつたが、同業組合を通じて代價その他の條件を公表することにして、不當の競爭を防止するの案を考慮することゝした。それ等の原案は規約それ自身と同樣に、政府に提出してその認可を受ける筈である。

綿織物業者の規約は、現在のところ、主として勞働問題に止まつてゐるが、それでもそれを作成し、必要なる機關を通過して、愈々決定するまでには月餘を要した。その他の產業に於ては、今後續々同一手續を取る筈であるが、衣服裁縫業、石炭、石油及び請負業等に於ては、既にこれに著手してゐるが、それ等の規約の中には、產業の經營に關するものもありて、多少の議論を惹起することであらう。

産業復興法の主なる目的は、著るしく促進せられたる生産力に歩調を合はすべく、一般民衆の購買力を増加せんがために、凡てのものに職業を得しめんとするにある。その目的を達成せんと欲せば、その途に横はる妨碍物を取除くことが先決問題である。加之、この法律をして、十分にその效果を發揮せしめんと欲せば、廣き前面に於て、一齊に活動を開始することが肝要である。されば細目に渉る事や、不急の事は後廻はしにしても、この法律の趣意を體得して、凡ての重要産業に於て、一齊に勞働者も資本家も政府を助けて活動を開始するを要する。

政府の方針の動搖不定のため、復興は阻止されたのみならず、更に惡結果を殘すこととなつた。復興は、一時その迅速にして、範圍の廣き點に於て人の注意を惹起したが、實際の變化よりは寧ろ恐怖と希望に依つて起つたのであつて、當然不平均たるを免れなかつた。市場の組織改善の如きも、その重要なる部分であつて、何事か出來事を待望する傾向があつた。殊に人爲的物價引上法に依つて、需要の增加せんことを期待した。斯くてそれ等の期待に依りて、運動それ自身が無益となり、生産の量よりも寧ろ物價に影響を及ぼし、斯くて復興の勢力を阻止せんとする危險が起つた。經濟組織の最も敏感なる點（卽ち投資の範圍）に對する干渉のため、この危險は益々甚だしくなつた。併し斯やうな困難に打ち勝つべく、政府に於て、前述せる如き方向への投資を奬勵する事に依りて、一層經常的狀態に復歸せんとする勢力に力を添へることは不可能とは思はれなかつた。

不幸にして、大統領をして耳を傾けしむるに足る人々は、異なる意見を持つてゐた。高賃金が良好の影響を及ぼすと云ふ陳腐なる思想と、消費者の購買力を增加せんがためには、外國の觀察者が想像するよりも深く彼等の心を占領したやうに思はれる。彼等は共和黨政府の政策を踏襲して慘澹たる結果を招來したるにも拘らず、尙ほ「新時代」（New Era）なる思想は、民主黨政府の周圍をも見舞つてゐるやうに見える。當局者は生産が著るしく增加し、將來の需要を見越して、物價の騰貴し始めたことを見た。同時に、他の一方に於て、彼等は消費力が生産の增加と同率を以て增加せざることを知つた。故にその間に處する不均衡を調整する何等かの方法を講ずるにあらざれば、直ちに、新たなる衝突の起らんことを恐れた。斯くて彼等は消費力を增加せんと欲せば、賃金を增加し、勞働時間を短縮する外なしとの結論に達し、その急速に實行に移ることゝなつた。

第四節　産業復興政策の實績

ルーズヴェルト氏の演說に曰く、政府の方針は一般人民の利益を講ずる趣意だ。卽ち最大多數の最大利益を助長せんとするのであるが、どの人にも職業にも商賣にも農業にも、まんべんなく利益を齎らす譯には往かない。何分にも短月日の間に新たに機關を拵へて、それを働かせて往くのだから、四

十八州の各州各地方を擧つて、同時に且つ均等に、時節好轉の惠に與かるやうにはならない。それは物の判かつた米國民のことだから承知してゐてくれると思ふ。併し全國を見渡すと、そこには彼等が誇り得べき事實や施設がある。本年初春に於ける米國の失業は、その實數に於ても割合に於ても世界の何國よりも多く、三月には千二百萬乃至千三百萬人であつた。その中には通常時にも見らるゝ失業者——卽ち仕事口があつても働かないやうな人達などが幾百萬人かゐる。で、職を求めて得られない本當の失業者は約一千萬人と見ていゝ。併し乍らこれ等の失業者中にて少くとも四百萬人の人が職に復した。約四割である。が、彼等はそれに滿足してゐるのではない。前途は遠い。けれども彼等は既にその途に上つてゐる。

然らば復興と云ふ建築物はどう云ふ風に建てるか。この殿堂は米國のより大なる社會的正義、より大なる福祉のために獻げられ維持せらるゝ殿堂である——卽ち健全なる經濟生活の住家である。最早や兩替業や乞食の殿堂ではない。今や彼等はこの殿堂を支持する圓柱をば一石々々と建てゝ居るのであるが、その圓柱は夥しい數だ。一つの圓柱の工事を進めると、そのために隣りの圓柱の進行が一時妨げられるやうなこともあらう。が、全部の仕事は何等の凝滯なく進めなければならない。

この建築の第一要件は直ちに失業者を救濟することだ。それで森林保護團を組織して三十萬の壯丁に仕事を與へたが、この冬もそれを續けることになつてゐる。又州及び地方と協力して、仕事を與へて救濟し、又家庭に付いて救濟することゝして、そのために從來になき巨額の支出をしたが、この年もその支出を減らさないことにしてゐる。次には農地や住宅が低當流れになるのを救濟するために、全國三千一百郡に渡つて、農業信用及び住宅信用のために新機關を設け日に數百家を救つてゐる。先般某氏はこれ等の人々が十分聯邦信用の利便に浴するだけ十分の機會を與へたい故、それまでは農地、家財、住宅の抵當流れ處分を延期して貰ひたいと頼んだ次第であるが、玆に重ねて繰返す、卽ち農地、家財、住宅を失はんとする人々は、早速華府の農業信用行政なり、住宅金融會社へ電報をなすべきであらう。

復興金融會社は商工業及び金融界に對して巨額の貸附融通してゐる。又公共事業資金三十三億弗の內で、十八億弗は既に各種の聯邦政府計畫に割當濟みであるが、尙ほ三億弗は州や地方自治體や個人組織の、公共事業に割當濟みであるが、その中には貧民長屋の改築なども含まれてゐる。殘額は州や地方から適當の公共事業計畫を提供し來るのを待つてゐる次第だ。

更に他の圓柱は農業順應行政——Agricultural Adjustment Administration であるが、これについては南部、西部、東南部の農民が、非常な協力を與へたことは識者の驚いてゐるところである。中西部の農民も同樣に協力してくれるものと確信する。過去二十年來、農業問題は段々惡化して來た。併し乍ら最近六箇月間の進步は、世界にその比を見ないところだ。成る程、七月には農產品の價格は今月

よりも高かつた。が、それは純然たる投機が手傳つたのである。斯やうに投機的の反動があつたに拘らず、一九三三年中に於ける農産品値上りは三割三分である。つまり去年三百弗の收入は今年は四百弗である。尤もこれは全體の平均であるが、牧畜や酪農業は去年よりも別に好くなつてゐないと聞き及んでゐる。著者は能ふ限りの最も簡明な言葉を以て、躊躇なく云ふが、兎に角今日の程度及び範圍の農産品價格の騰貴を以て滿足するものでない、その値上りを更に增して、まだ恩惠に浴してゐない農産品にも及ぼしたいが政府の確定政策の一部分であると、徹底的の意見を述べるであらう。

農業順應行政A・A・Aに隣りして立てるは復興行政N・R・Aだ。それは商工業に勞働者を仕事に就かせ、賃銀增加を通じて購買力を增進するを以て目的とする。それに依つて兒童勞働は廢され、酷使工場は除かれ、非常な低賃銀は終りを告げた。その復業上の成績は、前に述べた數字で判るが、復業は益々續いてゐる。N・R・Aの秘策は協同である。これはブランケット・コード及び各種の特定コードに、任意署名に依るのであつて、既に全國の大工業は擧つて加入してゐる。

復興行政に對しては大多數の無限の支持を受けたが、併し間々ほじくり屋（Chiseler）もゐる。批評や妨害の底には何か自己的利益何か私心が潛む。不平の九割は誤解からだ。例へばつい二三日前にも、N・R・Aは小麥、玉蜀黍、豚の値段を上げ得なかつた、N・R・Aは地方公共事業に金を貸出さなかつたと云ふ不平があつた。勿論N・R・Aは工業組織に對し經濟計畫を講じ不正の取引を一掃して、復業を造るのがその仕事であつて、農産品の價格や公共事業とは何等の關係もない。又商工業方面についても、N・R・Aは村落地方及び人口二千五百以下のタウンには適用しない——尤も特定規約の下にある工場とかチェーン・ストアのある町は別である。

そこではじくり屋にも大きいのばかりでなく、小さいのもゐる。それは虛僞を語つて不當の利益を貪らんとしてする。さる東部大都市の話であるが或商店の販賣員は御客に向つて棉花にProcessing taxがかかるから、木棉シャツ一弗五十仙のものが二弗五十仙になつたと云ふたが、實際そのシャツには棉花は一ポンドしか使はれてゐないのであるから、プロセッシング・タックスは四仙四分の一しか課けられてゐない。この點については著者は都會や町に住む六千萬乃至七千萬の人々が、小額とは云へこれ等のプロセッシング・タックスを甘受することを德とせざるを得ない。綿製品や食料品のプロセッシング・タックスは、全部地方農民の收入を增すことになるのである。

最後の圓柱は、銀行に於ける國の通貨であるが、第一に政府は、一九三三年一月一日以來、店を締めてゐる總ての銀行の凍結資產に對して十億弗を貸附けやうとしてゐる。その資產の評價は寬大にする積りだ。それで預金者には人力の能ふ限り、速かにこの現金を渡すことにする筈である。第二に、

二千五百弗までの勘定に對する政府の領金保險制度 Government Deposit Insurance は明年一月一日から實施せらるゝのであつて、同制度實施前までに、銀行が健全狀態にあるやうに、政府の手に依つて銀行資本の機構をば打建てやうと努力してゐる。

前述せる如き政策が直ちに實行せらるゝとするも、復興の前途には、大なる困難が横はつてゐるのであつて成功は容易な事ではない。斯やうな方法の效果を顯はすは甚だ遲々たるものであつて、他に意外の出來事があつて、その效果を妨礙することなしとするも、それがために充分時間の餘裕があるや否やは大なる疑問と云はざるを得ない。演劇的に大統領の就任式が行はれて以來、今日まで數箇月になるが、この數箇月の日子は殆んど全く空費せられてしまつた。當初に於て成功し得たことも、今日となつては駄目である。何となれば斯く手遲れとなつては、その結果の今後議會再會の時までに現はるゝを期待することが出來ないからである。唯だこの上の望みは議會がインフレーション的の法律を裁可することを差控へ、社會改良法案の一部撤回に依りて緩和を圖ることであるが、恐らく、インフレーションから緊縮政策、國有及び國家管理政策へと動搖を續けることであらう。

斯やうな事情の下に於て、米國に於ける大膽なる實驗も、その國の富源の大と、最初の熱心と、世界的經濟上向の氣運とを以てするも、その成功は頗る覺束ないやうに思はれる。この結果は又直接に、他の方面に於ける復興を妨げ、デフレーション主義者をして、不當の凱歌を擧げしめ、將來に向つて更に惡結果を殘すことゝなるであらう。

併し大統領の動搖不定の政策は、復興に汚點を印し、危險の狀態に陷ゐらしむることゝなつた。彼はデフレーションを阻止すべく健全なる膨脹政策を執る代りに、爲替の下落に依賴した。それ故に爲替運動の重要なることは益々誇張せられ、それがために、合衆國の經濟組織に於ける外國貿易の地位をば、法外に重要ならしむるに至つた。斯くて不幸なる心理的連鎖が外國爲替相場と物價の間に樹立せらるゝに至り復興の氣運は全然阻止せらるゝことゝなつた。

根本的に必要なる物價の騰貴と、商業的活動の增加とは、全然政府の將來の政策に對する投機的期待と、弗の運命に依つて支配せらるゝことゝなつた。斯くして益々弗の下落を必要ならしむるに至つた。この弗の對外價値の下落が實際流通しつゝある購買力の量の增加と並存する間は、それに依つて不安定の生ずる外、世界經濟に不利益の影響を及ぼすことはない。復興は實際の事實に依らず、唯だ信仰と、希望と、恐怖とに依存する。それ故にそれ等の變化は直ちに外國に影響を及ぼし、更に物價の下落を誘起する。疑もなくこれ等の感情、或は寧ろ證券市場及び商品市場へのその直接の影響が狀況の改善を促がす。それに依りてこれまで狹隘なる基礎の上に立ちたる復興作用は健實にせられ、膨脹的螺線運動の開始を見ることゝなる。

大統領と周圍の人々は、斯やうに實際的目的をば重視せずして、經濟現象の交錯と依存性とを無視

した。過去の時代に於ける放恣の狀態は大に多くの人々の心を動かし、多數國民の困厄せるを以て、その正否は兎も角もこれを所謂「大産業」(Big business)の指導者等の責任に歸した。進歩的意見を有する人々は、以前の如く景氣、不景氣を周期的に、繰返へすことに終りを告げんと欲せば、根本的に、社會組織を改革するの外なきことを確信してゐた。

産業復興の附帶事業として、政府は三十三億弗に上る公共計畫を發表してゐる。その中の九億弗は中央政府が直接に支出するものであつて二十億弗は、迅速に失業者に職を與へんがために州政府に補助金として與へ、四億弗は道路の開通改修等のために同じく各州に分配するのである。

この法律に依りて計畫せらるゝ公共事業を監督するために、一人の長官をおくことになつてゐるが、彼は復興局長ジョンソン將軍に對して責任を有する。各州及びテリトリには、各一人の主任者をおくことで、つまり四十九人の主任者があるわけである。

實際に公共的、半公共的事業の一切は該計畫の中に包含せられるのであつて、その項目をすれば、上水道、下水道、貧民窟の廓清、低賃家屋の建設、橋梁の架設、街路の照明、道路の改修及び一九三〇年のロンドン海軍條約の限度まで海軍を擴張すること等である。

以上の如き計畫に依つて、國内の凡ゆる工業會社に對して、種々の材料を註文することゝなると同時に、新たに購買力を得たる人々は、小賣市場を賑はすことゝなるであらう。全國各地に於て一齊に開始せらるべき該計畫に依りて、新たに職を與へらるゝもの〻莫大の數に上るべきは論を俟たない。

所謂、行政部の執れる二箇の主要なる行動とは、第一國家復興法及び農業整理法に於て、政府が個人と協力して、その事業を管理せんとすることにして、第二は卽ち行政部に法律執行の權能を附與することである。

中央政府が個人の事業に干渉し、賃金、雇傭の條件や、商工業の實際に關することを規定して、場合に依つては代價にまで干渉せんとすることは、よし經濟的に見て賢明な政策なりとするも、大體法律上に於て許さるべき事であらうか。これ等の法律は州際及び外國貿易の管理に關すること故、その憲法的正當に對する攻撃は、中央及び州政府の權力に關することの攻撃よりも、一層廣汎なる地位に立つを要する。若しそれ、理論的反對(The doctoinal antagonism)に至つては、實にそれよりも廣汎なるものであつて、その非憲法的なるを證論せんがために、これ等の法律を攻撃すべく「自由競爭」の經濟學說が使用せられる。憲法はその中に自由競爭の醜惡なる行動を隱蔽せらるべき神聖なるものとして使用せられる。

産業の復興と、公共事業の計畫と、農業理法とに依りて、一般民衆の購買力は著しく增加すべく、それに依り又愷かに沈衰せる商況に活を添へることが出來るであらう。

勞働者は固より工業家及び政府と協力することを辭するものでない。繁榮の基礎を築かんとすることとは、要するに一個の勞働問題に過ぎない。協同作業に依りて生ずる結果を公平に分配することは、卽ち多數市民の購買力を增加する所以であつて、それに依りて各種の工場はその繁榮を恢復することが出來るであらう。産業計畫とその收入の分配をして公平ならしめんがために、勞働者は組織する自由を與へられねばならない。産業復興法は、勞働者に對して必要なる凡ゆる機會を保障してゐる。

勞働團體は、失業者の增加と、不景氣に依る收入の減少とに依りて、その勢力を減殺さるゝことは寔に止むを得ない。併しそれがために敢て勇氣沮喪することなく、全國民のために、復興と經濟的進歩を圖るべく努力せんとする決心を持つてゐる。

産業復興法は始めて、工業なるものが資本家と勞働者の双方の利益幸福を目的とする一個の組合事業なりと云ふ事を認めたものである。是等の兩團は更にその利益を增進せんがために、相協力することを要すると同時に、一般社會に貢獻することを忘れてはならない。然らざれば、彼等はその收入の本源を失ふであらう。今日までは、生産事業に從事する勞働者等は經濟的及び技術的の進歩に與らなかつたのであつて、工業はその分配機關を支配する少數者を富まさんがために行はれた。如何にしてこの内部の管理が行はれたかは、上院の産業調査書に依りて明かにせられてゐる。

富を生産するものは、生産勞働者なるが故に、彼等はその結果に對して、公平なる分け前を得べき筈なるに、機械の進歩と生産の增加に依つて來る利益の大部分は資本家の間に分配せられて、勞働者はその分配に與らなかつた。併し新制度の事業は兩者の協同經營に係るものにあつて、各協同の目的のために努力すべきものなることを認むるに至つた。而して政府は公平の態度を以て兩者を監督せんとするのである。

産業復興法に依りて、大統領は組織せられたる工業及び勞働者に、その事業の管理と、勞資間の關係を規定する機會を與へ、その裁定を承認し、或はこれを拒否する權利を與へられてゐる。若し各自の團體が公平なる競爭に關する規約に就て合意するに至らざる場合には、大統領は進んで最底賃金、最長勞働時間及び雇傭に關するその他の條件を規定することができる。

若し傭主がその規定に違反する場合には、一件毎に五百弗の罰金を課せられる。その違反行爲が續く間は、又一日毎に新たなる行爲と見做す。かくして大統領からその權能を委任せられたる官憲は、資本家をしてその規定を守らしむべく充分にこれを監督することができる。

産業復興法の目的はかくの如き狀態に處せんがために外ならない。卽ち事業の經營に於てもフェアプレーの規則を守るの必要を明示するのであつて、無用の競爭を制限すると同時に獨占の弊に陷ゐることを避け、資本家と、勞働者と、消費者の利益を齊一に增進せしめんとするにある。右の目的を達せんがために、或る工業界の多數が協同して、組織と規約を制定するに當りて少數者がこれに違反し、

或は無視する場合には法律に依りて制裁を加へることゝするのである。

競爭絕滅の結果、獨占の弊害に陷る時はそれがために一般社會は損害を蒙るべく、さりとて無制限的に自由競爭を許す時は產業の廢頽を來し、惹いて勞働社會にまで影響を及ぼさゞるを得ない。該法はその各々の場合に際して臨機應變の處置をなすべき權利を與へられてゐる。

國家の監督又は統制の理論と、個人的自由のそれと調和せしむることが、一見困難の如くに思はれるが、實際に於ては產業復興法はこの問題に關して、左程深入りして居らない。一般目的の爲めに個人の權利を抑制することの例外はあるが、その實際の施設に關しては產業自身に委任せられてゐる。非トラスト法は產業上に加へたる種々の制限を撤回したが、併し產業自身如何にせねばならぬかと云ふやうな點は何も規定してない。

第七章　國外投資政策

第一節　國外投資の內容

一九二九年末商務省に於ては、諸外國にある米國の總財產額を七十四億七千七百七十三萬五千弗と計算してゐる。その別は次の表の通りである。これは景氣の絕頂に達した時の計算故に、現在に於ては、相當減價されたものと見なければならない。大體に於て、以上の數字は「現在に於ける帳簿上の價格卽ち公正なる價格（The Present book valueor the fair market value）を基礎としたもので、株式の所有に關しては、一九二九年十二月の市價を基礎としてゐる。爾來、その收入も減つてゐるし、投資の現在價格も減じてゐるのであるから、一九二九年の評價を一九三三年の今日に於て、そのまゝに受けるわけには行かないが、併し價格の如何は重大な問題でない。

元來、それ等の投資は、資本の輸出を示すものであつて、米國の國際的支拂のバランスに於ては、借方として現はれる。併し外國貿易及び外國爲替に於ける投資の減少、或は國內に於ける節約はその收入の如何に依賴する。故に米國の直接投資額を最早七十四億弗と計算することが出來ないと云ふこ

とは、それに依つて生ずる利益が減少することを示す點に於てのみ重要である。

加奈陀	十九億六千三十二萬弗	
歐洲諸國	十三億五千二百七十二萬弗	
キユーバ及び西印度諸島	十億五千三百七十一萬五千弗	
メキシコ及中央亞米利加	九億一千七百九萬三千弗	
南米諸國	十五億四千七百八十九萬五千弗	
阿弗利加	一億二百二十九萬弗	
亞細亞	三億九千四百五十四萬弗	
濠洲及びニユージーランド	一億四千九百十五萬四千弗	

この不景氣時代に於て、米國の產業が外國に於て定著しつゝあることに付いては二箇の要素がある。第一は投資の性質と、目的に依るのであつて、一九二九年に於ける米國の外國投資の性質は次表に依つて明白である。

	割合		割合
製造工業	二一	農業	一二
公益事業	二三	販賣業	五
石油業	一六	雜業	五
鑛業及び鐵鑛爐	一六		

石油、鑛業及び農業等に對する投資は石油井、鑛山、及びゴム、バナナ、砂糖等の耕地に依りて代表せらるゝもので、その所有者が僅か二三年の不景氣のために、これを處分するを欲せざるは、國內に於ける類似の業務に於けると異なるところはない。又、確實なる基礎を有し、殊に相當の歲月を閱したる製造會社や、公益事業會社が、數年の後には、景氣の恢復することが目に見えてゐるのに、不景氣のために、引上げると云ふことはあり得べきことでない。例へば、國際電信電話會社、シンガー裁縫機械會社、國際收穫機會社、國際一般電氣會社、イーストマン・コダク會社等の如き有力なる大會社は、以前には、それ〳〵相當の利益を擧げてゐたのであるから、一時不景氣になつたからとて、その事業を中止して引上げる理由はない。

比較的小資本の販賣會社や、好景氣の波に乘じて、俄かに設立せられたる小工場抔が閉鎖するに至るは當然のことなりと云はざるを得ない。相當の資本を有し、徐々に發達して、堅實なる基礎を有するものは、數年を平均して利益を得る希望の存する限り、引上げると云ふやうな事はない。

外國に於ける米國の利益が、その國の內部に於ける不安又は半戰狀態に依つて損害を受けることは、以前からあつたことで、新らしいことではない。米國が滿洲に直接に投資せる額は甚だ少なく、支那

に對する投資の約六割五分は上海に集中してゐる。卽ち上海動力會社、上海電話會社の如き公益事業、スタンダード石油會社の如き輸出業、銀行業及び僅か數百萬弗に過ぎざる製造工業等である。從つて日本の上海攻撃に際しても大して損害を受けなかつた。支那に於ける米國直接投資は、日本の占領が滿洲に止まる間は損害を蒙むる惧れはない。併し一九三二年四月に於ける中米の內亂に際しては、米國のバナナ會社は保護の不足を訴へてゐる。ニューオーリンスのスタンダード果物及び汽船會社は、ニカラガに於て、七人の使用人が殺害され、運輸機關の缺乏せるため、五萬房のバナナが腐敗せる旨を報じ、米國の軍艦を引き上げることに對して、嚴重に反對してゐる。ホンヂュラスの內亂に際しては、同社及び米國果物會社の所有に係る鐵道は、大なる損害を蒙つた。外國に於ける米國產業の將來に關して、頗る重要なることは西班牙及び智利等に於て、これまで米國の會社が經營し來つた協約を全然廢止するか或は改正するかの問題である。

米國の投資に付いて、正確なるレコードを有するは、加奈陀だけであるが、併しこの不景氣時代に、米國から投資せる外國は、加奈陀に限らない。一九三二年の三月から十一月までの間に、米國の會社は、英國に於て、新たに百五十四の工場敷地を購買した。紐育・タイムスは過去二年間に於て、米國會社が、アルヂェンチナ、濠洲、獨逸、瑞典、英國、佛蘭西、印度及び伊太利等の諸國に支社を設立したことを記載してゐる。

一九二九年以來、米國の會社が、外國に於て、何程の投資を試みたかは、正確なる調査を試みた上でなければ、判らないが、加奈陀に於ける程顯著なものではないにせよ、差引勘定大いに增加してゐることは疑ふべくもない。

外國に於ける米國の公益事業會社は、不景氣中と雖も、少くとも、その一定の料金を維持しつゝ多少の利益を擧げてゐるやうに見える。尤も製造業よりの收入があるので、その損益勘定を正確にすることは困難である。例へば、國際電信電話會社は、一九三二年に於て、一株に付一弗二十仙の利益を擧げてゐるが、外國に於ける電信、電話のサーヴイスに依つて得たる利益は、その中の一小部に過ぎない。一九三三年に於ては、同社は固定費を支辨すべく四百萬弗程の缺損を來してゐるが、その理由は、外國貨幣に依る料金は比較的安定的であるに拘らず、外國爲替下落のために、これを弗に換算する時は、一九三二年よりも少なくなるためである。

勿論、外國に於ける米國の工場及び商店の狀態は一樣でない。必要品を販賣する會社の如きは、不景氣の第三年の終りに於ても、相當の利益を擧げてゐる。コーン精製會社の外國支店は一九三三年に一割の利益を擧げ、英獨兩國に於けるウルウォース商店は、同年に六百十五萬五千弗を儲け、米國藥劑會社は、英國に於けるブーツ會社の株式所有に依つて百八十四萬一千弗の配當を受けてゐる。これに反して自動車、工場、事務所の設備品の如きは著るしくその販賣額を減少してゐる。これを平均す

れば、一九三三年に於て、外國に於ける米國の事業は利益を擧げてゐないかも知れないが、或會社が相當の利益を擧げたことは疑ふべからざる事實である。

第二節　國外投資の影響

第一、産業の國境を超えて移動すること（産業の國際化）は、正當にして、永久的なる世界經濟の現象にして、長期に亘る不景氣すらも、その組織と、投資の發展を根本的に變化せしむることは出來ない。著者が他のところに指摘せる如く、そが原料を利用せんとする「輸出の新技術」となるにせよ、或は單に米國の金融的、技術的財源の發展に過ぎざるにせよ、その運動は永久に、堅實なるものにして、一時の不景氣位で阻止せられるものでない。

併し外國に投資せんとする正常的傾向に對して、種々の妨礙のあることを忘れてはならない。例へば商業貿易に對する種々の制限にして特に外國人の企業を目的として適用せられることもあれば、一般的なることもある。

併し今後數年の間に世界の産業界が恢復の運に向へば、非常識にして、極端なる種々の制限は漸次撤回せらるゝに至るべく、從つて、外國に於ける米國の投資事業も益々發展するであらうと思はれる。

第二の問題は國際貸借に關することであつて、個人主義組織の下に於ては、後進國の開發に必要なる資本は、先進國、即ちその直接消費の必要以外に、生産の剩餘を有する諸國の個人たる投資家に依りて供給せられ、これを貸與するに於て、別に計畫も秩序もない。投資國に於て、貯蓄の豐富なる場合には、それが生産的に使用せられるや否やに付いては、多く考慮を拂ふことなく、自由に貸出された。それ等の資金は、固より生産的に使用せられるであらうが、これに關して何等の指揮も、規定もない。商況が不振にして、貯蓄が減ずる時は、貸出しは俄然止まつてしまふ。こゝに於て、借主は銀行の供給が止まつた時と同樣の苦境に陷いり、直接に借り受けたる金は悉く生産的に使用し、一文も浪費をなさゞるに拘らず、往々にしてその義務を果し得ざるに至る。斯くて投資家はその投資力が恢復したる後に至つても貸出を躊躇するに至る。斯くして後進國の富源を開發せんがために、先進國の財力を使用せんとする全行程は阻止せらるゝことゝなる。

若し世界全體が、共産主義の諸國に分割せらるゝならば、國際的貸借は政府と政府の間に決定せらるゝを要する。剩餘を有する諸國は、先づ第一にこれを國民に分配すると、外國に貸與へると、何れが利益なるべきかを考慮するであらう。それ故に剩餘の生産が、これを國内に於て使用することに依つて格別の利益を持來さざるが如き性質に屬することがあるであらう。例へば、米國は鋼軌と、鐵道設備品とを製造するに大なる餘力を有すると假定して、これを以て國内に鐵道を敷設することも、外國に於て敷設することも自由である。その場合に、米國はその方面に於ける生産餘力をば遊ばせてお

いて國民に多くの閑暇を與ふべきか、將來の利益を望んで、これを外國に於て使用すべきかを決定するを要する。その決定は、現在に於けるが如く、個人投資家の資本貸與に對して適當の利子を收め得るや否やに依つて支配せられず、剩餘生産を全く作り出さないが、或はこれを作り出し、將來の利益のため、外國に於てこれを使用すべきかの決定に依つて支配せられるであらう。

斯かる事情の下に於て、國際貸借は現在よりも、一層合理的に行はれ、失敗を演ずることは少ないであらう。併し此處にも又二箇の問題が起る。第一は、競爭の動機が取り去られても、事情さへ良好ならば、個人主義組織の下に於けると同樣に、剩餘生産を貯蓄することが出來るであらうか。第二はその剩餘を自由に處分する權力を有する政府は、その國民に直接の快適或は閑暇を與ふることの代りに、不確實なる將來の利益を望みて、他國民の直接の利益のために、これを使用すべきかと云ふことである。

加之、資本主義は現に存在する種々の不都合を取除き得るやうに、國際貸借の方法を改良し得ざる理由はない。斯くするには、現在の方法とは全然異なる國際貸借の組織を必要とする又投資國に於ける作業を集中するを要し、更に進んで各投資國間の協力を必要とするであらう。

何れにしても、外國にある米國會社の縮小又は引上げは甚だ少ないが、これに反して、一九二九年以來、新たに外國に發展せるものは甚だ多い。加奈陀統計局の報告に依れば、一九三〇年八月以來、米國の會社の支社又は出張所を設けたるもの百七十六に上り、加奈陀の歷史上未曾有の事だと云はれてゐる。同國の商務大臣エッチ・スチーヴンス氏は、これに付いて左の如く結論してゐる。「不景氣のために、米國の會社の引上げたものがないではないが、加奈陀の會社の引上げは注意を喚起するに足る程のものではない。寧ろ少數であらう。要するに、米國會社の引上げは甚だ少ないが、これに反して、一九二九年以來、新たに外國に發展せるものは甚だ多い。加奈陀統計局の報告に依れば、一九三〇年八月以來、米國の會社の支社又は出張所を設けたるもの百七十六に上り、加奈陀の歷史上未曾有の事だと云はれてゐる。同國の商務大臣エッチ・スチーヴンス氏は、これに付いて左の如く結論してゐる。「不景氣のために、米國の會社の引上げたものがないではないが、加奈陀の會社の引上げは注意を喚起するに足る程のものではない。寧ろ少數であらう。要するに、米國會社の引上げは甚だ少ないが、これに反して、一九二九年以來、新たに外國に發展せるものは甚だ多い。」

外國に於ける米國の產業は、不景氣時代に於ても縮小せられざるのみならず、却つて相當の發展を示してゐるのであるが、併し種々の困難に遭遇しつゝあることは爭ふべからざる事實である。

第一に、その利益は減少し、往々にして、損失を來すものさへも出來るやうになつた。併しその損益を明らかにすべき信賴するに足る材料と云ふものは一もない。好景氣の勢ひに乘じて、急激に開始せられたやうな事業が、不景氣の襲來と共に、非常の困難に遭遇せることは云ふまでもないことであつて、或自動車會社の如きは全然利益を見ることが出來ないやうになつた。併し堅實なる基礎を有する事業に至つては、本國に於ける會社の狀態と別に變つたことはない。砂糖、ゴム、銅、バルプ等の如き原料を供給する或會社は、本國の會社を離れて、獨立的に利益を擧げることは困難となつた。現在に於ては、原料が犧牲的代價を以て賣却せられつゝあるために、米國の會社は、その外國にある從屬會社から供給を受くるに比して、却つて廉價に、本國に於て購買し得ると云ふ狀態である。併しそは現在に於ける一時の變態であつて、過去に於ては、そのやうなことはなかつたのであつて、將來に

於ても間もなく止むであらう。

斯やうな不利益の事情の存するに拘らず、一九二九年以來の三年間に於て、外國に於ける米國の産業は、大して衰微の色を示さない。併し、外國に於ける米國の會社にして、その事業を縮小し或は全然引上げたもの丶方が多い。

始したもの丶あることは事實である。併し縮小又は引上げたるものに比すれば、新たに事業を開

外國に於て盛んに事業を經營しつ丶ある某大會社主腦部は、最近、左の如く語つてゐる。

商品及び爲替の移動に關して、種々の制限の行はる丶に拘らず、その有價證券たると、不動産たると商品たるとを問はず、外國にある米國財産の大部分を處理することは不可能である。何となれば、多くの國々に於て、その國から資本を移出することを許さないからである。換言すれば、外國に於て、財産を有するものは、これを處理する方法を持たないのであつて、例へばチリーに於て會社を有する米國人がこれを處分せんとするも、外國人は固よりこれを買はない。チリー人にこれを賣却して、その代價としてペソスを受取るとするも、これを國外に持出すことは出來ない。

一九二九年末に於て、米國産業の外國移動の狀態は、相當注意を喚起すべき地位に達してゐる。勿論、米國の外國投資は、決して新らしきことではないが、それに關して、時々斷片的の記事は現はれたが、專門的にも通俗的にもまとまつたものは未だ現はれてゐない。

それ以來、甚だしい不景氣と、國際貿易に於ける有形無形の種々の妨礙の增加せるため、外國に於ける米國産業の發展は阻止せられたのみならず、外國に於ける財産の或部分を放棄するの止むを得ざるに至つたと云ふ意見が一般に行はれてゐる。故に過去三年間に於て、外國に於ける米國の産業が如何なる狀態を辿り來つたかを觀察することは適當のことゝ信ずる。

過去三年間に於て、以上の諸要素の中、何れがその首位を占むるかを斷言するは容易の事でない。併し一九二九年以來、關稅が著るしく高くなれることが、外國投資を誘致するに與つて最も多く力があつたことは、否むべからざる事實のやうに思はれる。殊に英帝國内に於ける關稅協定がさうであつて、英國の新關稅と、オタワに於ける英帝國内特惠協約とのために、英帝國の市場に製造品を輸入することは頗る困難となつた。一九三三年一月、英國政府は、四月一日以後、帝國特惠率を許されんがために、五割以上の帝國の勞力と原料とを包含しなければならない旨を宣言した。英帝國内（殊に加奈陀に於て）にある米國の會社が如何にして、その要求に應ずべきかは固より明白でない。或場合に於ては、本社から一層完全に分離せんがために、更に多く投資することが必要となるであらう。或場合に於ては、支社に於て、既に五割以上の生産をなしつ丶あるであらう。又或會社は引上ぐるの止むを得ざるに立至るであらう。何れにしても、新規則のため、將來に於ては、最少限度の投資もこれまでよりも大なるを要するを以て、幾分か新會社の設立を妨礙

することゝなるであらう。

要するに、不景氣時代に於ても、外國に於ける米國の投資は增加してゐるのであるが、それには種々の原因がある。第一、現存せる財產を引上ぐるに付いて種々の不便の存すること。第二、過去に於ける發展の原因となりし動機の繼續せること。第三、關稅の影響、外國に於て廉價に財產を買收し得ること外國に於ける國家主義に順應せんがため等である。

一九二九年以後に於ける米國の外國企業に、最も大なる影響を與へたるものは、云ふまでもなく不景氣であつて、それがために、利益の減少するは勿論、往々損失に歸することもある。諸外國に於ける關稅の增加、爲替制限、國產消費運動及び國內の動亂等が外國に於ける米國會社の營業に少からざる影響を與へてゐることは論をまたない。

第三節　自給自足の經濟工作

その經濟上に及ぼす影響の第一は、公私を問はず、外國投資の大部分を抹殺せねばならぬことである。相互貿易の主義を維持する間は、我國の對外投資を回收する望みがあるが、自給自足の政策を執ることは、卽ち外國の負債者に對して支拂不能の口實を提供するに外ならない。我國の對外投資額は約百五十億弗（或人々は二百億弗と計算する）で、國債の總額と略ぼ同樣である。偏狹なる鎖國主義を取るために、これを失ふことは、國家國民のために取つて甚だ愚かなこと〳〵云はねばならない。

併し斯やうに巨額の資本の喪失も、これを輸出入の激減に比すれば物の數でもない。商務省の計算に依れば、一九三三年に於てさへも、直接外國貿易に關係せる勞働者の數、二百萬人にして、間接にこれに關係せるものが更に百五十萬人ある。若し米國の輸出が著しく減少すること〳〵なれば、彼等の大部分は失業者となるの外なく、國家は水夫や、棉花及び小麥の栽培者や、鑛夫や、運送業者等に仕事を與ふべく、何等か大規模の計畫をなさねばならない。

若し、米國が管理的、孤立的、自給自足政策を執ること〳〵するも、米國は永久に公共事業のプログラムを以て、その必要に應ずるわけには行かない。そのプログラムは、遂にインフレーションと租稅とが全然私的資本を喰つて仕まふ程の大規模のものとなるであらう。國家自からあらゆる產業を所有し、これを經營することはロシアに於けると同樣の狀態となるべく、而も一層複雜なるものとなるであらう。

そのやうな結果となつても、ケーンズ氏は敢て驚かぬであらうが、サタデー・イヴニング・ポストの望む所ではあるまい。ダナム學長とて、それは餘り極端であると思ふであらう。併し他の業界に於ては、既に、それが相當の勢力を得てゐることではあり、アメリカに於ける經濟的自給主義の振子は、著しくその方向に傾いてゐる。米國の傳統的制度が何時まで斯やうな潮流に對して拮抗することができ

るであらうか、一個の疑問と云はざるを得ない。

或人々はこれに答へて曰く、孤立の必要は現在に於ける外國貿易の不能より來る自然の結果である と。その理由として彼等が第一に擧ぐる所は、國際貿易の安定を保障する金貨本位の崩壊せるは、國際的自由貿易失敗の象徴であると云ふのである。併し實際の事實としては、純然たる國際自由貿易なるものは、何れの國にも何れの時代にも未だ曾て存在しなかつた。それに類似したる英國の自由貿易すらも、英國が米國の愚昧なるスムート・ホーレー法の眞似をして、保護關税法を採擇するに至りし以來、全く影を沒することゝなつた。崩壊したのは、國際貿易と、投資と、金貨本位と、國家的自給政策とを給合せんとする努力に過ぎない。而も論者はこれを救ふの途は國家的自給政策をして、一層徹底せしむるにありと云ふてゐる。

その結果はどうなるのであるか。ダナム氏や、ケーンズ氏等は、經濟的獨裁權の下に、國家的或は帝國的の計畫を意味するものと解する。金本位に從つて、世界の物價を左右するのでなく、これを管理（Manage）せんとするのである。併しサタデー・イヴニング・ポスト一派の人々は、この經濟的孤立を以て、國家資本主義と呼ぶが如きものとは夢想だもしない。況んや社會主義をやである。この一派の人々は、國内の物價が、統計的豫想と、生産者の給合との助力を以て、内國市場の純經濟力に依りて、支配せられんことを希望する。それがためには、敢て獨裁權を要せぬ。何となれば、彼等は國家

的組織の中に、貨幣政策の統一と交換の自由の維持せらるゝことを期待するがためである。

タナム學長は種々の點に於て、更に一歩を進めんとするのであつて、彼は國内の生産者を隔離せんがために、關税壁以上に、政府が行動を執るの必要を感ずる。彼は現在の産業復興法及び農業整理法と並行して、内國生産の收獲物を管理せんとし、それがために、國民計畫局を設置せんことを主張する。彼はそれに對して如何なる權力を附與する積りかを明言しないが、よし獨裁權を與ふるにしても、そは一時限りのことでその必要の去りたる後、個人の自由を許す考へのやうに見える。

自由放任主義のために、すばらしき弔詞を書いたケーンズ氏すらも、經濟的國家主義の中にも、尚ほ第十九世紀の自由主義の幾分が傷かずに殘つてゐることを認めてゐる。彼の國家の計畫が國家資本主義となり、物價機關は政治的に管理せらるべきことを主張するが、尚ほ國家の管理通貨に對しては、或程度の經濟的限度を置かんことを切望する。彼が近著「復興への道路」に於て、不思議にも、國際金本位の新案を公にしてゐる。彼はその金本位の新案を實行するために、關税の壁を幾分か低下するの必要を認めてゐる。併しロンドン會議の示めすが如き、何人も菓子を喰つて尚ほそれを所有するわけには行かない。一たびその通貨政策に依りて爲替の安定を破壞したる以上、これを廢止し、世界市場と、世界的物價平準に適するやうにする外、金本位の經濟的安定に復歸する途はない。金本位を恢復する方法は國家的自給政策と、管理的物價平準を廢止する一途あるのみである。

第四節　世界經濟會議の教訓

世界經濟會議に依つて與へられたる主要な教訓は、政治家、專門家等の多數の會合は、豫め組織的に、充分の準備を整へ、協約の性質條件等に關して協議を整へ置くにあらざれば、效果を擧げることが困難であると云ふことである。

今回の經濟會議に於て斯やうに準備が全然缺けてゐた譯ではなかつたが、不幸にしてその準備委員の報告なるものは滿足なものと云ふことは出來なかつた。その說明は往々甚だ漠然たるものであつて多くの異なる意見を包藏し、一般的結論に達する時には破裂せざるを得ざるが如きものであつた。通貨政策に關することは、比較的に多くの同意を得たものであつたが、それすらも物價の騰貴を策する政府或は銀行の行動が目的を達し得べきや否や、及び國際的貨幣本位が再興せらるゝまで、何程の期間を要すべきか等に就ては種々の異なる意見があつた。例へば英國は、斯やうに標準は他の條件が成就せられた後に、徐々に實現せらるべきものなることを主張した。

併し早晩國際的標準に復歸するに至るべく、それ故にその標準が金本位なるべきこと、竝びにその實行に關する手段等に關して意見の一致を見るに至つたことは重要の事實である。併し商業政策に關する委員會の報告書は頗る漠然たるもので、專門家等は最も熱心に商業的制限を撤去する必要を力說したが、如何にしてそれを實現すべきかに就ては何等の明示もなかつた。

斯やうに缺點のあつたに拘らず、會議が商業政策の上に於てすらも、實質的の進步をなしたことは疑ふべきでない。それ故に若し會議が除々に金本位の或形式に復歸し得る何等かの方法を講じ得たならば、次にそれに適するやうに貿易の事情を導き得たに違ひない。

併し不幸にして、この了解は合衆國の金本位離脫と、その復興政策のために顚覆せられることゝなつた。その進行するに從つて、米國が差當り通貨の安定を圖る意志なきことが明白になり、不安の念を增す計りで、遂には米國が金本位に復歸するの意志ありや否やに付いてさへ疑惑を挾まるゝに至つた。斯くして彼等は集合する以前に、既に彼等が確立してゐると想像せるその基礎を取去られたのであつた。されば最も賢明なる方法は、新たなる協定の基礎が出來るまで、會議を延期することであつて、五月終りにはその決定をなすべきであつたらう。

併し通貨問題に關して、協定に達することの不可能なりしため、その他の貿易の制限に關して討議を始むるや、各國それ〳〵自國本位的經濟政策の主張に依りて、會議が失敗に終るべきことは愈々明白になつた。

併し幸ひにして經濟會議の失敗のため、更に世界經濟の上に惡影響を及ぼすと云ふやうな事は起らなかつた。長い目を以て見れば、國際的協定に達し得なかつた結果は、經濟界の諸方面に影響を示す

であらうが、差當りそれがために國際經濟界に危機を惹起すると云ふやうなことはない。

一時は會議の決裂に依つて、各國間に甚だしい惡感情を殘すことはないかと恐れられたのであるが、更に三週間會議を繼續することにして、その間に各國代表者の頭腦を冷却することが出來たので、不愉快の結果に陷ゐることを免かれた。その結果各國共一時經濟的國家主義を取るに至るのは免かれないとするも、兎に角各國代表者が慇懃に握手しつゝ又の機會を約して別れることの出來たのは不幸中の幸と云はざるを得ない。これを喩ふれば一巨艦が暴風のために目ざす港へ著することは出來なかつたが、無事出發の港へ歸り來つたと同樣であつて、沈沒したのに比すれば、勝ることの事實と云はざるを得ない。

會議後の今日に於て、今一つ思考すべきことは、世界的不景氣の絶頂は既に過ぎ去つて、漸く恢復の運に向ひつゝあるのではないかと云ふことである。英國に付いて云へば、一九三二年の夏頃が不況の峠であつてそれを廻轉期として、爾來少しづつ好況に向つてゐる。若し合衆國に於けるルーズヴェルト大統領の政策が成功し、他國に於ける經濟の調和を破るやうなことさへなくば、右の上向運動は、そのまゝ繼續するものと思はれる。

併し現在の狀態は尙ほ甚だ不安定たるを免かれない。各國何れも、多數の失業者を有し、その社會狀態は頗る危險の域に瀕してゐる。負債者は未だ解脫の途を得ずして時期が經過すれば、破產の厄に陷らんとしてゐる。斯やうな狀態なれば、前途に多少の光明は認めることが出來るが、若し主要の國に於て政治上經濟上に於て誤れる政策を執つたならば、國際貿易上の調子を狂はし、更に世界的物價の下落を將來することなしとも限らない。

第五節　ブレーン・トラスト

世界經濟會議は、全く豫期された通りに、何一つの經濟問題をも解決しなかつた。それは英米佛の三角衝突の影に潛む政策の根本的相違をばまざ〳〵と曝露したゞけのものであつた。會議が葬儀を執行せらるゝか、或は死んだ儘で弔ひを出さないか、何れにもせよ、右の三角衝突は今後も續くであらうが、それがどうした形を取るかは、今のところ豫測は出來ない。が、結局の問題は、傷手を負ふた第十九世紀の經濟制度が、何分の手當を加へられて、餘命を保つか、又それとも全然新らしい何物かの代るところとなるかだ。全世界の運命はこの決定の如何に依るであらうが、然もこの決定をなすものは、人智の力に依るよりも、多分は根源的勢力の自動的な働きに依るかも知れないが、或はその反對に銀行家や政治家の働きに依るかも分らない。何れにもしても、今や歷史は非常な速力で進んでゐるのであつて、こんなことは戰時以外には見られないところだ。

さてその中にあつて凡てを陰にして立つてゐる巨人は、矢張り米國だが、その米國は恐ろしくダイ

ナミックだ——動的だ。米國は果して新時代の基礎をば据ゑてゐるのか、それとも愈々經濟混亂を激化してゐるのか分らないが、兎に角、米國は今や容赦なく思ひ切つて、革命をば促進してゐるのであつて、何國と雖もこれに對して無關心ではゐられないし、又その影響を受けずには濟まない。歡迎するにせよせざるにせよ、ルーズヴエルトは今や世界に向つてその New Deal ——「新案」をば差し出してゐる。而して米國の人達は、全く前例のない一大社會的實驗をなすべく、完全な專制政治の下に降服してゐるので、これも全く前例のないところだ。米國人は何處へ連れて往かれるのか、戰々恟々の態でそれを知りたがつてゐるのだけれども、未だ往く手の見据ゑはつかないでゐる。

一般米國人はルーズヴルエトをば、まだ偉人として認めてゐない。寧ろ彼は他人の書いた筋書をば、上手に演出する役者位に評してゐるらしい。實際ルーズヴエルトが狂言を自作する時には、どうもバランスを失ひ、そして幾らか粗笨らしい。それは經濟會議に向つて爆彈を投じた手際でも判る。それにルーズヴエルトの帷幄の參謀たる所謂「ブレーン・トラスト」の教授諸氏に對しては、米國人は面白半分の侮蔑感を懷いてゐる。

これ等大統領帷幄の學者先生達は、恐ろしく同じ樣な人が揃つたものだ。——英人は勿論米國人でも、この點を承知してゐるものは甚だ少ない。これ等超人は Professor Rexford Guy Tugwell, Professor Raymond Moley, Professor Mordecai Ezekiel, Mr. William C. Bullitt の諸氏だが、このチームのリーダーたるタグウエル教授は、コロンビア大學の經濟學の教授であると共に左翼の社會黨員であり、New Republic 誌の寄書家であり、社會黨「人民除外」運動 (Socialist' People's Lobby' Movement) の顧問會の一員であり、又 American Civil Liberties Union の委員であり——これは共產黨や急進運動者の辯護を專門にする團體で、Morris Hilxuit の如きが一九二〇年に創立した組織だ——又社會黨の Stuart Chase 及び共產黨の Robert Dunn と共に Soviet Russia in the Second Decade を合著したこともあつた。彼の右腕であるモーレー教授は、經濟會議の危機に際して、大統領の眞意を傳へるべく倫敦へ急派された人だが、元は社會主義者及び平和主義の機關たる Rand School の講師であり、又 American Civil Liberties Union の錚々たる幹部にしてその支持機關たる Foreign Language Information Service の幹部である。農務省の顧問エゼキエル教授は左程有名ではないが、もと〳〵露西亞に往つて、ソヴエートの五箇年農業計畫をば專門に研究した人だ。ブリット氏に至つては共產黨の文士 Lincoln Steffens の親友である。このステフエンスと云ふ人は、猶太人系の某米國銀行家と共謀して、露西亞革命の初めに當り、トロツキーをば英國の監獄から釋放し、トロツキー一味と共に露西亞へ同行した人だ。一九一九年、「ブリンキボ」交涉が不結果となるや、時の米國々務長官ランシング氏はブリット及びステフエンス兩氏を露西亞に送つて、ソヴエート政府の戰鬪終止の條件を確めさせ、ブリット氏は巴里のロイド・ジョージ氏に向ひ、ソヴエート政府の提案を齎らしたことがあり、斯うした外交的のスキャンダ

ルから又一時有名であつた。これ等の人々は知識こそ卓越してゐるけれども、非常に資本主義的な、あの米國の運命をばコントロールすべしとは、夢にも豫期されないところである。英國で云はなければ Professor Laski, Mr. G. D.H. Cole, Mr. E.F. Wise の諸氏が英帝國の國政を左右するやうなものだ。

それ故に「ブレーン・トラスト」の黒幕は、あの謎の人物 Bernard Baruch 氏だ。バルチは元米國戰時産業委員會の獨裁者として、戰時中、何人よりも餘計に權力を振つたもので、それに猶太系の人物をばこの戰時産業統制機關に引込みたる故を以つて、頗る物議を招いた人だ。而も今度ルーズヴェルトの「新案」の下に産業統制の「親分」となつた Johnson 將軍は、實にバルチその人の推薦にかゝり、バルチの營業仲間である。ルーズヴェルトに向つて政策をリコメンドする人は果して何人であつて、又結局の目的は果してどんなものか興味多い問題と云はなければならない。

第八章　産業統制政策

第一節　産業統制問題

一九二九年の不景氣は、これを自然の推移に任すときは、物價も生産も以前よりも遙かに低位に於て、而もずつと遲れて調整され、國民の生活標準を破壞し、失業を增加し、産業組織の崩壞を招來するであらうと云ふ考へは、凡ての學者の抱いたところであつた。一九三二年春には、最早政府が何等かの處置に出づべしとの要求が一般化した。

民主黨は、この事態を匡救し、産業の回復を圖るべきを政綱に掲げてゐたが、大統領選擧戰に於ける同黨の大勝は、共和黨の自由放任政策の大敗を示すものに外ならない。

大統領就任後ルーズヴェルトは先づインフレーション法に據る權限を得ると共に、大規模の公共事業計畫を樹てた。斯くて物價の昂騰が必然となつて來た。そこで學者の間には、この人爲的物價インフレーションに基く事業の回復が、その儘では結局一時的なもので、所詮再度の不景氣を喫すべきに付き、これを永久化するため、一般消費購買力の增加を圖るべく、賃銀の昂騰と勞働時間の短縮とを

強制すべきことを說くものが現はれた。

上院に於ては、インフレーション法成立以前、既に失業救濟のため、凡ての産業に一週三十時間勞働制を強制すべき法案が通過した。と同時に事業家の間に於ても、生産に關する統制協定をなして、生産消費の均衡を回復せんがため、反トラスト法の修正を要求する聲が高まつて來た。さもなくば、賃銀の增加や、勞働時間の短縮は實行出來ないと主張した。

これ等の空氣は直ちに政府に反映し、一時的回復の永久化のため、賃銀の增加や、勞働時間の短縮とを斷行せんと決意した。これが一九三三年六月十六日産業復興法の一部となつて公布されたものである。

本法は先づ米國財界の非常時の存在を確言し、政府の監督と産業團體の協力に依つて、不公正なる競爭を排し、生産の不當制限を除き、購買力の增加に依つて、農工生産物の消費を增加し、失業を減少救濟し、勞働の生活標準を向上せしめんとする目的を宣言してゐる。

有效期間は二箇年であるが、議會の決議又は大統領の命令で、非常時去れりと認められれば直ちにその效力を失はしめる。

本法の企圖する目的は、第一に各種産業の代表團體が提出し、大統領がこれを承認する「公正なる競爭の典範」に依り、第二にこのコードの提出なき場合、大統領が審問の上自發的に規制する「協定」に依り、第三に本法の趣旨と反する賃銀や價格の不當なる引下等を實行する産業に對し、その企業者に營業の「免許」制を採用することに依つて達成せんとする。コードは、提出者がその産業の眞正の代表團體であり、コードが獨占や、小企業の壓迫又は排除を目的とせず、本法趣旨に適合せるものなる場合は大統領はこれを承認する。又大統領に於て必要と認むる場合は消費者、競爭者及び使用人等の保護の規定を追加せしめ、又は修正せしめる。承認を受けたるコードは、爾後その産業の公正なる競爭の標準となる。從つてこれに違反するものは、一日毎に五百弗を超えざる罰金を課せられる。

營業の免許制は、前記の場合一定期間の豫告と公開審問の上大統領これを決定し、免許制を布かれたる産業に於ては、免許なき者は州外又は外國取引をなすことが出來ない。この規定の違反者は罰金又は體刑を課せられる。免許に關する規定は本法公布後一箇年を限り有效である。

本法公布後六十日を經過すれば、凡てのコード、協定又は免許の規定に基く行爲は、反トラスト法に牴觸せざることゝなる。凡てのコード、協定又は免許には、第一に、使用人の團結及び團體契約權を確認し、第二に、使用人の雇傭に際し、團體の組織又は加入等に關する制限を雇傭の條件としないこと、第三に雇傭者は、大統領が承認し又は規定したる使用人の最大勞働時間、最小賃銀、その他の條件を履行する義務あることである。更に大統領は、これ等の條項や、本法に基いて發せられる規定を、廢止又は修正する權限があるから、この旨をも右の條項と共に明記してある。

大統領は、更に外國からの輸入品の價格又は量が、本法の實效を減殺すると認めた場合は、關稅委員會の諮詢を經て、關稅率の引上、條件の變更又は輸入禁止を命ずる權限を賦與された。

本法公布後大統領はジョンソン將軍を産業復興局長官に任命し、コードの自發的提出を促進せしめた。併し當初はこれを提出するもの尠く、主要産業にして、七月半迄にこれを提出し、大統領の承認を得たるものは唯だ綿織物業だけであつた。

併しこの頃迄に、事態は愈々急迫して來た。インフレーション法の實施と、大規模なる政府公共事業の計畫とが、卸賣物價標準を高め、殊に小麥、棉花、鋼、材木その他の原料品を暴騰せしめた。從つて生産及び取引量も既に相當の增加を示してゐた。物價の騰貴と物資需要見越とは、建設材料その他物資の思惑買を旺んにし、一方に於て、事業家も産業復興法の統制を受けない間に、コストの低い生産を增加して、高値に賣放たんとし、生産を增加したが、失業もあまり減少せず、從つて勞働者の購買力は逆に著しい低下を見、勞働時間は短縮を見なかつた。

この儘賃銀よりも物價の騰勢著しいときには、産業復興計畫は悲慘なる失敗に歸すべしと思はれた。この規定は、インフレーションの政策が實效を現はさざるに先立ちて、實施されなければならないのだ。而もこのインフレーション傾向を、政府が統制せんとし又は統制し得るや否やが、既に問題となつて來てゐる。この時政府は果して、生産と消費者の貨幣收入との間に均衡を設定し得るであらうか。

四月から七月迄に、物價は賃銀よりも急騰し、生産は雇傭及び支拂賃銀よりも急騰し、而も百貨店の販賣高は減少してゐる。今これ等を表示すれば次の通りだ。

年次	工業生産	工場使用人	貨物輸送高	百貨店賣上高	輸出價額	輸入價額	支拂賃金
一九三二年十二月	七四	六九・四	六九	八一	四六	四八	五五・八
一九三三年一月	七三	六八・一	六四	七八	三九	四三	五二・四
同　七月	五八	五八・三	五一	六七	三三	二七	三九・大
同　九月	六六	六〇・三	五四	七〇	三三	三三	四二・四
同　十二月	六六	六〇・六	五八	七二	三三	三〇	四〇・九
一九三三年一月	六五	五九・四	五六	七〇	三一	二九	三九・二
同　二月	六四	五九・四	五四	六〇	二九	二六	三六・九
同　三月	六〇	五六・六	五〇	六七	二八	二五	三六・九
同　四月	六七	五七・七	五三	六七	二九	二五	三八・大
同　五月	七七	六〇・六	五六	六七	三三	三三	四二・〇
同　六月	九二	六四・八	六〇	六八	三六	四〇	四六・二
同　七月	九八	七〇・一	六五	六九	四三	四八	四九・九

右の傾向はこの儘續くべくもない。この危險は今や極めて明瞭となつた。一體政府は、産業復興計畫卽ち賃銀の增加と勞働時間の短縮とを有效に實行し、主要産業からコードが提出され、承認される

前に、物價インフレーション政策を強行してはいけなかつたのだ。この點に政府は重大なる過誤を犯した。そこで政府は、事態の危險を認め、急場の對策として、凡ての産業の總ての企業家に、一時的な劃一的コードを自發的に承諾することを要求した。政府のこの運動は、平和時に於ける最も素晴しい運動だつた。寔に國民の經濟生活改善のためにする戰ひだつた。本書執筆當時（一九三四年夏）大統領は、この運動の成功したことを確信してゐた。併しこの一時的對策が成功しても、政府は更にこのコードを永久的のものに變へなければならず、その際多くの危險が潛在する。

更に産業復興法はその有效期間僅かに二年だ。これは議會が、この計畫を一時的のものと見てゐるからだ。併し事業が回復を示せば、政府は、本法を全然廢止することが出來ないであらう。又これを廢止しない方が望ましい。假令この法律が一時的のものであらうと、永久的のものであらうと、全産業に適用されるからには、米國民は少くとも一時的に、從來の産業自由放任政策から、政府の産業統制政策に移つたもので、玆に本法の重大なる意義が存するのだ。

第二節　産業統制策の批判

産業統制法の實施は、米國政府として未曾有の實にデリケートな問題だ。これを有效に且つ公正に行はんがためには、多くの專門家、正直なる事業家及び國家的學者のサーヴイスを必要とする各産業のコードの作成には、正確なる生産量、その各企業への分配が決定され、次いで賃銀スケールと勞働時間の重大問題が決定される。この事たるや社會的公正の難問たるのみならず、又實に個人の直接的利益と公共的福利との鬪ひでもあるのだ。さればこの難事業遂行のためには、技術的賢明よりも、寧ろ勇氣と正直とが必要なのだ。

更にこの統制政策の成否を左右するものはコードの決定に當り、ビッグ・ビジネスが勝つて、その直接的利益を擁護し、從つてこの法律の所期する效果を擧げ得ざるに至るか、將又政府の强力なる手が勝つて、國民終局の利益を守り得るかにある。若し政府が勝たんか、ビッグ・ビジネスは直ちにこの政策と當局とを非難し、不人氣を釀生せしめるであらう。議會の豫期する政策は、兩者の妥協々調であらう。併し兩者の妥協が成功するためには、産業指導者達が、今少し廣き公共心を持ち、單に自己の收入や、株主への配當等の直接的利害觀念から離れる必要がある。現にこの計畫に就てワシントンで討議した際にも、彼等の態度は、決して公共的利害の觀念に立つものではなかつた。彼等は、將來の利益を確保せんがため、現在に於て多少の分前を減少することを欲しないのだ。而も現在の狀態に於て、若しこの計畫が失敗すれば、米國經濟組織に如何なる事態が起るかと云ふ見究めの付くものは殆んどゐない。

この法律は大統領に、コードの修正權と、産業を彼自身のコードに服從せしめる權限とを與へてゐ

る。この政策を實行する限り、賃銀と時間に就て、彼は勇敢にこの權限を行使し、以て不斷の改善向上を企圖しなければならないが、決して權限の行使を躊躇してはならない。本法の失敗は國家の幸福を破壞し、私有財産制度に悲慘なる結果を齎らすに違ひない。

前章述べたる大統領の劃一的臨時的コードは、一九三三年七月二十七日、ワシントンから各地の郵便局長に送られ、更に各雇主に送附された。これは公には「大統領の雇傭契約」と稱せられ、雇主がこれに署名してから、永久的コードが決定される迄有效だ。これは雇主が、

一、一九三三年八月一日以降十六歳未滿のものを雇傭せざること。但し一日三時間を超えざる場合は、十四歳以上十六歳未滿のものを雇傭し得ること。

二、如何なる商店、銀行、事務所等に於ても、使用人を一週四十時間以上働かせないこと及びその營業時間を一週五十二時間以下に減少させること。

三、工場勞働、化學工業使用人及び職人勞働時間は、一週最大三十五時間を超えざること。但し十二月末迄は最大四十時間までの權利を保有すること。

四、第二項の使用人には、その都市の大小に依り、一週十二弗乃至十五弗を下らざる支拂をなすこと。

五、第三項の使用人には、一時間四十仙を下らざる支拂をなすこと。但し一九二九年七月十五日に於て、これ以下の支拂をなし居りたるものこの限りにあらず。尤もその場合と雖も一時間三十仙を下るを得ず。

六、現に最低賃銀を超過し居れる勤務報酬を減少せず、且つ公正なる總支拂の調整に依つて、斯かる勤務に支拂を增加すること。

七、本契約後、商品價格を、生產費、移送費等が現實に增加したるために必要なる以上に引上げざること。

の七項目を承諾することだ。

この契約の署名を多からしむるため、政府は、商業會議所その他地方の種々の團體を通じて、無數の區、州及び地方N・R・A委員會を作り、その勸誘に躍起となり、加入したるものには青鷲の徽章を使用せしめ、このマークある商品又は商店以外にボイコットを起させた。

この宣傳は多大の效果を現はし、委員會の援助を受けて、八月及び九月には、永久的コードを提出し來るものが增加した。これは一つには、事業會社が、既に五・六・七月に賃銀を上げず、物價高で儲けたから、ぼつぼつ產業統制の規定に服從しやうと覺悟したためだ。九月一日迄に斯かるコードを送附し來れるもの〳〵內には、織物、鋼、自動車、石油、木材その他數種の重要產業があつた。綿織物業のコードが大統領の承認を獲た最初のものだつた。

このコードの規定に就ては、種々重要なる問題が起つて來る。凡てのコードは、生産に關する制限と、各企業への按分とを規定してゐるが、企業家は何れも、生産一單位當りの利益を多くせんとし、生産量は多いが一單位當り利益が尠いと云ふ事を避けんとする。自然生産一單位當りの利益を多くせんとし、生産量は多いが一單位當り利益が尠いと云ふ事を避けんとする。自然生産の割當は、單位當り利益のマージンは多くなるが、生産コストは增大することゝなる。又このため、組合や委員協定に依つて、不當に生産制限をせんとする傾きが出て來る。これでは生産を不當に減少して、價格を不當に吊り上げ、以て企業家の利潤を不當に增加するから、一方に賃銀を增加しても、購買力は却つて低下し、消費者の購買力不足が起ることになる。

更に木材及び石油等のコードには、最低割一價格の設定を許したものがある。最低割一價格は、最小且つ最も非能率的な生産者のコストに等しい。從つてこれを許すことは、大企業且つ能率高き生産者に、不當に多き利潤を與へ、社會一般の犧牲に於て、非能率的生産者に補助を與ふるに等しい。そこで政府の執るべき方策としては、生産費以下の低價格を禁ずる等、不正なる價格競爭を排除し、競爭標準を設定すればいゝので、正當なる競爭を排除したり、減少したりする必要はない。

賃銀に就ては、凡てのコードはその最低賃銀を定めてゐる。現に最低賃銀以上、最大賃銀以下の賃銀を受けてゐるものは、これを低減せられないと規定したものもある。併し大部分は、コードが出來るまでに、最低賃銀のレヴェルに低下したものが多いやうだ、コードに服してから、賃銀の全體の增加を出來るだけ少なくしやうとするからだ。併しこれでは政府が、最低賃銀をぐつと引上げないと、消費者の購買力を增加させるわけにゆかないであらう。

木材や鋼業の勞働時間に關するコードは最大時間を何れも四十八時間にし、例外の場合にはもつと長くしてゐる。併し著者の意見では、失業問題解決のためには、最長四十時間以下でないと駄目だ。明瞭に政府の敗北と思はれる。

産業統制法中最も議論の八ケ間敷かつたのは、勞働の團結權、團體契約權及び雇傭に際して組織又は加入の條件を附せられざる一條件であつた。雇主の側では早くからこの條項に反對し、法律公布後は、これに獨自の解釋を付けるが、條件を附したいと主張した。これに對し勞働團體では、この條項を「勞働自由の新憲章」とし、凡ての勞働者を獨立組合に誘導するものだとなした。兩者論爭の中心點は、雇主が「オープン・ショップ」政策即ち外部の獨立組合に屬するもの、その會社組合のもの及び全然組合に無關係のものを、同樣の立場で雇入れんとするに對し、勞働團體では、會社組合その他のものを排し、唯だ獨立組合の組合員のみを雇傭せしめんとする「クローズド・ショップ」政策を主張して讓らざる點にある。この二つの主義は、結局その事業會社の大部分の勞働者が、何れの組合に屬する

やに依つて決定され、その多數の方が團體契約の代表者となり、少數の方に屬する組合は、組合員を減少することゝなるであらう。

勞働條項に關する論爭に鑑み、政府はこれに對する解釋を公表した。それに依ると、法律は決してクローズド・ショップともオープン・ショップとも言つてはゐない。この規定の意味は雇主側の解釋で變更されることはない。雇主は使用人が如何なる組合に加入しやうと、これを勸誘又は排斥することは出來ない。勞働は如何なる團體も認められ、彼等の選出する代表者は雇主と團體契約をする。併し勞働側のクローズド・ショップの要求は認められない。從つて雇入に際して、所屬組合の如何に依つて差別待遇をする雇主及びクローズド・ショップを強要して起つたストライキの指導者は、何れも罰せられる筈だ。

ストライキその他の勞働爭議は國民勞働局が研究すべく、賃銀その他勞働條件に關する論爭に就ても、產業統制法の趣旨に應じてこの勞働局が解決すべきである。

著者の意見では、超過利得稅の一項をこの統制法に附加すべきであつたと思ふ。その率も思ひ切つて、その企業の投下資本に對する一定率以上の超過利得は、その全額を徵收すると云ふ程にすべきだ。この規定は、政府が產業にその生產量と最低販賣價格との決定を許した場合に於て特に必要だ。この場合に前述の通り、社會一般の犧牲に於て企業家が利得するのだ。現在の如き經濟狀態の下に於て斯かる不當利得は許さるべきでない。斯くて不當利得が全部徵收されるとなれば、企業家も、もつと賃銀を增したり時間を短縮したりするであらう。

次に一九三四年の夏から冬へかけて、物價水準が尙ほ續騰するやうなれば、大統領はその與へられたる權限を以て、各產業のコードの賃銀率を、尠くとも物價昂騰率と同程度に引上げを命ずべきだ。而も最低賃銀の向上に止らず、全賃銀率を一樣に引上げるべきだ。同時に各產業の從業員を調べて置き、時々餘分の勞働吸收をさせるため、勞働時間の短縮を命ずべきだ。政府の公共土木事業計畫が終結した時には、失業勞働を吸收するため一層の時間短縮が必要だ。

最後に各產業がコードを採用する結果、その規定に基いて各種の統計が提出されるから、政府には生產、滯貨、從業者數、賃銀等に關する情報が山積する。政府はこの生產と消費者の收入とに關する材料を以て、賃銀及び勞働條件を科學的に修正し、所期の效果を擧げることが出來る。政府は既に中央に統計局を組織して、この統計材料の分析に當らしめてゐる。

第三節　產業統制と個人關係

「自分の利益のために最善を盡すものは卽ち社會のために最善を盡すものなり」と云ふスミス式自由放任が、從來米國產業上の根本原則であり、「最小の統治をなす政府が最善の政府なり」と云ふ哲學

が、昨日迄米國の人民を支配して來た。併し乍ら今日は、米國民はその經濟生活の上に、多大の政府の支配と統制とを甘受してゐる。何故斯くも自由放任政策が棄てられて、個人事業の上に政府の統制が加はつたか？然らばこのエー・ディールが、如何に個人の發意を自由に殘存せしめたか？政府の統制政策が、産業の利益に如何なる關係を持つか？等の諸問題が、次で考慮さるべきこと〳〵なる。

一九二九年からの恐慌は、産業の自由放任政策を以てしては、到底切抜け得られず、何等かの思ひ切つた政府の對策を必要とすべきことは、一九三二年から三三年にかけて、驚〳〵べき失業者の大群と、深刻なる不況の慘害とを眼前にして、一般人士の抱いた感想だつた。一九二九年には、まだ自由主義を唱へた實業家が、一九三二年又は三三年には、ワシントンへ日參して、政府の乘出を要請してゐた。然らば何故個人事業が、自ら不景氣を脫し、回復への道程を辿り得ないのか。これに就ては、大量生産の發達と産業相互關係の緊密性、産業組織の相關的發達、機械利用の增加、從つて失業の增加、大戰後のこれ等の事實が、生産能力の過大に反し、一般消費者の購買力を減少せしめ、其處に生産消費の均衡を失せしめ、最早信用の膨脹も役に立たず、産業回復の刺戟も自ら發見又は提供し得ざるに至つたこと、凡ての前述の通りだ。

そこで政府がなすべき役割は、先づ第一に物價インフレーションを實現して、産業を刺戟すると共に、債務負擔の輕減を企圖することだつた。併し物價を引上げた處、自由放任政策を執る時は、賃銀は到底物價の昂騰に追付かない。從つて回復は一時的で、再び恐慌の襲來することは必然だ。それに千二百萬から千四百萬人を算する失業者は、單に物價の引上だけでは救はれない。そこで第二段の政策として、賃銀、勞働時間、生産量、販賣價額その他生産及び勞働條件に對する政府の統制が實行されるに至つたのだ。

然らば産業統制法は、如何に個人の發意を排除したか？これは本法に依り政府が賦與される權限を見れば判ることだ。卽ち政府は賃銀水準と、勞働時間とを決定し、且つ産業團體と協調して、生産量及び價格を統制する。卽ち各産業に競爭の標準を規定した。政府は新證券法に於て、事業の證券發行に政府の統制を强化し、自發的權限はないが、禁止權を使用し得ること〳〵し、新銀行法に於て、銀行信用の使用及び伸縮に、從前よりも一層政府の統制を强化した。これ等統制は凡て、個人發意に依る事業が、使用人、競爭者及び社會を搾取して、不當に利益を獲んとするを防止せんとするのだ。

この競爭の新標準の設定は、各産業がこの新事態に適應する迄は、種々の支障や不滿が起り、産業の內部的改造も必要となり、各種生産物の價格の間に調整が破れ、從つて卸賣小賣の間にも、圓滑なる調整を缺くに至り、これ等が總て立直るには相當の時日を要することであらう。併し社會は忍耐して、希望を失はず、協調を持續しなければならない。若し本法にして失敗せんか、萬人の困苦は一層激しくなるであらう。

産業統制法は、前述の通り不當の競爭を排除して、眞に社會に有用なる標準を設定したものであるから、個人の發意が、これに抵觸せざる限り、營業の自由とサーヴイスの提供とを決して妨げはしない。營業者は、事業の金融に關し、使用人の條件に關し、技術の改善、製品の改善に關し、更に販賣に關してこの法律の規定に違背せざる限りは、自由なる發意を實行して差支ない。否寧ろ政府統制の本意は、個人發意をして斯かる眞のサーヴイスを多からしめんとするにあるのだ。個人企業が、製品の優秀を競ひ、サーヴイスを提供すれば、これ等の發意は以前と同樣十分酬はれるのだ。ニュー・ディールは、決して優秀なる個人發意を窒死せしめるものではなくて、建設的個人發意を、事業の利益と共に社會奉仕の方向にも振向けんとするにある。健全なる事業上の訓練と建設的指導性とは、自由放任時代よりも、もつと尊重せられる。凡ての努力は社會に對する眞の價値に從つて一層酬はれる。消費者を、使用人を、一般社會を搾取せずして、公正に而も以前よりも却つて、充分な利益を擧げることが出來る。

今や米國は自由放任政策の行詰りから、個人企業の政府統制時代へ進んで來た。この統制は、單に不景氣時代にのみ必要なものではない。不景氣の母體たるブームの時期にも又同樣必要だ。眞の永續的繁榮を持たんとする國民は、個人企業の永久的政府統制を持たなければならない。

第四節　産業對策の將來

政府の執れる非常對策のうちでインフレーション法も、政府公共事業計畫も又農業調整法等の何れも一時的の對策で事業なり、農業なりに、回復の刺戟を與へはするが、根本的に不景氣原因を除去し永久的回復を齎らすものではないことは、それ〳〵の場合に述べた通りだ。唯だ最後の產業統制法のみは、消費購買力の不足を匡正し、投資々金の過剩を除去して、不景氣の根本原因を衝き、永久的回復を期待せしめる。これなくしては、前の一時的對策は、その終了と共に、却つて不景氣原因を强め不景氣の再來を結果するであらう。

併し產業統制法に就ても色々の問題があり得る。政府が事業界の指導者達と協調する結果、生產制限、高物價、高利潤を齎らし、賃銀を增加しても、一向消費購買力の增加にならないことになる虞れがないこともない。若しこれを政府が强行すれば、事業家は新聞の力を以て、この法律の非を鳴らし、國民經濟上却つて損害だとの輿論を作つたりしないとも限らない。その結果有效期間の二年を俟たずして、大統領なり議會なりが本法を廢止しないものでもない。それでも尙ほ政府が强行すれば今度は裁判所が、これを憲法違反と宣告するかも知れない。或は又これを恐れて、政府がその手を緩め永久的回復の機會を逸するかも知れない。

この法律は二年を以て有效期間と定められ又議會も政府も、これを一時的の對策と見てゐる。一時的でなければ、尠くとも試驗的立法と見てゐる。そこでこれが成功すれば、永久的法律となるかも知れないが凡ては今後の成績と輿論の動向に懸るのだ。

されば一時的にせよ事業の回復が現はれ〳〵ば、民衆がこの法律の重要性を教育されざる限り、その廢止が叫ばれるであらう。又政府の實行の手加減如何に依つては、斯かる反對が起らないとしても、所期の效果は遂に得難いであらう。反對論者は、この統制法は既にその目的を達した。須らく産業組織の根本たる自由主義へ、個人の發意へ、無制限なる利益收得主義へ復歸せよ、これ今後の經濟進歩の根幹なりと叫ぶであらう。而して二大政黨も又これに追隨するかも知れない。

併し著者の意見では、これを撤廢すれば、現産業組織の崩壞を防ぐため、もつと嚴重なる統制法を必要とするであらうと信ずる。今日の米國は、經濟革命を通りつゝあるか、或は既に通過したのだ。この革命は最早自由放任主義の下に於ては、米國の産業をうまく運營し得ないやうな條件を齎らしたものだ。思へば百五十年前に起つた英國の産業革命が、今日米國經濟革命の直接的原因であり、産業革命は生産力を消費力以上に增加せしめたが、勞働の實質的購買力は生産以上に貯蓄を增加せしめた。これ等に伴はなかつた。巨額の利潤とその蓄積とは、國富の大部分を少數者の手に歸せしめ、全國民の入五%に、日常生活費の給料又は賃銀に仰がしめるに至つた。而も競爭力の差は、常に雇主を有利ならしめ、勞働者の大部分は、市場生産品の價値よりも、尠ない購買力を支拂はれた。今や一方に資本の大蓄積があり、他方に消費購買力の不足がある。そこでこの事態を救濟せんがため米國經濟革命が起つたのだ。

米國の根本的經濟問題は、國民貨幣收入の分配の統制であり、産業社會の純生産に對する分配の統制だ。自由放任主義では、あまり多くが、利子、地代及び利潤等となつて、財産所有者に行き、あまりに少部分が賃銀や給料として支拂はれた。この不當分配が、今日生産消費の均衡を喪失せしめ、一九二九年にその破局を現はし來つたのだ。この根本的均衡を再建維持するには、無制限なる個人企業を政府の統制下に置いて、個人の利潤のためにのみ運營せられたる事業を、個人と社會一般との利益のために運用せしめるより外に途はない。

經濟革命は、斯くて産業革命以後自由放任の自然の成長として、不可避的に生れ出でたもので、個人又は政黨が招來したものではない。大統領及び政府は、この認識を以て、一時的にせよ經濟革命を遂行せんとしつゝあるものであらう。自由放任の制度では、最早何等の根本的解決がつかなくなつたればこそ、經濟革命が生れたのだ。されば將來とも政府が個人企業を統制すべしとの點に就ては、何等問題はあるまい。著者は、世人がこれを好むと否とに拘らず、相當廣い政府統制が必らず永久的國策となるものと信ずる。

この統制政策が一旦成功して後廢止されたとすれば、經濟均衡は直ちに破壞されるであらう。何となれば、統制法實行のため、政府が勵奬した各産業の組合的團體は、本法廢止後も殘存して反トラスト法を以てしても匡救し難い大威力を發揮するであらう。彼の戰時中産業動員のため組織された各團體が戰爭に於て獨占的支配を持續し、一九二九年の行詰りを早めたことを想起すべきだ。

政府が一旦非常の努力で經濟均衡を回復すれば、最早これを廢止しても、均衡そのものは持續すべしとの議論をする人がある。併しこれは人間の本能と、自由放任主義の歷史とを忘れた說で取るに足りない。この場合、均衡の破壞、不景氣の再來は必至である。而もこの再來は一層の悲慘事を伴ひ、流血の革命が起るやも保し難い。然し米國人は常識的の國民だから斯かる暴力を用ふることはあるまい。唯だ今回のよりも、もつと嚴重な統制法を作り、これを社會の幸福のため、永久的の政策とするに至るであらう。豐穰の地に飢餓無からしめるためには、これより外に策なきを知るであらう。

併し斯かる苦しい經驗を經て、初めてその必要を知るは望ましくない。そこで著者は、一九三三年の一時的産業復興法を、永久的國策として繼續せしめ、その實施の經驗に基き時々これを修正して、統制の强化、缺陷の除去に努むべしと考へるのだ。

第九章　銀行政策

第一節　米國銀行の諸形態

凡ての病氣は、人體の最弱點を攻擊するものであるが、それは必ずしも吾人の肉體を襲ふ病氣に限らず、政治團體を攻擊する經濟上の病氣に於ても又同樣である。過去四年以來、全世界を惱ましつゝある經濟的不況も又、その例に洩れざるのみならず、寧ろこれを證明するものと云ふべきである。抑も事の起りは紐育株式市場に於ける極端なる投機熱に端を發したのであつて、その影響は、直ちに中央歐洲にまで波及した。其處には平和條約、獨逸に於ける償金の負擔や墺匈國の崩壞等幾多の新興國が起つて、各獨立せる財政經濟組織と關稅制度を有すること等のために、病氣の傳染を受くべき素地は十分に備はつてゐた。

米國に於ては、四十八箇の州が各相異なる銀行法を持つてゐるのであるから、一箇の銀行が四十八州に支店を置くと云ふことは實際上に於て出來ない。よし法律に於て全國に支店を置くことを許さるとするも、左樣な企てをするものがあれば忽ち倒壞するの外はなからう。その結果、米國には大小

種々の銀行が簇生するのであつて、紐育には世界的にその名を知られたる大銀行もあるが、僻陬の地には、銀行業務の何物たるかをさへ知らざる人々に依つて經營せられる如何はしき小銀行が數へ切れない程ある。

米國の銀行に伴ふ困難は決してそれだけではない。金錢は州の境界に制限せられてゐないので、銀行から銀行へ、得意から得意に、大陸を横斷して資金の融通をなすべく、無數の獨立銀行を聯結する何等かの方法がなければならない。その必要に應じて發達したのが卽ち取引銀行（Correspondent Banks）の制度であつて、地方の小銀行は、何れも、その附近の都市に於ける大銀行に預金を有し、それ等の大銀行も紐育その他の大都市にあるより大なる銀行に預金を有する。

一見すれば、この方法に依つて、米國の銀行は、英國に於ける支店制度と同樣の利益を受け得られるやうに思はれるが、實際に於ては、それが又一大缺點なのである。如何なる故かと云へば先づ第一は、各銀行はその取引銀行に有するバランスを以て現金準備の一部分と見做すのであつて、これが實際に存在すると想像せられるよりは、遙かに小なる現金の基礎の上に信用のピラミッドを建設することゝなる。第二には一旦金融界が逼迫を感ずるに當つては、何れの銀行もその取引銀行からバランスを取り出すことに少しも躊躇しない。斯くして銀行のパニックが起る毎に、各銀行はその個人預金者の取附けに遭ふのみか、銀行同志が互に取附けを仕合ふことゝなる。この點が英國の支店組織と全然違ふところであつて、英國の制度に於ては、一大銀行の總ての支店はその目的のため、一單位と見做されるが故に、現金はその必要に應じて自動的に各支店に配給せられる。

米國銀行制度の弱點は、米國自身の發達に相伴へるものなりと云はなければならない。大國民としての米國の歷史は、僅かに、一世紀以前から始まつたのであるが、その傳統と、經驗とに依つて、健全强固なる銀行制度の發達を來すには、相當の歲月を要する。米國大陸は、決して最初から經濟的に一體として出現したものでなく、諸方に幾多の小植民地が出來てそれが徐々に發展して西方に推し進んだのであつて、銀行も又同樣の進路を取り、各地方の必要に應じて、自然に發達したのである。されればそれ等の銀行なるものは別に銀行に關する知識經驗を有する人々が經營の任に當るとは限らず、その道の素人が、必要に應じて一夜造りの銀行家になつたに過ぎない、それのみではない、米國に於て中央政府の權限と州政府のそれとの間に截然たる區別があるのであつて、州政府は銀行業を以て當然その管轄內に屬すべきものとなし中央政府がこれに干涉することを許さない。

斯やうな事情の下に於て、米國銀行の營業單位が小なるべきは寔に止むを得ない。地方人士に依つて經營せらるゝ獨立せる幾多の地方銀行があつて、地方政府の緩漫なる監督を受けるのみで、中央の權力はこれに對して何等の交涉をも持たない。英國に於ては强大なる少數の單位があつて、全國に無數の支店を有し、全國を以てその營業範圍とするのであるが米國に於てはそれが出來ない。又その州

內にある銀行が數百哩を隔れたる地にある本店に依つて支配せられると云ふやうなことは更に州の法律が許さない。

凡てこれ等の缺點は、一九〇七年のパニックの時に明らかにせられた。それは主として通貨のパニックであつたので、米國の銀行組織に缺點があるのみならず、貨幣制度にも缺點あることが明らかになつた。當時甚だしく通貨の缺乏を感じたのであるが、過去數年以前から、種々の方面から來る通貨の供給はその分配が當を得なかつたので、同一國內に於て、或地方に於ては爲替にプレミアムを生ずると云ふ次第であつた。こゝに於てその翌年聯邦準備制度を樹立することゝしたのであつて、これが現在に於ける米國銀行制度の基礎にして、今回のクライシスが起るまでは、米國の銀行は盤石の上に置かれたものとして安心してゐたのである。

聯邦準備組織の下に於て、米國全體が十二の準備地方に區分せられ、その各部分に一箇の聯邦準備銀行があつて、その地方に於ける中央銀行の役目を果すことになつてゐる。十二の聯邦準備銀行はワシントンに於ける聯邦準備局に依つて或程度の監督を受けることになつてゐる。

準備銀行は紙幣發行の權を有するが、その四割は金を以て殘餘は承認せられたる商業手形に依つて保證せらるゝを要す。政府の證券は取らないことになつてゐるが、その理由は、恐らくは紙幣の發行をして商業狀態に順應せしめんがため現金を預かると異らないであらう。又準備銀行は會員たる銀行のために手形の割引をするが、英蘭銀行は英國內銀行のためには直接に再割引をすることはない。會員たる銀行がその地方の準備銀行に預托する金額は、その各種預金の割合に依るのであつて、その定期預金の三分、當座預金に對しては、地方銀行に於ては七分、準備市の銀行に於ては一割、中央準備市銀行に於ては一割三分となつてゐる。

次に攻撃を受けたのは、卽ち英國であつた。その生產費の甚だしく高價につくこと、急激なる療法を施すよりは、出來得る限り失業の害を輕減せんとする政策や、全世界に對する投資者及び銀行家たる傳統的地位や、その輸出の減少せるに拘らず、生活の標準を維持せんとする無理なる努力等のために、此處にも攻撃に價ひすべき弱點は暴露せられてゐたのであつた。甚だしき慘害を蒙むれることは、固より怪しむに足りない。米國の貨幣制度は崩壞し、四圍の變化せる事情に適合せしむべく、英國の磅を引下ぐるの止むを得ざるに至つた。それ故に少なくとも、當分の間は、外國から購買して何等の制限なしに全世界に投資するの自由を放棄せざるを得ざることゝなつた。

最後に、病魔は再び大西洋を橫斷して、その發源地に立還り、その最弱點を衝くことゝなつた。今から數箇月以前に、何人にても、米國が一九三三年三月にその金本位制度を放棄し、その銀行は閉鎖さるべしと豫言するものがあつたならば、狂人として待遇せられたであらうが、今はその思ひ設けないことが實現されてゐる。當に數箇月と云はず、又米國銀行の歷史を通觀すれば、愚かにその組織に

は大なる缺點が存在するのであつて、早晩危機に際會すべきことは當初から判つてゐたのである。

第二節　米國銀行の諸機構

更に或點から云へば米國の金融制度は投機を奬勵するものなりと云ふことが出來る。英國の銀行はそのコール・マネーをば爲替手形に對して手形仲買人に貸すのであるが、米國の銀行はそれをば凡ゆる種類の（その良否を判別せず）株券に對して株式仲買に貸す。英國の銀行は商工業に融通するに反し、米國の銀行は投機のために出資する。米國の銀行家が株券の發行、賣買、所有等に關して大なる關心を有することは、固より怪しむに足らないのであつて、彼等の或ものは、又その目的のために、特に證券機關（Security Affiliates）を有つてゐる。

前にも云へる如く、米國は今尙ほ發展の途上にあつて固定せる國でない。それ故に發展の途中にある國に於ては不動產に對する投機の餘地が大にある。人間の性質が變化しない限り、全國の諸方に散在せる無數の銀行は、不動產を見返り品として融通を請求するその得意の壓迫に抵抗することが出來ない。それのみではなくて多くの銀行の通常業務は、地方の農產物及び工業品に對して貸出すことに依つて成立してゐる。斯くて一旦危機の襲來するや大多數の銀行は、一步深く株式市場に陷落することゝなり、或ものはその地方の、凡ゆる動產と不動產を引括めたる財產の中に埋沒する。その株式市場に於ける活動に於ても又地方の活動に於ても、十箇の銀行中の九までは、その先物に對して多大の割引をしてゐるのであつて、一九二八年に於ては、總ての米國人はそれを信じて、少しの危惧をも感じなかつた。準備銀行自身すらも、その非難から脫することは出來ない。一九二六——二九年の低金利政策に於て、彼等は一般國民と銀行家に對して先物の割引を奬勵したのであつた。

されば何等かの方法を以つて、失はれたる購買力を恢復することが、刻下の最大急務である。理論上から云へば、準備銀行が更に多くの紙幣を發行する機能を附與せらるゝか、せめて現在の通貨額を保持することを許さるゝならば、現存せる銀行は、その上に、以前と同樣に銀行の信用を樹立し得る筈である。併し實際に於ては、それは甚だ遲緩にして又不確實なる方法にして、或は實際に於ては預金を吸收し得ないかも知れない。されば米國も、他の諸國も、斯やうな自動作用に依つて問題の自然に解決せらるゝを俟つわけに行かない。何とかして經濟機關を急激に恢復せしむるが肝要である。然らざれば信用を維持することが出來ないからである。

偶然三月十五日に於て、その他にも急ぐべき理由があつて、多くの銀行は再開し、金は死藏から復歸し、米國の國民はその神經を恢復し、商業は到る處に於て、少なくとも、その表面に於ては、常經に復しつゝあつた。斯やうな事情の下に於て、大統領ルーズヴェルト氏は何事をもなさずして、自然に放任する危險があつたのであるが、幸にして自分は復興計畫が既に熟しつゝあることを信ずべき理

由を有した。或銀行は今尚は閉鎖したまゝであるのは、行政部が彼等の間に差別をなし、健全なもののみに再開を許したのであらう。全體の復興は兎も角も現在に於て、なし得べきはこれだけなのである。吾人は大統領ルーズヴエルトが無爲にしてこの時期を過さうとは思はない。

その後の四年間に、何事が起つたかは云はずして明らかである。ウォール・ストリートの崩壊、商工業の萎靡不振、市場の閉息、物價の暴落等で、單に生産社會が致命的の大打撃を受けたのみならず、繁昌の永續を信じたる多數の銀行も又一敗地に塗るゝの慘狀を呈するに至つた。英國の銀行ならば、過去の繁昌時代に於て、危機に備ふべく十分の準備金を作つておくのであるが、米國の銀行は大した準備金を持たなかつた。彼等は準備金の最低額を規定せる法律規則等に拘束せられ、彼等自身と、その得意の有する殘金の中に沈沒し、その手中には損失を償ふべき現金をも持合せなかつた。その結果として、一九三二年の終りに至つて、彼等の大多數は、氷結せる貸附や、無價値の證券や、賣却し得ざる農場や、景氣が恢復せざれば始末の附かない廣大なる土地等を背負ひ込みて、空しく野垂れ死にすると云ふ狀態であつた。

併し尚ほ幾多の重大なる缺點があつた。第一は準備銀行が政府の證券に對して通貨を發行することが出來ないことであつて、それがために通貨の額は全く商業狀態に依つて支配せらるゝことゝなり、商況が萎縮して物價が下落する時は紙幣發行額は減少せざるを得ない。又それがために準備銀行はその紙幣に對して、最低要求四割以上の金の保有要求せられ、又商品と物價が刺戟を要する時に於て、通貨を膨脹せしむることを妨礙せられる。これが戰後の米國に於て甚だしく金の死藏が行はれた主なる原因なりと云ふも過言でない。事實米國はその金の保有に比例して通貨を發行することを避けたのではなくして、法律に依つてなし得なかつたのである。

聯邦準備銀行制度の樹立せられたことは、米國の銀行史上に一新紀元を劃するものにして、米國に今尚ほ種々の紙幣が存在してゐるとは云へ、それに依つて紙幣の發行が全國的に統一せられること〳〵なり、會員たる各銀行は準備銀行に一定額の預金をなすことを命ぜられ、これまでの如く取引銀行に預託するの必要がなくなり、又會員たる銀行はその所有手形の再割引に依つて現金を得ることが出來るやうになつた。

斯やうに、米國の銀行制度は、半ば武裝し、半ば裸體を暴露せるが如き、奇怪なる姿を以て戰後の困難なる時期に立つたのである。こゝに於てか再び銀行に關する傳統と、經驗の缺乏に立戻る必要を感ずるのであるが、英國の銀行と異なり、米國の銀行は種々の法律規則を以て、その周圍を繞らされてゐるのであつて、準備に關する要求の如きも、その一部なのである。その結果、或點に於ては、銀行と公衆を保護することになるが、又他の一方から見ればそれがために、英國の意味に於ける如き自治と責任感の發達を妨ぐることゝなる。卽ち法律の禁せざることは、何をしてもいゝと云ふ結果にな

るのである。

遂にこの缺點は、一九三二年のグラス・スチーガル法（The Glass-Steagall Act）に依つて改正せられ、政府證券に對して紙幣を發行することが出來るやうになつた。この法案は、甚だしい喪失と準備の缺乏から起れる困難を救濟せんがために急劇匆卒の間に通過したのであるが、時既に遲く、デフレーションが思ふ存分にその慘害を逞うした後の事であつた。

今一つの大なる缺點は、只だ國立銀行のみが準備組織の會員たる義務があると云ふことであつた。國立銀行は紙幣發行の權を始め、種々の特權を與へられてゐるので、準備組織に加入することやその他の規則に從ふことを要求された。併し乍ら無數の州立銀行は準備組織に參加することを要求せられず、又實際に於て多數の州立銀行はこれに加入しなかつた。こゝでも又各州の勝手にその銀行制度を處理する權力が妨礙をしたのであつて、その結果米國の銀行中、準備組織に加入したものは、總數の三分の一に過ぎなかつた。斯くて三分の二は改革の埒外に立ち、その一般權力や準備に關する義務に關して、單に各州の法律と監督の下に服すると云ふ次第で、その結果、米國に於ては、今日世界の他の文明國に於ける如く、中央から管理せられる統一ある銀行及び通貨の制度がない結果になる。

第三節　米國銀行の諸問題

一九三二年、既にその慘害が極點に達したる後に至つて、始めて、或種の救濟法が講ぜられた。その一は前述せる如く、準備銀行をして、政府の證券に對して紙幣を發行せしむることであつて、その權利は充分に使用せられ、六箇月の間に準備銀行が購買せる政府證券の額は十億弗に達した。それに依つて信用を膨脹せしめ、物價を騰貴せしめ、商況を恢復せしめんとする布望であつたが、當時米國の銀行は、彼等自身の困難を輕減せんがため、このエキストラの信用を使用するの止むを得ざる窮地に立つてゐた。銀行の準備銀行に對する借り（卽ち再割引）は三億三千五百萬弗減じ、更に八千五百萬弗は準備銀行に對する會員銀行のバランス增加のために吸收せられた。金の對外逸失のため、更に三億弗差引かれ、それがために準備銀行の紙幣發行額は僅々二億二千五百萬弗に止まり、而もその大部分は死藏されたのであつて、眞に燒石に水の譬へに洩れなかつた。

外國の傍觀者から見れば、復興の方法は、頗る明白なやうに思はれる。銀行の權利義務抔を一々規定する煩瑣なる法律規則は宜しく撤廢すべきである。銀行家には、成るべく自由裁量の餘地を與へて、自からその責任の重きことを自覺せしめて、支店制度を樹立すべきである。四十八州全體に施行すべき共通の銀行法を制定することが、政治上、可能なるや否やは困難なる問題であるが、少なくとも、各州の境域內に支店制度を採用し、それ等の銀行をして、聯邦準備組織に加入せしむるを要す。

支店制度をして各州內に限定せしむることなく、十二の準備銀行地方を以てその範圍とすべしとの

議論が盛んに行はれてゐる。つまり準備銀行をしてその地方の中央銀行たらしめ、同時に支店制度をその全區域内に延長すべしと云ふのである。自分はこれが米國に於ける實際の必要と、四十八州の權利と傳統とを調和せしむる最良の方法なるや否やを確かむることは出來ないが、兎に角、その地區内に一箇の支店銀行を限る必要はなかるべく、英國に於ける五大銀行の如く、數箇の銀行をして競爭せしむることが出來るであらう。斯くすれば國立銀行と、州立銀行との區別は自然消滅するわけで、同時に國立銀行は紙幣發行の權を失はなければならない。何となれば彼等は新支店組織の下に州立銀行の中に侵入するが故である。その結果米國の幣制が甚だ單純になつて結構である。又英國人の目から見れば、準備銀行のみが紙幣發行の權を有するは固より當然のことなのである。

現在に於て言ひ得る最大限度は、今や米國の國民は漸くその神經を鎭め、全銀行組織が徐々に秩序を恢復しつゝあることを信じ、その現金を銀行に持來りつゝありと云ふことである。その大事業を完成するには、今後尙ほ多分の歲月を要する事であるが、現在に於てなし得ることはそれに達する方法を示すことである。

先づ第一に、米國は他の諸國と同樣に、その國内に自由に金貨を流通せしむる贅澤を止めることが肝要である。現在に於ては、金貨と、金地金と金證券とは引込まされてゐるが、これを再び世に出すことなく主要の通貨は、一部分金準備を有する聯邦準備紙幣と、全然信用に基づく聯邦準備銀行紙幣の二種から成立することにするがいゝ。聯邦準備紙幣のために、最低四割の金準備を要するとするの可否は、今直ちに明言することは出來ないが、グラス・スチーガル法の範圍を擴張して、永久に、政府證券を準備となし得るやうにすることは甚だ必要である。銀を通貨としてこれまでよりも多く使用する可能性は慥かにあるが、それが實行せられること〳〵なれば、銀の生產の上に重大の影響を及ぼすのみならず、極東との貿易のためにも好結果を來すであらう。

金融界が今少しく安定するまでは、寬大なる爲替管理を持續することは止むを得ないであらう。無制限的に、金の輸出を許すやうになるまでには、尙ほ相當の時日を要するものと思はれる。特許制を執るか、然らざれば金の輸出することは準備銀行の特權として、それ自身或はその任命せるエヂェントに依つて、これを實行せしむる事も一法である。併し如何なる方法を執るにしても、正當なる國際貿易と、投資の妨礙とならざるやうに注意すべきは云ふまでもないことである。

最も困難なるのは現に破產し、再興を許されざるべしと思はるゝ銀行の問題である。それ等の銀行に預託せられたる預金の總額が、何程に上るかは不明であるが、若しそれ等の預金が悉く消失することゝなれば、預金者に對して大打擊なるのみならず、大に社會の購買力を減少せざるを得ない。換言すれば、尙ほ一層のデフレーションを來すのであつて、そが米國の商業と物價、惹いて世界の商業と物價の上に如何なる影響を及ぼすべきかは言はずして明らかである。それのみではない、デフレーシ

ヨンの結果は、更に多くの銀行をして破産の淵に瀕せしむること〳〵ならざるを得ない。

同じ年に、金融復興會社の設立を見ること〳〵なつたが、同會社の目的は政府から資金を得て、救濟を要する銀行、金融會社、鐵道會社その他適當と認められるものに貸出しを行はんとするにある。二月二日から十二月二十一日までに貸出されたる總金額は十五億二千五百萬弗にして、その中の三億弗はその期間に返濟せられた。銀行に對する貸附は八億五千百萬弗にして、その中二億五千六百萬弗返濟せられた。併しこれも畢竟するに一時の緩和劑に過ぎずして、若し十分に成功せんと欲せば、全國の金融を疎通せんことを圖らなければならない。

併し乍ら議會は悲しむべき失策を演じた。そは借手の名前を發表しなければならないと云ふことである。銀行學の一年生なりとも、銀行の存在は、得意の信用に依つて立つ位のことは判つてゐる筈である。その銀行が他から救濟を受けなければならない境遇にあると云ふことを世に發表する事は銀行に取りては、死刑の宣告に異ならない。只さへ銀行に對する公衆の信用は、二箇の理由に依りて、既に大に動搖してゐた。一は前述せる如き事實の漸次公衆の知るところとなつたことで、一は過去の歷史に於て銀行の破産するもの〳〵非常に多いことで、一九二九年以來、麗々と世に發表せられたのであるから、その結果や知るべきのみである。銀行に對する公衆の信用は忽ち喪失し、預金者は潮の如く銀行に押寄せ全銀行組織は崩壞すること〳〵なつた。斯くては全銀行の一時的休業を宣言する外に執るべき途はない。

併し若しもこれに反して、大統領ルーズヴェルトが優柔不斷にして、米國の銀行制度をして依然舊態のまゝに放任するに於ては、米國の前途も、世界の復興も、甚だ望みなきものと云はざるを得ない。今や大統領ルーズヴェルトは、歷史の頁に於てワシントン及びリンカンと光を爭ふべき大なる機會を與へられてゐるのであつて、全世界は彼がその機會を摑まんことを翹望してゐる。

斯くして米國銀行が統一せられること〳〵なれば、無數の地方銀行が亂立し、各銀行が勝手に獨立すると云ふが如き幼稚なる狀態は止み、その本店に依りて支配せられること〳〵なるであらう。さすれば地方銀行が地方の事情に依りて左右され、地方的の壓迫を受けると云ふこともなくなり、困難なる問題は總て本店に於ける一般管理に讓ることが出來るわけである。

斯くすることに依りて、米國の銀行は、健全なる發達を遂げ、數週間以前その頂點に達したる銀行の危機に依つて失はれたるものを恢復しなければならない新信用を公平に分配することが出來るであらう。その時こそ吾人は米國はその銀行制度を改革することに依りて、世界再興の上に大なる貢獻をなし、三月のクライシスは却つて米國をしてこれを斷行するの止むを得ざるに至らしめたりと云ふことが出來る。

偖てその將來は如何と云ふに、著者がこれを草しつゝある間に於ても、歷史は作られつゝある。況

んや、それが世に發表せられるまでには如何なる事が起るか固より知ることは出來ない。それのみではない。自分は銀行に關する法案の全文を未だ見ず、只だ電報に依つてその要領を知つたのであるが、併し行政部は相當廣汎なる權力を與へられたもの〳〵如くに見える。その中には、死藏せられたる金を動員すること、金證券の通用を引込めること、外部に於ける金の移動と、外國爲替を管理すること、準備銀行をして、政府證券、個人及び會社の財產及び會員たる銀行の約束手形に對して臨時緊急通貨を發行せしむること等を含んでゐる。

議會は又別に經濟法案を通貨したが、それに依りて、思ひ切つて文官の俸給と、老兵の恩給を減額し、以つて豫算の均衡を恢復せんことを努めた。三月十三日に始まる週間に於て、支拂を停止せる銀行の徐々に開店するものあり、公衆がこれに預金せんとして殺到するを見れば、相當に、信用は恢復せるものと思はれる。外國の中心市場に於ても米國の信用が徐々に恢復しつ〳〵あることは、米國が金の輸出を禁じつ〳〵あるにも拘らず、その爲替率が事變直前のそれに近づきつ〳〵あることに依りて知ることが出來る。ウオール・ストリートの取引も今週中に再開せられたが、コール・レートは、五分に上騰した。その主なる理由は、銀行が、投機の目的のために、貸出すことを欲せざるの意を明示したことである。外國爲替に對する處置は、一九三一年末、英國が執りたる手段と大同小異であつて、外國爲替を購買することは、正當なる商取引、旅行、個人的必要の場合及び休業の日に行はれたる約束を果すことに限りて許されることになつてゐる。

第十章　物價政策

第一節　一九二九年以後の物價事情

偖て比較的安定期は一九二九年を以て終り、同年八月から物價曲線は再び下落し初めた。卽ち一九二九年仲夏に於ける平均指數九六・五（勞働統計局調査）から年末には九三・三となり、翌年十二月には八〇に下つた。それから一九三一年及び一九三二年を通じて下落し（三二年晩夏に一寸盛返したけれども）、一九三三年三月四日、新大統領就任の時には五九・六と云ふ戰後の低點に達した。

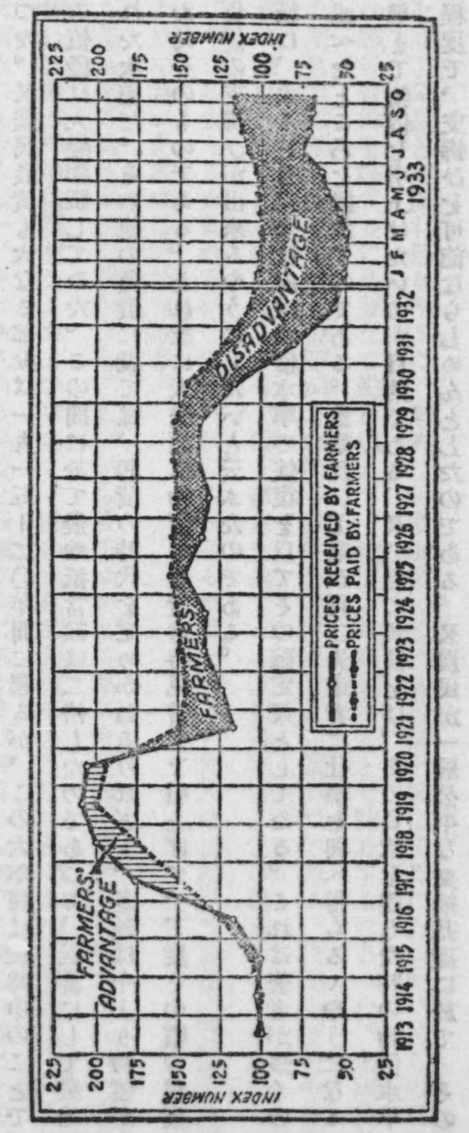
その後の三十四週間中にて二十八週間は、物價は上向して最近の指數は七〇・四である。卽ち本年三月四日に比すれば二〇%高くなつてゐるが、併し一九二六年のノーマルに較ぶれば、未だ三〇%低い。この三〇%と云ふのが曲者なのだ。

現在の物價指數とノーマルとの間に、どうした開きがあるかと云ふに、その下落率は物品に依つて種々樣々になつてゐる。次にこれを表示する。

	下落率
物品	− 45.8%
革品	− 36.3%
料品	− 11.2%
業燈	− 23.8%
製同	− 26.0%
材及	− 18.0%
及及	− 16.4%
品具	− 27.4%
維料	− 18.7%
屬築	
學	
產料	
農食	
皮纖	
燃金	
建化	
家	

下落の最も甚だしきは農産物及び食料品たる事は一目瞭然だ。卽ち農民の打擊が著しくひどい。更に農民の購買力に付き米國政府の農業經濟調査局で調べたものを見ると、戰前の一九〇九年から一九一四年に於ては農民がその農産物を賣つて一〇〇を受取り、これで以て買ふ製造品も矢張り一〇〇であつた。それで米國議會ではこの期間をば農産物と工業品とのパリチー（平衡）が取れた時代と呼んでゐる。併し乍ら一九一三年以來に於ける農産品と工業品との物價の動きは、次の圖表に示す如くになつてゐる。表中縱列線で示した部分が農民が比較的利益した時代であるが、それは時期も短く程度も低い。併し乍ら表中網目線にて示されたる は農民の不利益であつて、戰後以來今日まで繼續してゐるのみならず、不利益の程度が甚だしい。で、昨年になつてからは、圖表の右端に J・F・M と月順に示されてゐるが、二月から七月までは農産品の値段が比較的に上がつて、農民の購買力が幾らか改善されてゐたが、それにしても所謂ノーマルの一〇〇から見るとまだ〳〵大きな開きがある。

處が七月からは又農産品が下落し始めた。併し乍ら七月以來は又物價が下落した。それは本年初期



投機的に餘り急騰した反動であらうが、工業品の方はNRA規約のために賃銀その他生產費が高くなつた關係も手傳つて、その値段が上つて來た。今日中西部地方の農民の不平が激化した譯も、又大統領が農產物と工業品との價格にバランスを取らうとする旨を演說した譯も、實にこの點に存するのだ。

第二に政府が今の物價について大なる關心を持つのは、物價水準と公私負債との關係である。負債については Twentieth Century Fund などが調べたものがあるが、さうした現在の最近調査に依ると、公機關の長期負債總額は大數で三百三十億弗、會社や個人の私負債は約千億弗である。無論この總額

は千三百三十億弗の負債に對しては、他方にはその債權者があるのであつて、その人達に取つては資産である。で、一方には負債者でありながら他方には債權者であると云ふ風に、一身二樣の立場にあることは認めなければならないが、それにしても收入減退の中から債務を支拂ふことは公私共に苦痛である。それで物價が下落すれば、負債を支拂ふに當つて、餘計の小麥なり銅なりを要する、つまり負擔が重くなる。

併し乍ら聯邦政府の負債總額の半分以上は、戰時中に起したものであつて、當時は物價が今よりも高かつた。又農民負債も大なる部分は一九一五―二〇年間に遡るが、この六年間は戰時中のことで、土地の値段は大變膨脹してゐた。この間に於て農地抵當額は二倍したのであつて、抵當にして農地を買入れた次第だ。その他の負債に就ては、起債の時代を定めかねるけれども、多數は今より物價が高かつた時分のものである。それ故に大統領は物價を起債當時見當まで引上げて、丁度その頃の程度で公私負債の支拂ひが出來るやうにしたいと云ふたのである。

最後に、去る三月以來政府は物價水準の恢復を以てその確定策としてゐる。これは著者が多くの機會に述べたところを繰返すのである。農業及び工業が再び失業者に仕事を與へ得らるゝやうになるその水準まで物價を引上げたいのが目的である、又公私の負債をば、その負債を起した時の物價水準に近い程度で、支拂ひを可能ならしめんとしたのである。又農民が一層公平な交換基礎に於て、その生産物をば工業品と交換し得るやうに、漸次に物價機構に於ける均衡を恢復するにあつた。又その目的はこれ等の目的を達するに必要なる點を越えて、物價の騰貴することを防止するにあつた。米國民各階級の永久の福祉及び安定は、彼等がこれ等の目的を達することに繫がつてゐる。收穫の種類や產業的職業は幾百となくあるのであるから、僅々數月を以てゴールに達することは出來ない。一年かゝるか、二年三年かゝるか知れない。米國現狀の明白なる事實を考慮した人は、物價特に農產物の價格が、まだ十分に高いと思はないのである。

或人達は馬の前へ車體を置かうとする。即ち彼等は初めて弗の永續的評價をするのであるが、政府の政策は物價水準の恢復を先とするのである。弗の永久的評價がどうなるか、それは著者にも分らない、又何人にも分らない。今日永久的金評價を推想するには今後の事實から生ずる爾後の變化を取り入れなければならない。で、政府は物價水準を恢復したる上にて、次の時代中はその購買力及び負債支拂力を變化せざるところの弗をば設定維持せんと欲する。このことは去る七月倫敦に於ける米國委員へのメッセージでも述べたが、著者は玆に再び繰返すのである。

ニューヨーク州から、ルーズヴエルト自身によりて、ワシントンに伴れ來られたる以上三人の閣員は、直接にルーズヴエルト主義を代表するものなりと稱すべきであつて、右の中、ウーヂン氏は共和黨員であつた。彼等は何れも、ルーズヴエルト氏に對して絕對の信任を抱いてゐる。彼等は資本家の

團體をも、政黨をも、プロレタリアをも恐れず、ルーズヴェルト主義のために勇敢に、奮闘せんとする決心をもつてゐる。ウーヂン氏の眼中には、ウォール・ストリートなく、ファーレー氏はタマニーを恐れず、バーキンス嬢は亞米利加勞働聯盟等に頭を下げない。さればとてウーヂン氏は財閥の敵ではなく、ファーレー氏は政治機關を無視せず、バーキンス嬢は勞働團體に反對せず彼等は何れもそれ等のものに對して深厚の同情をもつてゐる。要するに彼等は、ルーズヴェルト主義の上に確立して彼等に對するのであつて、彼等の勢力に左右さる〳〵と云ふやうな事は斷じてない。

第二節　物價と産業の連關性

ルーズヴェルト政府が直面した財界回復の問題に對する態度は、何事をもなさず、不景氣を往くところまで行かしめ、自然の回復を待つか、或は、議論の贊否はあつても、何等かの人爲的刺戟を與へて、回復を促進せしめるか、この二つの內の一つであつた。

反インフレーショニストの效果は一時的で、所詮再び不景氣の襲來を免れない。唯だ許さるべきインフレーション傾向は、事業の流動的要求に依る銀行信用の增加のみだ。根本的事態が改善を示せば、事業家は必ず事業增加のため、銀行信用の增加を求める。逆に人爲的に通貨や信用のインフレーションを企圖しても、事業が增加する筈はない。自然の回復で、銀行信用は膨脹し、物價は多少昂騰するであらうが、併し不景氣前の物價水準に歸ることはあるまいと主張する。

低物價に於て事業の整理をすれば、自發的協定からでも、破產又は擔保處分からでも、兎に角債務の負擔は輕減される。斯かる債務負擔の輕減のみが、債務會社をして將來有利に轉回せしめ得るし、個人をして抵當資產を保持せしめ得るであらう。

これに對してインフレーショニストは、一九二九―三三年の不景氣は、過去のものとは違ふ。自然の回復は不可能だ。放任すれば再起不能にまで事業を崩壞するのみだ。そこで政府は、崩壞を防止し、回復を促進するため、積極的に人爲的刺戟を提供し、統制を企圖すべきだと主張する。

ルーズヴェルト政府は、この人爲的刺戟を必要なりとする理論に從つた。インフレーション法の公布は卽ちこの刺戟の提供だ。

この法律は農業救濟法に附屬して、一九三三年四月十二日公布され、大統領に物價水準の昂騰或は弗の下落に對する方策の權限を賦與したものだ。

大統領は、外貨下落のため貿易が惡影響を蒙むるか、米國通貨の平價維持の必要があるか、信用膨脹の必要があるか、國際協定に依り、諸國通貨を適當のレヴェルに安定せしめるため通貨膨脹の必要あるかの場合に於ては、

（一）財務長官をして聯邦準備當局に、公債又は會社債のマーケット・オペレーションをなさしめ、

又は現在の保有高以上三十億弗を限度として大藏省證券又は公債の買持をなさしめ、これがためには法定準備率を割るも差支なく、又發行稅の免除をする。

(二)三十億弗を限度として政府紙幣を發行せしめて、これを法貨となし、政府の債務返濟及び債務買入に充當せしめ、毎年四%宛償却せしめる。

(三)物價の安定で外國通貨下落に依る貿易上の惡影響に對して、純分十分の九の金弗の量目を變更し、外國政府と金對通貨の率を確立する協定の場合は、五割を超えざる範圍で、金弗の量目を決定し、これを以て價値の標準單位とし、他の通貨のこれに對する平價を維持せしむ。

(四)銀弗の量目を金弗に對する一定率で決定し、この率に於て、金及び銀の無制限鑄造を認める。

(五)本法公布後六箇月の間、外國政府の債務にして既に期限到來し、又は今後六箇月以內に到來すべき全部又は一部を、一オンス五十仙、總額二億弗を超えざる範圍に於て、銀を以て受領し、財務長官をしてこれに對し銀券を發行せしめ、その償還のため、この銀を銀貨又は補助貨に鑄造せしめ、殘餘の受領銀は國庫に保管せしめる。

(六)聯邦準備局をして、總裁及び五人以上の理事の贊成を以て、加盟銀行の準備を、一定期間增加又は減少せしめる。

右の六個の權限を、大統領に賦與した。而も銀受領の權限以外のものは、總て大統領の裁量に依る選擇的の權限だ。一九三三年の暮迄には、大統領はこの內三つの方策を實行したのみだ。英國から一オンス五〇仙で、一千萬弗の銀を受領し、金本位の離脫を聲明し、調整せる金價値と金準備基礎とで、金本位に復歸すべきことを宣言した。更に準備銀行をして、大規模の證券買入を實行せしめた。

政府紙幣の發行は、必ずしも事業回復の一時的の效果をも齎らさないであらう。何となればこの政府支拂のための發行は單に稅金が減少し、又は納稅貯金が消費に向けられる程度だけしか、購買力の增加を來さないからだ。これが若し出征軍人ボーナスこれは失業手當等に支出されるならば、假令一時的にせよ、購買力の增加となるであらう。併し若しこれを使ひ盡した時は、必ず購買力が減少し、從つて生產も必ず減退するであらう。ところが一旦人爲的にもせよ刺戟が與へられれば、事業はこの刺戟が無くなつても、高度の運轉を持續するだらうといふ議論がある。これはこの人爲的刺戟が無くなつた後も、果して眞實の刺戟となつて殘るや否やに依つて決まる。現在の不況に於て、政府紙幣の發行その他通貨インフレーション等の人爲的刺戟が、永久の回復を齎らすと考ふべき根據は更にない。或人々はこれに依つて心理的變化が起り、これが好影響を永續せしめると議論する。併し著者は斯かる現實の效果があるものとは思はない。

尤も紙幣インフレーションが、金及び外貨に對して弗價を低下させる場合は、輸出を增加し、輸入を減少せしめる效果はある。併し一方に於て、インフレーションに依る物價が昂騰し、紙幣弗が自由

金に對し低下せざるに至らば、輸出は減退し輸入は增加するであらう。更に過大なる生產能力は、物價が昂騰しても、國內事業を膨脹せしむるには至らないであらう。

唯だ物價及び生產の上昇が、それに比例し實質上賃銀を增加し、從つて購買力を永久に增加せしめるならば、インフレーションに依る改善は、一部分永久的となるであらう。併し過去の經驗は、物價の昂騰や生產の增加は、實質賃銀の增加を伴はないことを示してゐる。玆にインフレーションに因る物價の昂騰が、一般に更に恐慌を誘發する根本的理由があるのだ。

大統領は未だ紙幣發行の權限を行使しない。將來も多分は發行しないであらう。これは決して事業回復の刺戟にはならない。又これを發行する財政上の必要もない。この發行は、單に從來發行せる政府紙幣の信認を失ひ、政府の債務を增加し、且つ金準備に一層の壓迫を加ふるのみだ。

金弗の量目引下、複本位の採用又は銀の鑄造等に基く金弗の價値低下に依つて、物價水準を上昇せしめ得ると信じてゐるものがある。現在市場の金銀比價に依る複本位を採用すれば、貨幣として金の使用が減退し、金の內在的價値が低下し、從つて幾分物價水準は昂騰するであらう。

若し右の比價を例へば一六對一の如きに決定すれば、金の鑄造は止み、銀弗は法律上の金弗よりも低下し、從つて物價は昂騰するであらう。併し斯くては、米國は最早金本位でもなく、複本位でもなく、全く銀本位となつて終ふのだ。無論金の價値にも變動はあるが、而も金は歷史上最も貨幣に適當した價値標準だ。若し銀本位を採用すれば、銀の生產は著るしく增加し、弗價はこれに應じて絕えず低下する。この將來の弗不安は、到底事業を圓滑に繼續せしめる所以でない。

インフレーション法は、大統領の決定する金弗の量目を以て價値の標準單位と規定し、總ての種類の通貨はこの標準（卽ち金弗）に一定の平價を維持すべしと規定した。この規定は一見他の規定卽ち銀弗の金弗に對する比價を決定し、この比價での金及び銀の無制限鑄造を規定した條項と、矛盾せる如く思はれる。併し銀の無制限鑄造と云ふことは決して銀の自由鑄造と云ふ意味ではない。何となれば、自由鑄造の權利を持ち得るものは、標準（卽ち金）のみだから　。若しこの解釋にして正しとすれば、この法律は、大統領が複本位——卽ち比價を定め、これに依りて金及び銀の自由鑄造をなす——を採用することを許さず、且つ鑄造の目的を以て銀の無制限買入をなし、仍つて銀の無制限鑄造をなすを許さないことになるのだ。

一部の人々は、米國が技術上金本位を維持しつゝ、政府が多量の銀を買上げてこれを鑄造し、銀價を昂騰せしむると同時に、通貨總量を增加せしむべきを唱道してゐる。併しこれは政府信用を增加せしめて、通貨インフレーションを起すことだ。政府紙幣發行の場合とあまり違はない方策だ。若し政府が十億弗の銀を買上げて、これで三十億弗の銀貨を鑄造したとせよ。この內二十億弗は全然政府の信用で、十億弗のみが、銀の內在價値を持つのみだ。この場合紙幣發行の場合と異なる效果は、唯だ

銀貨を昂騰せしめるだけのことだ。これは銀生産者には多大の利益であらうが、一般國民にとつては、殆んど何等の利益を齎らさない。

大統領は未だこの權限を實行しない。將來とても、銀の無制限鑄造を採用することはあるまい。これは米國一國でやつては、通貨組織の安全を害するし、他の主要産業國が、斯かる制度を採用しやうと思はれないこと、彼の倫敦の世界經濟會議の決議が示す通りだ。この會議の最大の價値は、銀の無制限鑄造の可能性を打壞した點にあると云ふことが出來る。大統領はこれに依らずとも、他に弗價低落或は物價インフレーションの方策を持つてゐるのだ。英國から受取つた銀を使用する以外には、大統領は銀の鑄造や貨幣用使用を增加しはしないであらう。銀の鑄造は、銀價を上げる外、何の必要もない。銀生産者に支拂ふ通貨以外に、これに依つて通貨の現實の流通を增加することもないであらう。されば斯くる政策が、物資の需要を增加し、目に見えて物價を昂騰せしめることもない。自然これは不健全なる信用政策たるのみならず、實に物價インフレーションには無效の政策と云ふべきだ。

四月十九日大統領は、賦與されたる權限に基き、金輸出に嚴重なる禁止令を出し、金本位の離脫を聲明した。更に大統領は、將來適當の金基礎で、金本位に復歸する意思なる旨を聲明した、これに對して著者は、翌二十日の新聞に次の如き某氏の意見を發見した。

「大統領のこの行動は、第一に、倫敦國際經濟會議に於て、米國の立場を他の諸國のインフレーションに關する立場と同樣にして、交涉上有利なる地位に立たんとすること、第二に、戰債交涉上、弗價の引下が、米國の立場を有利にすること、第三に、歐洲のインフレーションに依る物資の對米輸出を喰止め、米國の輸出を旺盛にせんとすること等が、その理由なりと察せられる。」

「予は米國のこの行動が或程度輸入を阻止し、輸出を刺戟すべきことは認めるが、併しこれがため、ホワイト・ハウスの豫期する程大なる利便があるべしとは思はない。」

「唯だこのインフレーション行動が國內事業傾向に及ぼす影響は甚大なるものがあるであらう。物價は弗の金純分低下に應じて昂騰し、その五〇%の切下は、物價を略同樣の割合で上昇せしめるであらう。尤もその程度が決定する迄は、事業は將來の不安を感ずるであらう。併し相當程度のインフレーションが起るものと一般に想像されてゐるから、金から物への運動が起り、卸賣小賣共その商賣の分量を增加し、從つて生產は幾分增加し、失業は幾分減少するであらう。債務階級も、收入增加或は生產價格の昂騰に依り、幾分その負擔を輕減するであらう。」

「併し物價の昂騰する割合には、勞働者や俸給生活者の收入は增加せず、生產量增加の割合には就業も增加しないであらう。從つて物價の昂騰は却つて購買力を減少せしめることゝなり、自然再び商業の減退、生產の減少が惹起されるであらう。物價も再び下り、現在と同じ樣な窮境が再來するに違ひない。そこでこれを阻止せんとすれば、更にインフレーションを續けるか、左もなくば大統領は、

賃銀又は俸給を强制的に增加せしめなければならない。若しインフレーションを繼續するとなれば、その結果は往年の獨逸の如き悲慘なる事態を招來するであらう。」

某氏の右の豫言は、既に幾分實現した。本書執筆當時にも、右の記述を修正する必要を認めない。從つてインフレーションから生ずる右の如き弊害を極力避け得べしと信ずる。

このインフレーション法の內、銀行信用の膨脹を除き、弗の金分低下は最も危險の少ない方策だ。これに依り、確實に物價を上げ、銀の無制限鑄造論を阻止し、而も政府紙幣發行の場合の如く、政府の債務を增加せず、寧ろ逆に政府保有金から「弗」利益を生じ、債務者には負擔の輕減となる。殊に總ての債務契約から「金約款」を無效にしたことは、一層負擔輕減を確實にした。

大統領は弗を、借入當時の購買力と同樣の購買力を有する如き點に安定したいと云ふ意思を發表した。彼は物價を一九二六年のそれに迄同復せしめ、併し乍ら後に安定せしめんとするつもりだと、一般に想像せられてゐる。倫敦經濟會議に對する聲明に於ても、弗安定理論を述べ、數箇月以內に弗の價値を、將來も現在同樣な購買力を持つやうに安定せしめたいと述べた。

第三節　物價の根本問題

若し物價水準が安定すれば、產業組織は圓滑に運行し、國民に多大の便宜を供するであらう。或學者は、弗の購買力は安定せしめ得るし、安定した上は、景氣の轉換を阻止し得べしと主張する。總ての債務契約も、これがため債權者債務者双方にとり公正になる。この弗の安定を主張するものは、これを「商品弗」と稱してゐる。弗が商品から見て、常に一定の購買力を保持するからだ。

この論者は安定弗實現の方法として次の二つを主張する。第一は、物價の上下を匡正するために、弗の金屬含有分を、同じ割合に增減すること。第二は、物價を比較的に安定するため、時に應じて、銀行信用量を增減することだ。卽ち物價が希望する水準以上に上れば、その割合で弗の金屬含有分を切下げ、銀行信用量を減少せしめて、物價を元の位置に戻し、物價が希望水準以下に下がければ、その逆を實行する。但し商取引には、銀行信用卽ち小切手の使用の方が、通貨よりも遙かに多いから、通常銀行信用量の政府統制をなし、唯だ物價が極端に走る場合にのみ、弗の金屬含有分を增減すればよろしいとする。

或一派の學者は、安定物價水準の觀念を、「管理又は統制通貨政策」と呼んでゐる。右の理論は、次の三つの一般的假定に立つてゐるものだ。この說の强味と弱點とを檢討するためには、この假定の吟味が必要となる。

第一の假定は、グレーン當りの金自身の價値が一般物價水準の變動と共に上下すると云ふことだ。例へば物價が二五%低下すれば、金弗に含まるゝ金自身の價値は、二五%昂騰すると云ふのだ。この

學說の反對論者は、物價の下落は物資供給の增加、從つて物資自身の價値の下落からも起る。この場合は金自身の價値の昂騰からも起るのではないと主張する。これに對し論者は、その場合に於ても、通貨の「價値は物資に對する相對的なものだから、物價の下落が、假令金價値の昂騰から起つても、物資の價値の低落から起つても、物資から見た通貨の價値は變化してゐる。從つて弗の金屬含有分の切下は、物價水準の低落を匡正すると答辯する。

第二の假定は、一般物價水準は、一方に流通「通貨」の總量と、他方に取引物資の總量とを結ぶ方程式に依つて決定されたと云ふことだ。だから取引せらるゝ物資の總量を調整すれば、一般物價水準を安定せしめ得るし、そのためには、銀行信用量の增減と、弗の金屬含有分の增減をすればよろしと主張する。

第三の假定は、通常時に於ては、「信用弗」卽ち銀行信用の增減に依つて、一般物價水準の安定を實現し得ると云ふことだ。論者は、弗が「硬貨」であらうと、「信用弗」であらうと、兩者の自由な交換が認められる限り、何等の區別はないと主張する。

米國その他諸國の歷史的經驗は、この學說を或程度支持するものがある。米國最近の經驗でも、弗の金分低下は、假令一時的にしろ、物價を昂騰せしめた。又米國及び諸國の銀行の經驗は、物價が銀行信用の增減と同時に上下したことを示してゐる。

物價が上昇傾向にある時、政府が銀行信用の膨脹を阻止し、又は元に復歸せば、物價の昂騰は確かに延引するか又は中止される。換言すれば、商業及び投資信用の膨脹を統制すれば、政府は物價昂騰及び取引量の增加を阻止し、インフレーション・ブームを抑止することが出來る。併し現在迄、斯かるブーム抑制のため、銀行信用の膨脹を十分に統制した政府は何處にもないのだ。

著者はフイッシャー敎授の言ふやうに、景氣の轉換が單に「弗のダンス」だとは思はない。ブームの時期に於て、銀行信用や、通貨切下政策で、次に起るべき不景氣を防止し得べしとは考へない。又單なる一時的の物價安定が、ブームを阻止し得べしとも思はない。安定佛說の主たる結論卽ち一般物價指數が購買力の供給總量を、常に市場の物資總量に比例せしむれば、永久に安定を維持すべしと云ふ說を承引することが出來ない。この說の前提となつてゐる前記の假說は、何れも一部は事實でない。

第一に弗の「價値」は、決して相對的なものではない。物價水準の變動が、弗の價値の變動から起つたか、物資の價値の變動から起つたかゞ、根本的に重要な問題だ。これに同樣の對策を施すことは出來ない。技術進步に依る物價の變動の場合を考ふれば、物資價値の低落の際に、物價安定を維持することの困難がすぐ判る。

技術的の進步が起り、主要產業の生產費が低下すれば、一般物價水準は徐々に低下する。若しこの際物價を高き儘に安定せしむる時は、利潤を過當に增加せしめ、資本設備を過剩に膨脹せしめる。そ

こで購買力の不足は、全產業の貨銀スケールが、一般生產力の增加に伴つて增加しない限り、必ず起つて來る。而も技術進步は、各產業同時に現はれるものでないから、特殊の產業にこれが現はれても、全產業の貨銀スケールを增加させる譯にはゆかない。卽ち動的社會に於ては、價格を個々の產業の生產費に應じて調整せんがためには、一般物價水準を一定點に安定せしむるよりも、寧ろ徐々に低下さすべきものなのだ。

これに對して安定弗論者は、技術進步に依り生產費を低下せる產業は、その物價を低下すると同時に、他の產業のそれを昂騰せしめて、安定物價を維持すべく、更に生產力に應じて、購買力を增加せしめるため一般貨銀スケールを增加すべしと言ふ。併し貨銀が生產力に應じて增加しないことは、前述の通り過去の經驗が實證する。貨銀は勞働の生產力に依つて決定されるのではなく、勞働の供給量如何に依つて、最低貨銀で決定される。さればこそ、技術の進步は却つて勞働を減少し、貨銀支拂を減少したではないか。されば技術進步の狀勢下に於て、購買力と安定物價水準を維持せんがためには、政府が貨銀と物價との水準を統制しなければならないのだ。

更に物價水準を決定するものは、單に流通通貨の量のみではない。第一に通貨流通量の一部は、物價水準の結果であつて原因ではない。これは物價水準と銀行信用の增減の關係を見れば明らかだ。第二に購買力の總量と同樣に重要なことは、購買力が何人に依つて所有されるかだ。卽ち現實の消費購買力が消費者、投資家及び事業の間に如何に分配されるかゞ大切なのだ。

安定弗論者は右の第二點を考慮してゐない樣だ。若し國民收入が、投資家や事業そのものにより多く分配され、直接物資の消費者により少なく分配される時は、消費物資は過剩となり、物價は通貨及び物資の總量の方程式に拘らず低下する。これは一般物價水準が安定されてゐる場合にも起る事態だ。事實一九二二——二九年の間がそれだ。

假令流通々貨の總量が豐富でも、現實の消費者の手中に少ない場合は、信用政策の如何に拘らず、物價は低落する。この場合政府が、弗の價値を切下げれば、無論一時的には物價を昂騰せしめ得る。併しこれは全く一時的のもので、この對策で以て、物價下落を誘致した根本の原因を救濟することは出來ない。そこで物價は、弗の價値低下に拘らず、再び低落を始めることゝなる。されば政府が安定弗の政策を、永久的政策として採用し、これを效果的ならしめんがためには、政府は更に民間事業の貨銀スケールに對し、永久的統制政策を執らなくてはならない。消費者の購買力が十分でない限り、永久の安定的物價水準は一個の不可能事だ。動的社會、安定物價、それ故に自由放任の貨銀政策の事情下に於て、十分なる消費購買力を維持せしめる唯一の方法は、卽ち民間事業の貨銀スケールを、政府が統制することにあるのだ。

安定弗論者は、物價水準の一定點からの分離を匡正するため、通常の場合政府が、容易に銀行信用

の增減をなし得るものと、單純に考へてゐるやうだ。無論出來る場合もある。併し一般消費購買力が不十分で、物資が賣れず、滯貨の增加と從つて物價の低落が起つた場合の如きは、政府はこれ以上事業に銀行借入を增加せしめることは出來ない。假令如何に金利を引下げても、使ひ途がないのだから、信用增加の誘因にはならない。逆に銀行借入の返濟が行はれ、銀行信用は減少する。この場合銀行信用の減少は、物價水準低下の原因ではなくて、寧ろその結果なのだ。この際如何に政府の力を以てしても、銀行信用量を增加せしめることは出來ない。

次に政府が弗の購買力安定政策を執らんとするに當り、當面すべき問題に就て考へて見やう。

大統領が金本位離脫を聲明するや、準備銀行は巨額の證券買入を行つた。この市場政策は、加盟銀行の準備を增加はしたが、一般の銀行借入は增加しなかつた。事業は、利潤の見込もないのに、唯だ銀行の貸出能力が增加したからとて、借入を增加するものではない。銀行も又當時の事情に於ては、全く貸出を喜ばなかつた。そこで一九三三年四月初め迄は、政府は殆んど銀行信用量の增加を實現せしめ得なかつた。

一方物價は、金本位離脫後急激に昂騰し、宛も無限の上昇を續くるかの如き勢だつた。併し七月半頃迄にこの勢は止つた。前述の通り銀行信用は、物價と共に增加せず、これが物價昂騰の勢力を減殺した。そこで九月半頃には議會のインフレーショニストは、大統領は權限內の別のインフレーション政策を速かに實行すべしと唱へ、議會開會一月迄に更に物價の昂騰なきに於ては、議會は別途インフレーション立法をなすべき旨を暗示した。

この要請に對し、大統領が如何なる態度に出るか判明しないが、先づ復興金融會社をして、低利で銀行に貸付をなさしめ、以て銀行からの貸出を增加せしめんと考へてゐるやうだつた。併し著者の見解では、大統領が同時に、如何なる程度迄物價を昂騰せしむるかを、はつきり聲明しない限り、この政策の效果はあるまいと思ふ。物價の將來に就て、銀行も事業も共に不安を持つてゐることが、銀行信用の增加せざる主因なのだ。

無論大統領は、國內物價は（紙幣弗の）を幾らでも昂騰せしめる權限を持つてゐる。今やその昂騰の程度と、その實現方策とを決定すべき時期に到達したのだ。一旦、物價が上れば、次はその安定が問題だ。大統領は物價昂騰が或程度に達した時果してそれ以上の昂騰を止め、且つそれ以後その安定を維持し得るや否や。これ以上の增加を打止める力は無論ある。併しその時、物價を再び低落せしめることはないであらうか。彼は先づ弗の金分を決定し、物價水準を一定點に安定せしめた後、第一に銀行信用統制政策を採用せんとするもの〳〵如くだ。

聯邦準備組織の創立以後、政府は銀行信用の膨脹を阻止し得べき力を有するに至つたが、未だ曾て、如何なる政府も、これを有效に使用したことはない。何れもその不人氣を恐れたのだ。果してルーズ

ヴエルト政府は、この力を使用するであらうか。併し物價安定のためには、必ずこの力を振はなければならない。

次の問題は、大土木事業案が終結した後に於て、尙ほ物價水準を維持し得るや否やの問題だ。政府はこの土木事業に依つて、就業を增加し、材料の需要を增加し、消費購買力の增加を實現する。併し一旦この事業が終結するや、失業增加と、物資の滯貨と、購買力の減少とが起り、このショックは直ちに物價の低落となつて現はれる。物價の昂騰と生產量の增大とに伴つて、賃銀が增加しない限り、必らず物價は低落する。この際政府が、銀行信用を增加して物價水準を維持せんとしても、その目的を達せざること、前述の通りだ。然らばこの際更に弗の金分を切下げることが必要となる。併しこの方法は一時的で、決して物資の過剩や購買力不足の根本的難問を解決するものではない。一時的物價水準の昂騰はあつても、根本の事情が變らない限り、物價は再び轉落する。されば斯かる政策に依る限り、弗の切下を遂には零になる迄續けなければなるまい。著者は斯かる事態の起らないことを希望し又信ずる。賃銀の一般水準が速かに上昇し、消費者の購買力が豐富になり、以て滯貨の蓄積を防止し得るならば、斯かる事態は起らないで濟む筈だ。

第四節　物價對策

右の如く政府は物價を引上げて、農民の購買力を增進し、又公私負債の負擔を輕める政策を執つてゐるのであるが、この點では前政府も手段こそ違ふが、同樣の目的を有した。手段こそ違ふが、その目的とするところは、前政府と異なつてはゐない。一派の意見では、不況から脫出する最捷徑は、物價をば消費者の力に叶ふ程度まで下らせて、低水準から築き上ぐべしと云ふ。が、前內閣も斯かる收縮政策は執らなかつたのである。卽ち元の Federal Farm Board をして棉花百萬ベール、小麥二億五千萬ブッシエルを買上げさせ、斯くて物價下落の勢を逆轉して高くしやうとしたのである。又聯邦準備局は一九三二年中、十億弗餘の政府證券を買ふて信用をば樂にして物價引上げを講じた。その他のフーヴー政府は鐵道、公益事業その他の會社に向つて、新工場及び裝備に巨額の投資を支出させんことを促がしたが、それは就職口を殖やし、物品に對する需要を造り、斯くして物價を改善せんと欲したのであつた。一九三〇年に「今買へ」——Buy Now 運動を起したのも同樣の手段に屬するのだ。

又ルーズヴエルト大統領の管理通貨論とて、別に事新らしくはない。複雜なる現代文明に於て通貨は必然的に管理されてゐる。聯邦準備制度の如きも、その割引率の上げ下げと、公開市場オペレーションに依つて、通貨を管理し來ること、こゝに二十年である。卽ち通貨の管理は別に珍らしいことではない。

たゞルーズヴエルト案に於て前例なく、且つ米國として從來の經驗と違ふ點は、その通貨管理及び

物價引上げに於て、直接の通貨手段を執らんとするところにある。ルーズヴエルト案は復興金融會社をして國内に於ける產金をば適當と見た値段にて買上げ、又外國市場にても賣買するのであるが、外國で金を買ふのは弗を賣ることになり、金を賣るのは弗を買ふことになる。或意味よりすれば、これは英國の爲替平衡資金とその運用が同じい。英國にては金本位を停止して以來、こゝに二年間、その輸出貿易と國内物價の關係を睨んで、磅の賣買に依つて、爲替の平衡を講じ來つた。たゞルーズヴエルトの目的は米國物價の引上げにあるから、米國政府の外國市場に於けるオペレーションは、弗の安定よりも寧ろその低下を講ずるものと見るべきであらう。で、國内に於ける金の買上げと國外に於けるそれとは、共に弗の平價切下げを行ふ事に歸著する。たゞそれは一定數字を決めるのでなく、日日スライヂング・スケールを以て、經驗しながら續けて往く譯なのだ、又公式には弗の金含有量は變へないけれども、その金買入れ値段に依つて、弗の金含有量の變更を指示して往くと見ていゝだらう。

嚴格に云へば斯の管理弗は、所謂「商品弗」――"Commodity dollar"でない。「商品弗」であれば公式物價指數の變動につれて、その金含有量が自動的に變つて往く仕組である。併しルーズヴエルト大統領は、物價水準を恢復することをば先決問題として、そして次の時代中、その購買力及び負債支拂力に變化なき弗を以て終極の目的とすると云ふてゐる。

又ルーズヴエルト氏は、必要點以上に物價の騰貴することを防止し、現在に於ける物價の不權衡を匡正し、現在負債の負擔を輕めたいと云ふてゐる。卽ちその點まで達したる後は、繼續的コントロールを加へて弗を安定する積りかと思はるゝが、その方法は今の處定められてゐないし、又恐らく相當將來のことなのであらう。

この計畫が發表せらるゝや、種々の問題が提起せられた。第一にはそれは果して直ちに目的を達するや否や。金の舊時の價格一オンスに付き二十弗六十七仙であつたが、その五割又は六割增で金を買入れ、同時に外國市場で弗を賣るとしたら、それで果して國内物價が上るか否やである。この點については大統領側近の顧問間でさへ意見區々である。この頃ルーズヴエルト氏の顧問の一人であるコーネル大學の Dr. Warren は、紐育タイムスで次のやうな意見を發表した。――卽ち物價の歷史を研究して見るのに、通貨單位の供給が急に倍加すれば、物價平準は二倍する。そして通貨單位の金屬含有量をば半分に切下ぐれば、これ又同樣の結果を齎らすと。併し乍ら同じく顧問たるハーヴアード大學の Dr. Sprague も、紐育タイムスで、弗の切り下げをなすとも物價は騰貴しないと述べてゐる。

これは本文初めに述べたと同じく意見が二派に分るゝところであるが、一派は弗價値の切下げに準じて、物價は略々同樣の騰貴をすると云ひ、他の派は米國々内に於ける產金額は、世界に於ける產金總額の約十分の一であるが、この米國の新產出金の國内價格は、それ自身に於ては物價には何等重要なる結果を齎らさないと見てゐる。卽ちこの派は不況中の經驗に照すに、通貨の供給なるものは物價

水準の實因でないのみでなく、バロメーターでさへないのであつて、通貨の供給と物價水準とは一の直接關係もないと信じてゐる。又ルーズヴエルト氏が今度のは一時的便法にあらずして一個の政策なりと云ふたのを聞いた、それは然うかも知れないけれども、その政策を立てるに付ては、便宜と云ふことが重要の部分をなしたであらうと見てゐる人もある。彼等は中西部に於ける農民の反對運動や、NRAに隨生したる物價の紛糾などを擧げ、且つ佛蘭西が俄に金本位を停止したならば、米國の物價の大下落を來すであらうから、そうした種々の事情から、ルーズヴエルト氏は今度の手段を執るに至つたのであらうと云ふてゐる。これ等の人達は第二派に屬するのである。

物價をして一定の點に安定せしむることも又同樣に、弊害がある。若し現在の物價か、或はそれよりも高き平準に於て安定せしむることゝすれば、國內の物品市場に反動を與ふることを避くることが出來ない。斯くして國際的物價平準に對する壓迫は更に甚だしくなるであらう。若し弗の下落せる對外價値に於て物價を安定せしむることゝすれば、壓迫は通貨の側より來るであらう。

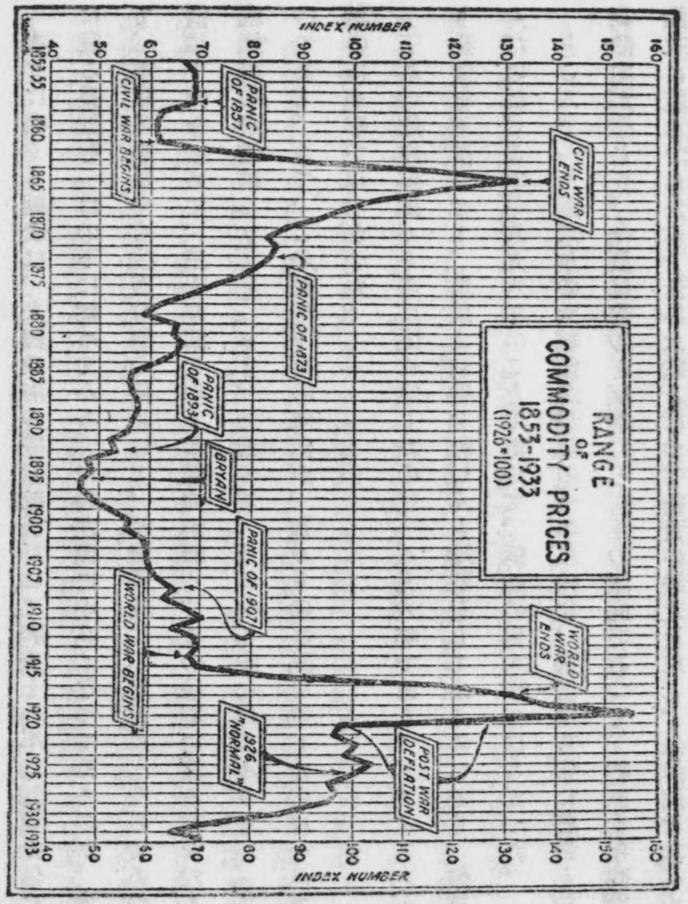
何れにしても、安定を得れば、政府は適度の膨脹すらも躊躇するに至るであらう。その結果、後には新たなるインフレーションの需要を增加するであらう。故に外國に於ける甚だしき衝動を避けんと欲せば、政府がその活動をば爲替相場の方面より國內に於ける膨脹政策に轉ずるを要する。要するに、安定に膨脹政策に依りて、國內及び國際的均衡の恢復せられたる後になさるべき筈である。

第五節　弗と物價

次ぎに揭ぐる圖表は、米國政府の勞働統計局にて調査した平均卸賣物價に基づいたもので、八十年に渡る長期を一目の下に納めてゐる。表の左側に小高くなつてゐるのが、南北戰爭當時の物價水準にて、軍隊の動員やら生產狀態の停止にて、物資供給に不足を來したのであつた。一八六五年後から物價は下向き初めて、三十年間この下落傾向が續く。この長期に渡る徐々たる物價の動きのことをば、或經濟學者達は "Secular" trend と云ふて、景氣や不況に伴ふ小さな "Cyclical" の變動と對照するのである。さて、この長期下落の傾向が、彌々その底點に達したのは一八九六年のことであつて、偶然の出來事ではなかつた。

下落の傾向が彌々その底點に達したのは一八九六年である。ブライアンが東部資本家は、長期に渡り物價を下落させて、農民の利益を奪はんと陰謀をしてゐるのだから、銀貨自由鑄造をなすべしと叫んだのは、この一八九六年のことであつて、偶然の出來事ではなかつた。

ところで一八九六年の大統領選擧後の一年以內に、物價は非常に騰貴し初めて、こゝに新らしき長期傾向が生じた。今度は前のと反對に上向きの傾向であつて、約三十年間續いた。その騰貴は初めは漸次に進んでゐたが、世界大戰となつて物資の缺乏を來し、急速度を加へた。この騰貴傾向は一九二



何故目標にされるかと云へば、一には坂の半分途に位するからである。他には比較的安定してゐた時期の大體平均に當るからである。又一には米國政府の勞働統計局で、どの年かを理論的にノーマルな

〇年の春に頂點に達したが、それから戰後の第一收縮期中に急轉直下したそして一九二二年の仲夏から一九二九年の仲夏までは、相當に平調を保つてゐた。それで戰時の頂點から半分ほど降つて來たところに、一九二六年と云ふ不思議な年が控へてゐる。今日物價引上げ計畫の目標にされるのがこの一九二六年なのだ。

年とを見るに當つて、この一九二六年をば選定したと云ふ偶然な事情にも依るのである。

比較的安定期竝に變動激烈期に關して、大體二つの說がある。一派の說にては、これ等の時期に於て物價を支配する決定的のものは金の供給及びその價格だと云ふ。他の一派は金は色々な支配要素があるその中の一つに過ぎずと說く。處で概數を擧げて見ると、一八六〇年代に於ける金產額は六百萬純オンスであつたが、二十世紀になると千二百萬オンスに殖え、それから近年に於ける二千萬オンスになつた。この產額の變化が及ぼした結果如何は、要するに意見の相違で、何時も論爭の題目になつてゐるが、兎に角も二つの著しい事實がある。それはアラスカや南阿弗利加で金の產出が大變に增加したのは一八九〇年代の後半であるが、物價の騰貴し始めたのと一致してゐる。併し乍ら一九二〇年後の物價下落期に際しては、金の產出減は比較的に少額に過ぎない。特に一九三一年及び三二年の如きは、物價が釣瓶落しに下つてゐる際に、金の產額は從來にその比なき增加を見た。それ故に米國に於ける貨幣用の金ストックは、一九二〇年の物價下落以來で十五弗を增加し、又その他四十九箇國の中央銀行に於ける金ストックは三十五億弗の增加を見た。

ニウ・レバブリック記者は斯く云ふ（九月二十七日號）。——この數月來、インフレの噂が、又もや高くなつて來た。大統領顧問の內部はこの十月下旬頃に、愈々農業法附帶のインフレ案を實行する氣らしいぞと、見當をつけてゐるものが隨分ある。その理由は——農業品に比して、工業品の値段が一

層速く、又一層高く騰貴した事實だ。農産品と工業品との價格が權衡を失したことこそ、經濟難の一大原因であつた。農務長官のウオレースは、全くこれには當惑してゐるので、右の不權衡が匡正されないならば、農民及び公衆は、屹度インフレ注射を要求して已まないだらうが、その勢はとても喰ひ止められまいと、內々眞劍に話してゐた。が、農工產品價格が不權衡にならうことは、幾月前からして豫想されてゐたことだ。かねて農務長官を初め農業復興局では、工業品の價格よりも速く騰貴すれば、復興計畫全部の調子が狂つてしまふと、熱心に力說して已まなかつたのだが、ジョンソン將軍管下の工業計畫は、非常な速力で前進し、農業計畫は遙か後方に取殘された。農業復興當局は、とてもジョンソンの工業復興運動のやうに、非常な戰時氣分を發揮する譯に往かなかつた。その結果一方にばかり無暗に進んでしまつて竟々權衡を失したのである。卽ち製造家や仲買業者や小賣業者は時間短縮賃銀引上げの規約發布と共に、値段を引上げた。中には規約がきまらない前から、値段が上つた例さへある。無論農業品は幾らか上つたけれども、右の有樣で工業品の値段が、ずつと高くなつたから、兩者の開き、卽ち不權衡は依然として取除かれない。農民の買入れる物は高く、賣るものは安いから、その難澁は匡救されない。併し何人にもこの不公平を匡すべき名案はないやうに見受ける。玆に於てか大にインフレが叫ばれる譯だ。

インフレ贊成論が起る第二の理由は、國民復興局の Buy Now 運動を促進せんとすることだ。盛んに購買力を煽ることは、復興案に取つての最も重大問題だから、復興局幹部に於て異議があらう筈がない。第三には、例の農業法附帶のインフレ案——卽ちトマス修正條項——背後の勢力だ。同案は大統領に向つて、弗の金含有量半額その他インフレ實行權能を賦與してゐるのだが、この權能を賦與して置くなれば、大統領は必らずその權能を行使するものと信じてゐた。——併し乍ら大統領がこれを實行しなければ、一杯喰はされた、ペテンにかゝつたと云つて怒り出すに決まつてゐる。そして昨年一月議會が開かるゝ頃になると、西部及び南部地方は、盛んに政府の措置を憤ほつて、是非ともインフレ法律を通過せよと、議會に逼るだらう。この勢はとても制止できまい。斯くして法律となつてしまへば、大統領は是が非でもこれを實行しなくてはならない。又その場合、議會を通過するインフレ案は、どんなに大々的なものであるかも知れない。今ならばまだ政府に裁量の權能が與へられてゐるのだから適當と認める程度のインフレをやれば好い。斯うした次第で、機先を制して、インフレをやるべしとの說があるのだ。更に議論ではないが、こゝに見逃し難き事柄は、ハーストがその系統の新聞を擧つて、インフレ實行の急務を主張し出したことだ。今度は他に相槌子を打つ盟友新聞が隨分にあらうから、この新聞運動は侮り難いであらう。

併し乍ら當のルーズヴェルト大統領は、インフレをやりたくないのである。これは彼と財的問題を語るほどの人が、誰しも好く知つてゐる事實だ。インフレをやらなければならないやうにならうも知

れないが、どうかしてやらずに濟ましたいものだと、彼は希望してゐるのである。卽ち大統領の夢想するところは次の通りだ。——來年一月になる、その時全國に向つて聲明するのである。曰く、不景氣は終つた、失業は人力で及ぶ範圍の解決がついた、豫算は均衡された。禁酒法廢止に依つて減稅が出來た、總てこれはインフレをやらずに出來たのである。大統領の願ふところは無論この通りに決まつてゐるが、その通りにやれさうにはない。大統領自身もその通りやれるとは思つてゐないのだが、彼が若しインフレをやるとすれば、非常に厭やでやるのである。非常な重臣に逼られて詮方なくやるのである。が、その時には大藏長官及び豫算長官の進退問題が起るかも知れない。

爾餘の閣僚達は別に不平なく、大統領のインフレ傾向に服するだらうが、大藏長官ウッヂンと豫算長官ダグラス兩氏からは、猛烈なプロテストが期待さるゝ。若し大統領が已むなく金含有量減額手段でも採るとせば、ウッヂン氏はこれを大藏長官辭任の口實とするだらう。ウッヂン辭職後の大藏長官はダグラス豫算長官なるべしとの噂があつたけれども、それも今の形勢では實現性があるまい。今やダグラス氏は以前ほど、大統領に密接した顧問役ではないらしい。聞くところに依ると、もと〳〵ダグラス氏は復興計畫の一大眼目たる公共土木事業計畫には寧ろ不同意にて、今でも變な眼つきで睨んでゐたとのことだ。卽ち三十億弗を支出して公共事業を起すとも、どうせ有益には使はれずして、豫算均衡の如きは無論やれる筈がないし、つまりは復興計畫全部の基礎が崩れてしまふ意見ださうな。

民主、共和兩黨中にも、斯うした舊式論者は、隨分とゐる。ダグラス豫算長官が今尙この意見を固執してゐると聞いても、彼を熟知する程の人は別に驚きはすまい。

けれども復興事業の一半を形づくる公共土木事業に對して、ダグラスが斯うした意見を持つてゐる以上、大統領の顧問として彼の地位は、何としても幾らか傷つかざるを得ない譯だ。そのせいでもあらうか、彼の大藏長官後任說は、今やとんと人の口にのぼらなくなつた。現にこれ程、大統領が財的問題に關して、第一回の密議を凝らした際、出席してゐなかつたのは、是非出てゐるべき筈の大藏長官ウッヂン氏と豫算長官のダグラス氏であつた。大藏長官は例に依つて、華府に居なかつたと云ふが、ダグラス氏は近にゐたのである。そして彼が斯うして財的會議に出なかつたのは、新政府以來、實に初めてのことであつた。大統領は豫算長官としてのダグラスに不滿であるとか、或は豫算長官の更迭を見るだらうとか、さうした意味で、記者は右の如く書き列ねたのではない。恐らく來年匆々の議會に於て、ルーズヴェルト氏は全幅ダグラスの經費節約戰を支持することだらう。が、數月前までは、あれほどに大統領から推重されて、大藏長官の後任まで擬せられてゐた彼が、今やその噂が夢と消え去つたことは、甚だ興味多い話ではあるまいか。——以上二項 The New Republic, September 27, 1933.

弱り目に祟り目で、米國の銀行組織は、既に十分危險に瀕してゐるところへ持つて來て、更に他の方面から不穩の情報がもたらされた。そは外でもない、銀行その他の金融業者は何れも、農場を低當と

して、農業家に巨額の貸出をしてゐるのであるが、農産物價の暴落のため、彼等は元金は云ふまでもなく、その利子すら拂ふことが出來ないと云ふことが明白になつたのである。それがために銀行の形勢は益々危急を告ぐること〳〵なつた。

一地方に於て閉鎖せる銀行があれば、直ちに他の開店せる銀行に影響を與ふることを忘れてはならない。何となれば、閉鎖せる銀行に預金したるものは、その必要を滿たさんために、友人又は事業關係者から融通を受ける事となり、その人は自己の銀行から引出すに至るが故である。一九三三年二月十四日、ミシガンの銀行が閉鎖するや、その影響は直ちに、他州殊にシカゴ及び紐育の銀行に波及した。ミシガン全州の銀行や會社商店は、何れも友人取引先等の緣故を辿りて金融を受けんとし、その依賴を受けたるものは自己の銀行に駈けつけると云ふ次第で、自州から漸次他州に影響を及ぼし、最後にその影響を受くるものは紐育の銀行であつた。

國內に於ける米弗の全價値をば、必要に應じて、時に從つてコントロールすべき種々の手段を講じて、これを適用することが、愈々重要となつた。今日米弗は國際貿易上の偶發事件や、他國の國內政策や他の大陸に於ける政治的紛亂等のために、全く餘りに甚だしく動かされてゐるのである。

故に米國はそれ自身の手中に、確乎として米弗金價値のコントロールを把握しなければならない。彼等終極の目的は物價の繼續的恢復であるが、弗の紛糾に依つて、米國人がこの終極目的から刎ね飛ばされないやう豫防するには、斯うした手段を執る必要がある。

この目的を達する效果的の一手段として、著者は米國內に於ては金に對する政府市場を設けよと提唱したい。故に現行法規上、明白に規定されたる權能に依り、識者は復興金融會社に向ひ、米國々內にて新たに產出されたる金を買入るゝ權限を賦與せんとしてゐる。その價格は時に從ひ、大藏長官及び大統領と協議の後に定むべきものとする。尙ほこの目的を達する必要ある時は米國民は市場に於ても金を買ひ或は賣るであらう。この手段を執りし目的は、繼續的コントロールを設置し維持せんためである。これは一個の政策であつて、一時の便宜手段ではない。そは單に一時的の物價下落を相殺せんために用ゐらるゝのではない。斯やうにして彼等はその管理通貨に向つての動きを續けつゝあるのである。

今春、彼等が直接手段に依る物價引上げの共通政策を執るや、これに對して悲觀的豫言をなせし人々があつた。然も現實に生じつゝあるところは、正しくこれ等の豫言に背いてゐるのである。卽ち政府の信用は高いのである。物價も部分的に上つたのであるが、併し乍ら政府の信用は維持せられ、それ故に健全なる通貨は米國物價水準の騰に伴ふであらう。今や識者は諸君に向つて、其共同恢復建設に關する彼等の着實なる仕事を物語つた。三月四日の以前より以後に渡り、政府は國民に約するに當りて二事を明かにした——第一、政府は何等の奇蹟を約さなかつ

た。第二、政府は其最善を盡すべしと申した。著者は諸君の忍耐と諸君の信任を感謝する。吾々の困難は明日を以て終らないであらう。併し乍ら吾々は既に途に上つてゐる。それ故に正しき方向に向つてゐるのである。

第十一章　金融政策

第一節　通貨問題

實際大統領は、差迫れる災厄を避けんがために、金本位制を中止するの已むを得ざるに至つたのであつて、日英兩國の競爭は第二の問題とするも、彼は然かすることに依つて、輸出貿易に便利を與へ得ると云ふことには、多く注意を拂はなかつた。官邊に於て、疑はしい聲明をなすまでは、大して資本の流出はしなかつた。よし流出しても、現在の豫備金を使用し、既に實行せられつゝある法律を勵行することに依つて、これに處することは困難でなかつた。それのみではない、合衆國が復興すれば、流出せる資本を相殺するに足るだけの外資を吸收することは容易の業であらう。

彼は寧ろ通貨の金に對する價値（對外的）の減少は、內部的價値の同樣の減少（卽ち物價平準の同樣の增加）を來すものと信じてゐた。この理論は、長期に於てすらも、支持すべからざるものであるが、多くの人々が然か信じてゐるので、それが正當なるものゝ如くになつてゐた。物價は騰貴し始め、投機の洪波は全國を掃蕩した。その全運動が心理的變化に依つて起つたものであることは、何人も容

易に、これを看取することが出來るであらう。現存預金の移動率は二倍に達した。併し商工業に對する貸出の縮小は尙ほ止まなかつた。それにも拘らず、その結果は、奇蹟的に、反デフレーション主義者の理論を確かめるものであつた。

ルーズヴェルト大統領は、慥かに彼がインフレーションの信者でないことを告白してゐる。彼は尙ほ豫算の均衡を恢復する等の如き、所謂、堅實なる方法に依りて、政府の信用を恢復せんとする英國の例に倣はんと欲するもの〻如くに見える。それ故に復興をば「廉價なる通貨」と換算作用（Conversion operation）の上におかんとするもの〻如くである。從つて、彼は投資に關する政府の政策に反對するもの〻如くに見える。斯やうに地位の維持すべからざるは論を俟たない。よしそれに依りて、國債の上に於て成功するとするも、私債の機構は換算作用に依りて救はれざるが故に、米國の問題を解決するわけには行かない。よしそれが實行せらる〻とするも、豫算の節約は、復興に依つて、自動的に起る歲入增加の一小部分に過ぎない。これ等の二箇の極端なる政策の間に於て、中正穩健の方法を發見するは殆んど不可能の如くに見える。

政府に於て銀行預金を保證することをせず、多くの銀行は再開しなかつた。それがために、デフレーション作用は阻止せられなかつた。豫算の均衡を恢復し、輿論を確かめ、それに依つて心理的膨脹を得んとする政府の努力は、必要の程度まで復興を持來さなかつた。膨脹を保證する何等の政策も執られなかつたので、折角再開した銀行の地位も、依然として危險の狀態におかれた。それ故に當時の商況と物價の狀態では、破產は到底免かるべからざるが如くに見えた。斯くて幣制に對する打擊は再開され、通貨のクライシスは新たに起らんとしてゐる。

大統領は、無限の權力と、一般國民の支持と信任を有し乍ら始めて行動を開始したが、徒らに外觀的にして、效果の疑はしきものであつた。彼は銀行の地位をして安固ならしめんがために、不必要なる討論と、中間的方法のために、貴重の光陰を徒費することなく、公開保證に依つて銀行問題を解決し、公共事業の計畫を決定し、私人の投資的活動を助け、オープン・マーケットの方法に依つて、信用の基礎の膨脹を圖つたならば、弗の金に對する平價を拋棄することなしに、復興を期し得たであらう。それがために金の流出を促がしたとしても、人爲的に減少せられたる資本的物品に對する通貨の需要を安定せしめ得たであらう。それ故に長い間に、預金の保證その他の補助のために損失を大いに減じ得たであらう。

米國の會社が、英國に於て有する財產を處理し、これを本國に送付する權利に制限を加へることは、通貨及び爲替市場の自由を維持し來れる英國の傳統政策に反對するものであるが、支拂の逆バランスよりその通貨を保護せんとする他の政策と共に眞に止むを得ないであらう。併し斯やうな制限（世界中何處にも行はれてゐるが）が永續し、且つ增加する場合には、既に存在する外國投資の上に於ける

ジネス的リスクに、更に爲替リスク附け加へるのであつて國際經濟をして益々惡化せしむるの結果となるであらう。

一九二九年以來、外國に於ける米國の會社が蒙むりたる最後の困難は、その國内に於ける不穩の行動である。或場合に於ては、それ等の行動は、單に長期に亙る不景氣から起る一般的不平の反映に過ぎないが、外國人の事業に對する敵意から生ずることも珍らしくない。

外國に於ける米國の會社が當面せる第二の困難は、爲替管理の流行と、外國爲替の下落である。前者は米國の會社が、外國に於て得たる利益を本國に移送することを妨げ、後者は下落せる磅又は圓或は弗に交換し得ざる通貨を以て、利益を得るも、結局損失に終ること〳〵なる。この點に於ても、その損失が何程に上るべきかを正確に示す材料はないが、種々の方面からこれを推算すれば、相當の額に上ることは疑ふべきでない。毎年外國に於て、數千萬弗の取引をなしつゝある某大會社は左の如く報告してゐる。

下落せる通貨のため、過去二年間に於ける會社の弗收入は、著るしく減少した。又爲替管理のために、或場合には、迅速に弗を移送することを不可能ならしめた。その國の貨幣を閉鎖せるため、移送する前に更に下落を惹起すると云ふ次第であつた。

一九三三年二月、紐育市の輸出商倶樂部が發送したる質問書に對する回答に依れば、外國貿易に從事するもの〳〵八割までは、爲替制限を以て重大問題なりと考へてゐることが判る。

爲替に依る損害の如何に大なるものなるかは、二三の實例に依つてこれを知ることが出來る。一九三一年に於てグードリッチ會社は百五十七萬八千弗を、國際電信電話會社は二百五十萬五千弗を、ザ・ジョン・マンヴィル會社は二十七萬五千弗を、一九三二年に於て、ウルウォース會社は二百四十六萬弗を、國際電信電話會社は二百十五萬七千弗を損失してゐる旨を報告してゐる。勿論、右は大會社のみの例であるが、小會社と雖も爲替から來る損害を免かれたるものは、恐らく少數であらう。

外國にある米國の財産が、不景氣のために、大量的に處分せられない第二の理由は、爲替の下落と、制限のためであつて、それがために、外國貨幣に依る信用をこの國に移送することを妨げるのである。この事に關しては、後段に詳說する積りであるが、こゝでは、それ等の事情のため、外國に於て有利に財産を賣却することが出來ないと云ふことが判ればいゝ。

以上の說明に依つて、何故に、この不景氣に際して外國にある米國の事業が大量的に引上げられなかつたかの理由は明白になつたと思ふが、併し不景氣の三年間に、新たに、外國に投資せられたる額の甚だ少からざるは、何故であるか。

過去七十五年間、米國の會社の或ものは、その資本の一部を外國に投下し來つたのであるが、それには種々の動機がある。或ものは關稅や、消費者の敵意や、遠距離に物品を運搬することや、差別的

租稅を避けんがためにし、又或ものは、外國に於ける低廉なる賃金、原料を利用せんがためにこれをなす。更に或ものは、外國の顧客に對して、一層迅速適當に役務若くは物品を提供し得んがため、彼等の特殊の趣味嗜好に應ずることを得んため、一層有利に特許權を使用し得んため、外國生産者の中に權力を揮はんためにするのである。

最後に來るものは貨幣の問題である。資本主義の下に於ては、通貨が經濟社會に於ける萬事を支配する。生産は利益に依りて支配せられ、利益は代價に依り、代價は購買力卽ち金錢の多寡に依つて支配せられた。物品の分配も又金錢の分配に依つて統制せられる。それ故に機械及び方法の進歩に依つて起れる生産增加の餘力をば、更に生産機械の增加のために使用すべきか、或は國民の直接の娯樂のために使用すべきかを決するものも又金錢である。

最近、米國に於ける經驗に依れば、資本主義は通貨問題の解決に失敗せるもの〳〵如くに見える。通貨は元來物品の交換をして容易ならしめんがために案出せられたる方法なのであるが、今や却つて生産と分配の婢僕たらずして、その主人公となつてゐる。

通貨を發行することは、元來政府の特權であり、現在に於ても名義上に於てはさうであるが、併し資本主義制度の下に、この特權は今や信用組織の發達に依つて銀行の手に移る事となつてゐる。この制度の下に、物品の交換は金錢の交換に依らず、主として銀行の原簿に記入することに依つて行はれることになつてゐる。それ故に銀行は生産の狀態に從つて、通貨を調節することの不可能なる場合もあれば、これを欲せざる場合もある。

適當に統制せられたる通貨組織は、物價の安定を保持するを以て目的とする。それが物品の生産と分配とをして堅實ならしむるに必要なのである。如何なる組織と雖も、特殊の物品の代價が變動することを防止するわけには行かない。何となれば、豐富なる時と缺乏せる時とがあるためである。併し一般的の物價平準に至つては、その通貨の量をして、實業界の需要に適合せしむることに依つて、大體その安定を維持する事が出來る筈である。

米國の銀行は、巨額の新信用通貨を造ることに依つて、數年間比較的に、物價の安定を維持することが出來たが、一旦信用が動搖し始むるや、これを作りたる時と同樣の速力を以て、これを消却したので、物價は急激に下落し生産も、消費も、著るしく減少することゝなつた。

併しそは決して銀行の過失ではない。法定通貨を發行する權力は政府に屬し、銀行はこれを持たないのであるが、唯だ公衆の信用の力を借りて通貨を作ることが出來る。銀行がその信用を擴張しつゝあるに當りて、米國政府と聯邦準備制度とはデフレーションの政策を執つてゐた。換言すれば、通貨の量を減少せんことを努めてゐた。彼等は銀行が信用通貨の量を增大することを制止することは出來ないが、信用通貨がこれを代表し、その基礎となるべき法定通貨の增加を防止することは出來るので

あつて、又實際に於て、これを實行した。それ故に一旦公衆の信用が動搖し始むるや、銀行は彼等自身を保護せんがために、彼等が發行したる信用通貨の大部分を回收して、消却するの止むを得ざるに至つた。云ふまでもなくその背後には、少許の眞貨幣の基礎があるのみなるが故である。

責任の所在が、何れにあるかは兎に角もとして、それがために通貨の組織は破壞され、一般公衆の購買力は激減し、從つて生產も、消費も、共に著るしく減少すること〳〵なつた。

共產主義制度の下に於ては、生產は利益に關係なく、分配は購買力に關係なしに起り得る。從つて、共產主義の社會に於ては、通貨組織なるものがよし存在するとするも、共產主義の社會に於ては通貨制度の失敗なるものは起ることなく、よし起りたりとするも、大事に至ることはない。

これに反して、資本主義制度の下に於ては、十分に發達したる通貨の組織なしには、何事をもなすことは出來ない。何となれば、資本主義の基礎なる生產の成功の度に從つて、物質的報酬を分配することは、それなしにはなし得ざる故である。フオード氏は、何人よりも、多く且つ廉價に、自動車を製造し得ることを示したが、彼がそれを以て他の物品と交換し、金錢を以てその代價を表示せらるゝにあらざれば、その報酬を受くることが出來ない。資本主義の下に於ては、貨幣制度の失敗は、全機關の混亂を來さゞるを得ない。

資本主義は將來に於て、斯やうな失敗を避け得るであらうか、或は依然通貨のクライシスを繰返して、經濟界に困難を與へるであらうか。共產主義は利益の動機なしに、必要の生產を全うすることが出來るであらうか。共に將來に於て判斷するの外はない。何れの制度にても、最初に、現在の困難に勝ち得たものが、民衆の心を把握するであらう。

經濟界以外の事に關しては、個人主義の方が、共產主義よりも遙かに勝れたりと信ずる彼等としては、資本主義がその困難に打ち勝つの途を、一日も早く發見せんことを切望せざるを得ない。

この意味に於て、彼等は、米國が、過去四年間、同國を苦しめたる經濟的悲況を救濟せんがために、試みつゝある勇敢なる努力に對して甚大の興味を感ずる。多くの人々に取つて、それ等の試みは、曾て過去に於て說かれたる個人主義、資本主義の正統を離るゝことの甚だしきものと見えるであらう。併し改革は革命よりもよく、若し新政策が成功するに於ては、世界の人々は、それが正統的であるや否やの如きは、敢えて問はないであらう。

その場合には、西歐諸國（露西亞を除く）に於ける現在の經濟組織は、全く新生面を開けるものであつて、各國の支配者等は、將來の崩壞を避けんがために考慮する時間を有するであらう。これに反して、新政策が失敗に歸し、自由放任主義が再び勢力を得る場合には、個人主義的、資本主義も又存續すべしと雖も、そは甚だ不定動搖の狀態にして、果して永續するや否や大なる疑問と云はざるを得ない。

第二節　金融問題

投資銀行は、常に債券の新發行に注意してゐるが、先づ第一に、米國の債券と、米國の市場に上せらるゝ外國債券の利子の相違に心を惹かれる。外國債券は概して利子がいゝ。一九二六年から二九年にかけて米國の內外に於て、巨額の債券が發行されたが、二七年には、工業界の景氣は幾分不活潑であつたに拘らず、悉く商業銀行に依りて吸收されてしまつた。現金が銀行の庫中に流込するに從つて、彼等は凡ゆる債券を購買した。固よりその額面上より云へば、定期預金の利子を拂ひ得て尙ほ相當の利益を擧げることが出來るのである。

一九二一年から二九年に至る全時期をば、商業銀行が斷えず投資したる時代と稱することが出來る。實際彼等は、投資銀行が彼等に資金を提供するよりも迅速に、有價證券を購買することが出來たのであつて、その結果、債券の價格は騰貴した。商業銀行が、債券を購買する後から、その値段が騰貴するのであるから、債券は、實際に於て、普通株同樣の働きをした。斯くして債券は商業銀行に取りて、益々有利のものと思はれた。

斯くして凡ゆる債券は、盛んに買ひ煽られ、それに對して、何人も、少しの危惧を感じなかつた。歐洲及び南米諸國の政府、市並びに私立會社等に於て、盛んに債券を發行し、その大部分が米國に持

來されたが、斯くして募集せらるゝ資金が如何にして消費せらるゝかを監督する何等の機關もなきに拘らず、それが果して確實なるや否や、その目的の如何等に關して、何等の調査研究をも加へなかつた。遠き外國の事として、その事情が分らない事故その目論見書を見ただけでは、如何なる危險が包藏せらるゝか固より分る筈がない。斯くして種々の債券が盛んに發行せられて、それが悉く米國の銀行に依つて吸收せられた。

一九二九年の始めに於て、株式市場のインフレーションと共に、債券の價格は益々騰貴し、その需要は益々盛んであつた。商業銀行は、その商業上の割引に換へて、債券の購買を事とした。「新時代」と稱する有力なる標語に依りて、商業銀行は、債券の形式に於て、第二準備（Secondary reserves）を有すべきものとせられた。紐育の大銀行等は債券發行のために從屬機關を設け、商業銀行をしてこれを引き請けしめ、萬一拒絕するものあれば脅喝することすら辭せなかつた。斯やうな行動に對して疑惑を介むものあれば、彼等は、これに答ふるに、米國の大統領と大藏大臣が承認してゐるのだと云ふを以てした。

併し乍ら氣運一轉、一九二九年の秋、俄然、株式市場に一大恐慌起り、從つて、商業上の凡ゆる價値は減少し、債券も又著しき下落を來し、一九三一年の下半期から三二年の春にかけては、銀行は堆積せる債券の山を眺めて、途方に暮れると云ふ狀態に陷つた。斯くして銀行の資產は激減して、遂にそ

の門戸を閉鎖するの外に執るべき途なきに至つたのである。

銀行の地位は危險なることは、不況期の最初から略ぼ判つてゐたのであるが、併し不要の念が、一般に擴がつたのは、一九三一年六月、フーヴー大統領が、戰債モラトミアムを宣言した後の事であつた。獨逸が一切の國際債務に對して、モラトリアムを宣言すべしとの風說が廣く流布せられたので、獨逸の凡ゆる債務は急に賣出され、その價格の暴落を來した。それに續いて一般外國債務が暴落し、一九三一年には、全米國に於て銀行の破產するもの百六十七を數ふるに至つた。

同年八月に至り、獨逸の逼迫せる狀態が、遂に英國の信用も氷結せしむるに至つたことが明白になり、且つ倫敦の銀行が倫敦及び伯林に於ける彼等バランスを支持せんがために、紐育に於てその債券を賣出したので、債券の價格は更に下落し、銀行の支拂停止をするものは百五十八を數ふるに至つた。同年九月、英國が金本位離脫を宣言するに及びて、形勢は一層惡化し、紐育の大銀行に對する取付が殺到することゝなつたので、彼等はこれに應せんがために、債券、コール・ローン、商業手形、その他の有價證券をば、悉く現金に換ふる必要を感じた。次いで金は滔々して歐洲に向つて流出することゝなり、米國の金本位制とその銀行に對して危殆の念が懷かるゝに至つた。斯くて九月には三百五、十月には五百二十二の銀行が支拂停止を宣言するの止むを得ざるに至つた。

米國政府は、一九三一年十月に至り、銀行の事態容易ならざるを看取し、大統領フーヴー氏は、一時的應急手段として、强大銀行をして、弱小銀行を助けしめんとする國立信用會社（The National Credit Corporation）の設立を思ひ立ち、一九三一年十一月十一日に至りて、その設立を見、兎に角、一時預金者の恐怖心を鎭めることが出來た。その結果と覺しく、十月には五百二十二の銀行が支拂を停止したるに對し、十一月に至つて百七十五口減じた。併し會社は債券の下落と、銀行の支拂停止を防止する程自由に貸出し得るだけの資本をもたなかつたので、その效果は一時的のものに過ぎなかつた。十二月に至りて、銀行の狀態は、再び危急を告げ、同月十七日には、債券市場は新たに最低價を示し、銀行の失敗するもの三百五十八を數ふるに至つた。一九三二年一月五日に至りて、債券は更に下落し、最優等の債券が、額面に對して、二割一分四厘の低落を示すこと〳〵なつた。

この期間を通じて、金融復興會社は銀行の固定財產—聯邦準備銀行に於て割引し得ざる財產に對して自由に貸出を實行した。凡ての商業手形は、自動的に淸算せらる〳〵もので、從つて準備銀行に於て、再割引をして貰ふことが出來るのであるが、債券や不動產は割引せらる〳〵を得ず、銀行に於て氷結してゐるのであるが、金融復興會社は、これ等の財產に對して貸出を實行するのである。これがために、銀行が一時便宜を得たことは云ふまでもないが、その便宜は永持しなかつた。そは又何故となれば、政界の領袖等は差迫れる選擧に沒頭して、銀行の救濟抔に關係してゐることが出來なかつた。それがために、一九三二年の十二月には、該會社の貸出したる資金は、上院議員グラス氏の言を借りて云へば、

「鼠の穴に注ぎこんだ」と同様になつてしまつた。

こゝに於て議會は金融復興會社（The Reconstruction Finance Corporation）を設立することを議決し、一九三二年一月二十二日、フーヴー大統領の署名を得た。該會社の資金は二十億弗にして、その目的は銀行を始め、一般農商工業が資本の逼迫を感ずるに當り貸出を行はんとするにある、それがために銀行の支拂停止は著るしく減少し、一月に於て、三百四十二あつたものが二月には百二十一、三月には四十八となつた。併し債券の下落は止まず、一般の商品、殊に農産物の代價は著るしく下落し、金の流出が止まらないので、銀行の失敗せるもの、五月には又復八十二、六月には百二十一、七月には百三十二と遞増することゝなつた。その後、債券市場も、一般商況も聊か持直したるを以て、銀行の失敗はやゝ減少したが、それでも毎月五六十を算すると云ふ狀態であつた。

第十二章　財界不況の實相

第一節　不景氣の内容

大統領が就任と共に直面したことは、銀行恐慌の救濟だつた。全國過半の銀行が休業し、預金の氷結が通常のビジネスの運行を麻痺させてゐた。そこで就任翌日全國銀行の休業を命じ、臨時議會を召集して、非常銀行法を通過せしめ、三月九日この法律で、大統領は金の輸出入及び外國爲替の完全なる統制權を得ると共に、銀行の再開及び休業銀行の立直しに對する統制權を財務長官に賦與した。銀行再開のため、復興金融會社の資金を使用することと及び聯邦準備銀行券の一時的發行が許され、且つ準備銀行の再割引政策が一時緩和された。斯くて健全な銀行は無條件に再開を許され、他のものは預金一部支拂の條件を以て再開された。その結果取付は止み、間もなく銀行業務は各地とも復活した。

この法律はやがて通貨及び銀行信用のインフレーションを惹起するものと、一部に杞憂されたが、結果は差したる信用膨脹を起さず、法律の期待した通り、銀行に對する信認の回復、通常銀行業務の

回復及び不健全銀行の立直しの目的を達したわけだ。準備銀行券の新發行は、再割引手形と國債とを準備するものであつたが、實際の結果は、これを大量に發行して、加盟銀行を援助する必要を見なかつた。

再割引政策の緩和は、從來無資格の手形をも再割引し得ること〳〵なり、健全なる加盟銀行は、必要の場合、斯かる手形を以て、何時でも準備借入が出來ること〳〵なつた。

準備銀行券の新發行と割引政策の緩和は、斯くて、健全なる國立銀行と大部分の州立銀行に、十分なる支拂準備を獲せしめ、正常なる取引のため貸出をすることを得せしめた。自然銀行の信認が回復し、延いては一般產業界の信認をも回復した。そこで事業は、銀行借入を多少增加することも出來たわけだ。併し當時の事業界の實情は利益の見込もなく、返濟の能力もなかつたため、銀行再開後、銀行の資力は十分あつたけれども、支拂能力ある借手は却々見つからなかつた。不景氣時代に於ては、銀行信用を借りて事業の擴張をしても、利潤を得る見込がたゝないから、利用し得る銀行信用の多少は問題にはならない。これを多く利用したからとて、決して景氣が立直るわけのものでない。銀行信用の膨脹は、景氣改善の結果であつて原因とならないのだ。

現在の事業は既に過剩擴張に苦しみ、利潤を擧げ得べき新規の事業もなく、外國も不況に沈淪して居り、而も一般大衆の購買力は半減してゐる際に、假令銀行信用が豐富且つ安價であつても、事業や銀行信用が、膨脹する可能性はあり得ない。

ルーズヴェルト就任後數週間にして、銀行恐慌の切抜は成功した。次に彼の著手すべき對策は、失業者の救濟及び債務負債の輕減であつた。失業者は增加し、債務の重壓は、各方面に重大性を加へつゝあつた。擔保處分と破產が增加し、事業家はその事業を失ひ、農民は土地を奪はれ、家屋所有者はその家屋を失ひつゝあつた。

失業の問題は無論一九二九年以前からあつた。好況時に於ても、機械力と大量生產に依る「所謂技術的失業」は二百萬を算した。不景氣の最初の一年間は、失業者もあまり增加せず、又自分の貯金や、民間慈善團體の救濟のため、差して重大な問題とはならなかつた。併し乍ら二年目及び三年目となると、失業者激增し、救濟要望の叫びが高くなつた。州、地方政府、市等の救濟資金が增加し、やがて聯邦政府の直接的救濟が熱望されるに至つた。併し前大統領フーヴァーは、聯邦資金に依る直接的救濟に反對し、專ら土木事業を起して、仕事を與へんとする政策を執つた。この間米國赤十字社が、失業困窮者に多大の救濟を與へたことは著名の事實だつた。

ルーズヴェルトは、就任前の約束に從ひ、就任後直ちに、五億弗の失業救濟資金支出を議會に要請した。三月三十一日植林事業に依る失業救濟法案が通過し、政府は三十萬人以上の失業者をこれに從事せしめ、衣食を給したる上一日一弗を支給した。この救濟は大失業軍に比すれば、寔に些々たるも

のであつたが、それでも都市の青年失業者を救濟せし效果は尠なくなかつた。

四月になると五億弗の直接的失業救濟支出が實行された。この一部は州及び地方政府に補助として割當てられ、聯邦資金一弗につき州及び地方政府は二弗の支出をすることゝなつた。他の一部は聯邦政府直接の救濟資金に充てられた。聯邦救濟管理の報告に依ると、前記補助のため、四月には四百四十四萬家族、六月には三百七十四萬家族が救助を受けた。この數字の漸減せるは、失業の困窮が、夏に向つて緩和されたことを證明するものだ。

次に三十三億弗の公共土木事業法は一九三三年六月公布せられ、これが全面的に實施せらるゝならば三百萬乃至六百萬人の失業者を救ひ得ることゝなる。これは一時的救濟と云ふよりは、寧ろ事業回復に刺戟を與へる意味の政策に屬する。

失業保險は、米國でも一部の間に提唱せられてゐるが、一般には不景氣は一時的で、斯かる大規模の制度を採用しなくても、失業問題を解決し得ると信ぜられ、失業保險制度を支持してゐない。右の土木事業政策の方が、失業手當の交附よりも寧ろ有效であらう。

次の救濟政策は債務負債の重壓に對する救濟だ。不景氣の初まる前から、農業債務の重壓は、國家的大問題となつてゐた。そこへ不景氣が襲來したのだから、その困難は想像以上だ。不景氣の進行と共に、農地及び都市住宅の擔保處分や、會社及び個人の破產が相次いで起つた。同時に都市及び地方政府も、歲入減少のため、債務元利金の支拂に困窮した。各公共團體の浮動債務支拂は、一九三〇年から年と共にその困難を增大した。

これ等債務の內短期債務は、支拂不能のため銀行の固定貸と化し、抵當債務及び社債等の長期債務に就ても支拂不能は一層甚だしく、銀行、信託會社、投資信託、その他會社政府及び個人等の債權者は、自然擔保の處分や、取立延期等の整理手段に出でざるを得なかつた。

債務者の負擔が增大するに連れ、多くの州では、これを打捨て置けず、一定期間擔保の處分を禁止する等の法律を公布した。一九三二年春には、聯邦議會も聯邦破產法を通過して、債權債務の調停裁判を設け、事態が改善する迄支拂の延期をしたり、又は債務の輕減をなさしめ得ることゝした。

一九三二年春には、前述の復興金融會社を設立して、鐵道、保險、銀行その他大事業會社の固定資產を買上げて、資金を提供し、以てその債務の支拂に充當せしめた。

斯かる施設に拘らず、負債問題は益々尖銳化した。殊に農民と小住宅所有者とに於て焦眉の問題となつて來た。そこでルーズヴェルト政府は、急遽二つの對策を講じた。

第一は非常農業抵當法の公布だ。本法に依り、政府は農業土地銀行に二十億弗の債券を發行せしめ、この債券の利子年四分を政府が保證し、銀行をして困窮せる債務者に、債務支拂資金又は運轉資金の貸付をなし、又はその債權者から適當の價格で、抵當債權を買上げ、或は債券と交換せしめた。債務

者に對しては、一定期間元金の支拂を猶豫し、利子は四分五厘以下とし、支拂は年賦償還とした。

第二は住宅所有者貸付會社法の公布だ。政府はこの會社に、二十二億弗の債券を發行せしめ、保險會社、建築及び貸付會社、その他抵當債權者に債券と債權とを交換せしめ、又債務支拂不能の分は自ら抵當債權を買上げて、低利年賦償還の債務に肩代りせしめた。

右の二つの對策が、幾何の債務の輕減を實現したかは、まだはつきり解らないが、兎に角支拂の延期と金利の低減とは、相當の救濟的效果を持つたに違ひない。

政府施設の背景となれる思想は、財界が回復し、物價が一九二六年のレヴェルに回復するに至らば、債務者の收入が增加し、元利支拂をなし得るに至るべく、然らば負債の問題は最早大問題でなくなると云ふにあるやうだ。併しこの考へ方は果して正しいであらうか。

戰爭ブームの間に農民の抵當債務は倍增し、都市の抵當債務も一九二一——二九年間に、急速に增加した。その他の債務も近年增加著るしく、公共債務は一九二一年以來、他の種類の債務よりも、もつと顯著なる增加を見た。米國に於ける債務は、既に一九二九年に於て過大に失してゐたのだ。假に物價が、同年のレヴェルに回復したとて、過大債務は依然過大債務だ。この債務の過大が、收入のうちの大なる部分を、元利の支拂に奪はれ、さもなくば消費に使用さるべきものを削り取つて、利潤及び利子收入階級へ注ぎ込んだのだ。そこで後者はこれを再投資に用ゐ、生産設備の過大を誘導した。

國民收入のうち、消費に充てらるべきものをより尠なくし、生産と消費との均衡を失せしめた原因の一つは卽ちこの過大債務のためなのだ。

そこで消費者の購買力增加のため、金利の大輕減を行ふべきこと、及び長期債務の元金は、財產價値の低下に伴つて輕減さるべきことが必要だ。無論物價の昂騰は債務の負擔を輕減する。併し問題は、果して物價の昂騰が債務負擔を減じ、その結果國民の經濟均衡を維持し得るや否やにある。恐らくは、物價の昂騰に左程の效果はあるまい。生產消費の均衡を維持せんがためには、各種債務元利の大なる減縮を實行しなければならない。駄目だ無論公私共負債の增加を停止しなければならない。

第二節　株式暴落の眞相

最近に於ける米國不況の因をなした一九二九年の株式大暴落は、その襲來が餘り唐突であつたために、これが國民に及ぼした精神的及び物質的影響も又極めて大なるものがあつた。株式の大瓦落は十月十九日に至り突如として起つたが、この日の投物約五百萬株に達し、何れも五乃四十ポイン方の暴落を示し、株式の總値下り三十億弗と註せられた。

斯くて爾後連日落調を續け、五日後には千三百萬株の投物が現はれ、市場は文字通り暗黑化するに至つた。尤もこの押目を狙つて銀行家の一團が、百九十五弗のスチール株を二百五弗で二萬五千株買

つて出た。銀行家の考へでは、他の株は兎も角、スチールだけは二百六弗位に盛返して安定すると思つたのだが、併しこの思惑は見事に外れてしまつた。

この株式の大暴落と、これに對する各方面の見當違ひな觀測や批判は、米國民に精神的大衝動を與へたが、この精神的變動は數字で表はす事が出來ないために、今日まで何人もこれが研究をした者がない。本書の目的の一つは卽ちこの大打擊が米國民の思想及び感情の上に印せる影響を描寫するにあるのだ。

株式大暴落の當初に於ては、或一部の識者はこれを以つて一大不況の前兆であり、米國財界の危機を報ずる警鐘であるとして重大視したが、多くの政治家や實業家は「米國今日の產業、天然資源金融組織を以つてすれば、三十億や四十億弗の株式値下りでビクともするものでない。株式の下落は單に紙上の値下りで、米國の富そのものに大した影響を及ぼす如き事はあり得ない」として頗る樂觀的態度を執つてゐたものである。

この態度は啻に民間の實業家や政客が抱いてゐたばかりでなく、大藏省や聯邦準備局の當局者も同樣の樂觀的見解を以つて、これに對し何等の對策も講ぜず、袖手傍觀する有樣で、十月二十六日には大統領の言として新聞は「米國の根本的ビジネス、卽生產と分配は極めて鞏固且つ好況である」と報じたものである。

併し株式の落調は、依然として熄まなかつた。最初慘落から十日後の十月二十九日には實に千六百萬株と云ふ空前の大投物が現はれて、市場は遂に拾收すべからざる大混亂に陷り、ロックフェラーや米國商業會議所當局などが、大統領に和して樂觀的放送に努めたに拘らず、市場は遂に立會休止の止むなきに立至つた。

一九二九年の株式暴落は米國の產業制度及び財政、政治、社會生活組織から生れた自然の歸結である。併しこの慘害は決して不可避のものではなかつた。事前に於て適當の方法を講ずれば（換言すれば米國民の生活樣式を變更する事に依つて）これを回避する事は必らずしも不可能ではなかつたのである。

併し斯やうな改革は舊い學說にこだはつてゐる連中の耳には入らないやうだ。若し吾人の主張する方策が、一九三〇年の一月までに採用されてゐたならば、株式暴落の打擊は或程度まで喰止める事が出來たかも知れないのである。然らば舊い學說とはどんなものか？　これは一九三二年九月十日のサタデー・イヴニング・ポーストに載つてゐる前大統領クーリッヂの選擧演說に、極めて明瞭に表はれてゐる。曰く、

「一九二八年から一九二九年の冬にかけて、米國では投機が餘りに甚だしかつたので、余はその影響を警戒し、聯邦準備局と接觸を保ち、金利の引上げに依つて投機熱を引下げることに努めた。とこ

ろが一九二九年の夏になつて新たなる投機熱が流行した。この時には米國の財界は英國經濟界の不況の飛沫を浴びて、可成りの打撃を蒙り、遂に十月から十一月にかけての株式慘落を誘發するに至つたのである。併しこの株式慘落の影響は、一九三〇年の冬までには緩和され、實業界には稍々回復の兆が現はれて來たが、丁度この時に農産物に對する世界的不況が襲來して來た。斯くて秋に至つて世界の農産物は、露西亞のダムピングのため空前の大暴落を演じ、翌三一年の春には獨、墺兩國の財政難から、米國の銀行の受取るべき金は殆んど這入つて來なくなり、これがために米國の銀行に一種のパニックが襲來して、預金者は盛んに預金を引出して貨幣の死藏をやるやうになつた。

そこへ例の英國の金本位離脫が行はれ、米國の金は盛んに流出し、銀行の閉鎖するもの相次ぎ、政府の收入は實業界沈衰のため巨額の赤字を出すに至り、更に不況の餘波は失業者を續出せしむるに至つた。

併しこれ等不況の原因は總て外國の影響に依るものであつて、米國政府の如何ともする能はざる不可抗力である。

卽ちクーリッヂは米國の不況の原因は世界的不況にあるのだから、米國政府の責任でないと言ふのである。それ故に斯やうな意見はクーリッヂのみならず、フーヴー大統領も同樣に强調せるところであつて、彼は一九三一年六月に「米國の不況は外國の不況に依るものである」となし、一九三二年の八月には、「約一箇年に亙る世界的不況の後、米國は一九三一年の上半期に於て經濟界復舊の兆候頗る顯著なものがあつたが、不幸にして又丁度その時に第二の災害が外國から襲來して來た」と辯明してゐる。

併しこれ等政府首腦部の言は、要するに彼等爲政者の責任逃れに過ぎない。吾人をして言はしむれば、米國の不況は一九二九年の春頃からその兆候が現はれてゐたのだ。米國の重要產業の一たる自動車工業は一九二九年の四月がその頂點で、それからは次第に下り坂になつてゐる。卽ちフォードの新型だけは增加してゐるが、他の自動車は、一九二九年八月の製造高は、前年同期に比して約九萬臺の減少を示してゐるのである。

この事實はクーリッヂのみならず、政府の要路に在る者に判らない筈はないのである。その證據には一方で「ブローカー等が聯邦準備局から金融を受けてゐるのは、證券市場に於けるビジネスの發展であつて、毫も憂ふるに足らない」と云つてゐるクーリッヂが、他方ではあの暴落の來る前に、自分のスチール株（少數ではあるが）を賣つてゐるではないか。

又クーリッヂもフーヴーも、口癖のやうに繁榮を唱へたが、米國の繁榮は決して全國的ではなく、中部大西洋岸東北中央部太平洋岸の諸州だけで、その他の諸州は繁榮の恩惠を蒙つてはゐないのだ。又前述の繁榮諸州に於ても、農民は不況に喘いでゐたのである。のみならず、失業者は繁榮期にも決

して減少しなかつた。一九二〇――一九三〇年の十年間に五十萬の失業者が增加してゐる。農民の他に繁榮の恩惠に浴さなかつた者に、石炭、織物、皮革、製靴、造船等の諸工業があり、鐵道材料の如きも不況の渦中に捲き込まれてゐたのである。斯く政府及び與黨首腦部の言は概ね事實を裏切るものであるが、この他に彼等舊式學說を墨守する者の犯せる重大な錯誤は、大衆の貧富に對する見解の變化である。

三十年前には、富者は貧者の敵であつた。卽ち富者又は資本家は貧者又は勞働者を搾取する事に依つて自からの生活を贅澤にするものと思はれてゐたのである。舊式學說を固執する者は、今日と雖もこれを同樣の考へを抱いてゐる。併し今日の貧者は決して富者を敵視してはゐない。富者も又昔日の感情を以つて貧者に對してはゐないのである。彼等は貧者の購買力の增加を以つて、自からの收入を增加するものと考へてゐる、從つて彼等は出來るだけ多くの賃銀を支拂つて、勞働者の購買力を增加する事に努めた。故に今日では、フォードやシボレーに乘つてゐる勞働者が、バッカードやリンカーンと並んで走つてゐても、彼等勞働者は決して「奴等はオレ達の汗で立派な車に乘つてゐる」とは考へない。否、彼等は「リンカーンに乘る人がゐるからこそ吾々もフォードに乘れるのだ」と考へてゐるのだ。

勞働者や一般無產階級の、斯うした考へは米國のI・W・Wを妻徹せしめ、露西亞の赤化の脅威を一掃してゐるが、米國民の勞資乃至雇傭關係に對する思想の變遷は、獨逸あたりでも相當注目され「米國の繁榮の基礎は大衆の購買力である」と論ずる者が多かつた。併し大衆の購買力には限度がある。この限度を超える時は、卽ち繁榮の基礎のぐらつく時でなければならない。

第三節　ウオール街の惱み

ウオール街の崩壞から一九三二年大統領選擧までの間は、それに何等の對策も講じなかつた第一期と、凡ゆる事をなした第二期と、その中間に分つ事が出來る。第一に於ては賃銀、株式の價格、配當その他商業及び工業を一九二九年のレヴェルに復舊せしむるのが目的であつたが、これに必要なる方法は殆んど講ぜられなかつた。次に中間の期間に於ては、若し賃銀が維持され、鐵道が從來の建設計畫を繼續し、土木事業が相當大規模に行はれたならば、十分效果が現はれたであらうが、實際に於ては賃銀は下落し、各種の事業は中止され、事業に失敗し、不況に喘げる者の自殺相次ぐに至つた。のみならず延いて各地に失業者續出し、種々なる團體はこれが救濟運動に狂奔するに至つた。併し政府は盛んに不況の憂ふべからざる事を宣傳するだけで、何等適切なる對策を講じなかつた。失業者の如きも一九三〇年の三月には、一九二九年の同期に比して二十五萬ばかり增加してゐたが、それにも拘らず、大統領は「今日の狀態はこれを一九〇七年及び一九二〇年の不況に比すれば、まだ〳〵樂なも

のである」と頗る呑氣な事を云つてゐる。

斯くて大統領は、一方國民に景氣の恢復しつゝある事を宣傳すると共に、他方では軍縮會議に一縷の望みを繋ぎ、これが成功すれば、その時には何とか方法があると信じてゐたやうである。併しこの期待は全く架空なものであつた。軍縮會議は開かれたが、その結果は軍備の縮小とはならずして、却つて軍備の擴張となつた。又彼は内外の反對を押切つて、ホーレー・スムート關稅法を實施し、これに依つて國民の負擔を輕減しやうとしたが、これも結局その期待を實現する事が出來なかつた。即ちウォール街の大崩壞があつてから約一箇年間——一九三一年の中頃までのフーヴー大統領は米國の元首ではあつたが、國民の指導者としては全く失敗であつたのである。

併し大統領が無策を繼續し、國民に對して好景氣轉向を宣傳してゐる間は、株式の配當は一九二九年よりも却つて高く、これまでの貯蓄を動員して實業界もまだ沈衰するところまでには行かなかつた。從つて政府の無策に對しても、國民の不滿はまだ頂點にまで達してはゐなかつたのである。

換言すれば、一九三一年の終る頃までは、大統領は唯々舊態恢復のみを宣傳したものである。新らしい仕事を創造する代りに、昔に歸る事にのみ專念した。舊來のレヴェルに復歸する、昔のものを取戻すこれが彼の常套語であつた。フロイドの精神分析學に依ると、過去を追想してこれを懷しがるのは、精神的の發育不全だと言ふのであるが、フーヴー大統領の場合はこれと同樣で、現在をしつかり

と摑んで、これを處理する力も意志もなく、人間の懷舊的墮性に依つてのみ生きやうとするのである。

これは當に大統領の考へのみではなかつた。國民も又彼の宣傳を信じて、只管昔の繁榮の復歸を希つたものである。彼等は何れも「不景氣は何時になれば熄むか」を質問する代りに、「何時になれば景氣は出るか」と言ふ事のみを知りたがつてゐたのである。同時に彼等は、一九三〇年の半年間絶えず繁榮がサンタ・クロースの袋の中から突如として飛出して來るであらう事を考へてゐた。と云ふのは彼等は、政府當局をはじめ、政界の有力者から「一九三二年までには景氣は必ず恢復する」「近い内に工業も農業も好景氣に惠まれる」「この八月には小麥の相場は底をつく」「これが不景氣のどん底だ」と云ふ風な事を耳が痛くなる程聞かされてゐたからだ。これが卽ち第一の期間から第二の期間に移る過渡期であつたのである。

一九三〇年の九月から十二月にかけては、經濟的に米國の不況は殆んどその極に達し、フーヴー・モラトリアム宣言以後に於ける失業者は、政府の通貨收縮政策と產業界の賃銀引下に依つて俄かに激增し、今まで政府當局のお伽話で景氣恢復の夢を見てゐた連中も、次第に自己の境遇に目醒めて來た。この自覺及びこれがために生じた失望は、國民の行動及び映畫、演劇、小說等にも現はれ、更に各州に於て、種々なる團體は政府の無策を難じ、舊繁榮恢復の不可能を叫び、不況一掃に必要なる對策を講ぜん事を要求するに至つた。

一九三〇年は實に奇怪な過渡期であつた。國民は一時政府の宣傳に賴つて、今にも好景氣が戻つて來るやうに夢想してゐたのが、歲末の近づくと共にその賴むべからざるを自覺して來た。その期間に於ける彼等の心理狀態は、ベビー・ゴルフの流行に極めて適切に象徵されてゐる。

一九三〇年はベビー・ゴルフの歲であつたと云つても過言でない位にこのゲームが流行した。夏の數箇月間だけに百五十萬人の人間が每日三萬五千のコースで五十萬弗宛のゲーム料を拂つてゐる。斯やうな事は一年前の一九二九年には殆んど夢想だも出來なかつたところである。

これがためベビー・ゴルフは映畫その他の產業に比肩すべき、極めて有望な新產業となり、金儲に拔目のない連中は先を爭つてコースを作り、都市は勿論、山中や海岸の避暑地などにも到る處にコースが出來て、これをやらない者は人でないかの如き觀を呈するに至つた。勤め人等は中食の休みを十五分間延ばしてこれに耽り、コーラス・ガールは紐育のロクシー劇場の裏に出來た夜間コースで、夜を徹すると言つた有樣であつた。

斯くて一九三〇年の終りの頃には、ベビー・ゴルフに投せられ資本は約二億五千萬弗に達し、やがては映畫に代つて第五の大產業たらんとする勢ひをすら示すに至つた。又これが流行は他の產業、例へば電燈會社や製銅會社や材木會社等に多大の利益を與へ、材木だけでも約千五百萬弗の賣上があつたと言はれてゐる。

斯く一方にゴルフ流行の利益を受ける者があると思ふと、地方劇場や敎會では、これが流行し出してから、さつぱり客足が減つて來たので、彼等もとう〳〵その空地や屋內にコースを作り、これに依つて信者や觀客を惹きつける方法を講ずるに至つた。

併しベビー・ゴルフは映畫の如き生命はなかつた。六箇月後には、さしも繁榮を極めた各コースも、恰も火の消えたやうに寂れて、ベビー・ゴルフ熱は槿花一朝の夢と化してしまつたのである。

第四節　銀行の打擊

一九三三年三月四日、全世界の金融機關は、一時全く中止の姿となつた。米國を襲ふた金融上のパニックは、次から次へと、各州の銀行をして閉鎖せしめ、その日の朝紐育の銀行も遂に閉鎖するの止むを得ざるに至つた。尙ほ僅かに開業せる銀行も殘つてゐたが、やがて各州知事は銀行の休業を宣言し、全國の株式及び商品取引所も一齊に休業することゝなつた。外國爲替の取引は悉く中止し巴里、伯林、東京その他の金融中心地方の爲替も紐育に同情して休止し、唯だ僅かに倫敦及び加奈陀の爲替のみが制限せられたる狀態の下に存續してゐた。

紐育或はシカゴの銀行にその準備金を有する國內の銀行は、爭ふてその引出しに努むると同時に、その報導を耳にせる外國の銀行も又紐育の銀行に對して取付をなし、或はその預金を金に換へんとす

る。斯くて準備銀行が三月一日に遂に一週間内に失つた金類は二億二千六百萬弗に達した。

紐育の銀行は、その貸出を回收し、及びその財産を賣却することに依りて、これ等の取付に應じた。大統領ルーズヴェルト氏の就任に先だつ一週間に於て、彼等が賣却したる米國公債その他の債券、商業手形の額又びその得意への貸出を回收したる金額は、恐らく、前代未聞の額に達するであらうと思はれる。

これが最近に於ける銀行のクライシスの最大原因なること、その起源に溯つて研究すれば事明白に判かる。抑もその起源は一九二〇年代の始め、戰時インフレーションのために、殆んど致命的の打撃を受けたる後、徐々にその氷結狀態から融解し始めた時にある。戰時中、銀行と云ふ銀行は、何れも、巨利を博せんとする希望に誘惑せられ、株式發行に依りて金融を得んとする種々の事業會社に對して、莫大の貸出を實行した。一九二〇年、物價が急激に下落するや、それ等の諸會社は銀行に對して巨額の債務を負ひ、銀行は清算せられざる多數の商業手形を背負ひ込みて、四苦八苦すると云ふ狀態に陷つた。その後數年間、銀行は會社に貸出したる資金を回收することに努力し、諸會社は銀行の掣肘から脫せんと漠掻いたのであるが、それ等の作業は繁昌の恢復に依つて大に助けられた。

米國銀行家はその貸出をなすに當りて、商業のためと投資のためとの間に區別をすることを知らない。英國、蘇國、加奈陀を始め、他の文明諸國に於ける健全なる銀行政策として、商業銀行が得意先から預托せられた金は、必らずしも自動的に清算せらるべき、商取引のために貸出すことになつてゐるのであるが、米國の商業銀行は、貸出をそれ等の範圍に限定することを知らない。

投資貸出から投機貸出に轉ずるのが順序である。預金が增加を續けてゐる間は、完期預金の利子を上げさへすれば、更にその額を增加することが出來ると云ふことを銀行は知つてゐる。理論上から云へば、定期預金は、商業資金よりはむしろ投資に適するのである。何となれば、それは流動的のものでなく、直ちに引出さる惧れのないものであるからである。併し實際に於ては、商業銀行に於ける定期預金は當座預金と大して異なるところはない。何となれば、銀行は期限や、通知に拘泥せず、要求次第拂ひ戻すからである。

銀行が定期預金の利子を上げる（三分二厘乃至四分を常とするが、往々四分五厘に達することがある）結果は、高利廻りの投資を求むることが、銀行に取りて絶對必要となる。銀行は、法律に依りて、株式を購買することを禁ぜられてゐるが故に、勢ひ高利廻りの債券に向はざるを得ない。併し高利債券は冒險的事業に資本を吸收せんために發行せらるゝものなるが故に、低利債券程良好な擔保を持たない。その收益も安全でなく、市場に於て處理し得ることも確實性を缺いてゐる。

金は世界の隅々から米國に流入し來り、輸出は增加し、自動車の生產は長足の進步を遂げ、建築は盛んに行はれた。銀行はその手形を清算することを得、搗てゝ加へて、一般國民の貯蓄は定期預金とし

て銀行に這入つて來るので、米國銀行の庫中には、金がうなつてゐると云ふ光景を現出した。こゝに於てか、米國の銀行は社債券を購買することに依りて、再び商業手形の割引きを主とする健全なる政策を離れて、一層有利に見ゆる投資事業に沒頭することゝなつた。それも無理のない事であつて、健全なる商業的貸出をするについては、銀行家的の判斷力と枝葉を要するのであるが、債券を購買することは、質屋の仕事と同樣で何の造作もない。一九二三年から二六年に至る間、銀行の庫中に種々の債券が山積せる時、これが卽ち沒落周期の第一齣である。

第五節　財界恐慌の反響

米國の繁榮は勞働者が大に買ふ事であつた。勞働者もこれを自覺して盛んに買つたものである。卽ち十二年間に彼等は自分の儲けた額よりも約百七十億弗多く費してゐる。尤もこの支出の中には貯金や稅金なども含まれて居り、更に收入の中には、正當なもの〻外に、內職、ボーナス、賄賂等の雜收入もあるが、併しこれ等を差引いても、支出超過額は七十億弗を下る事はない。これは米國民が非常な借金をなしつ〻ある事を意味するものであるが、これと同時に米國の產業會社も又巨額の負債を生じてゐる。卽ちこの期間に米國の產業會社の負債は約二千百八十億弗に達してゐるが、この額は實に米國產業の總價格よりも遙かに大きなものである。（尤も負債の總額が國富の總額よりも多い事は、普に米國のみの現象ではなく、英國に於ても同樣である）で

勞働者や大衆に購買力がある間は產業は繁榮せざるを得ないが、一度大衆の購買力が減退すれば產業は崩壞の他に途はないのである。大衆は產業家の宣傳に乘つて盛んに買ひ且つ消費したゝめ、遂に前述の如き巨額の負債を生ずるに至つたが、これに氣がついた時には、彼等の購買力は既に非常に減退してゐたのである。一方產業家の方は、大衆の購買力を當てにして凡ゆる資本を製造業に投じて、工場その他の大擴張を行ひ、これがために巨額の負債を生ずるに至つたが、この時には既に大衆は負債のために購買力が減退し初めた時であるから、製造品は供給過剩で製造品や原料のストックが倉庫に溢れると云ふ有樣になり、延いて金融の途が杜絕して結局急角度に崩落の途を辿る事になる。一九二九年の株式大慘落は實に斯うした事情の所產に他ならなかつたのである。購買力の續く間が繁榮で、これが減退すれば崩壞の一路あるのみだ。

併し乍ら舊學說の固執者は、ウオール街崩壞の原因を投機そのものに歸せんとし、その背後に橫はれるより重大なる事實を見逃してゐる。總ての投機が負債のためではないが、併し負債のために投機に起つた者の多かつた事は爭ふ事の出來ない事實だ。

ジョルダン博士は一年前に、米國の不況につき次の如き批評を下してゐるが、その大部分は吾人の意見と合致するものである。

「米國の不況は投資機關、證券市場、銀行制度等に依る無統制なる財政的勢力に依つて培はれたるものである。卽ち

（イ）銀行の無統制なる融資に依る工場の過大なる擴張。

（ロ）消費者の購買力を一時的且つ不自然に集中せしめる事。

（ハ）輸出が一時的且つ變態的に增加したる事。

（ニ）消費者の購買力が急激に減退し、製造品の價格及び利益が減少し、資本の價値が減じ、負債が增加し、

信用が失はれ、債務の不履行、支拂猶豫の續發せる事。」

これを要するに、一九二九年のウォール街崩落前に於ける米國には一種のパニックが來てゐたのである。こゝで云ふパニックとは、株式の慘落そのものではなくして、寧ろ好況時代に於ける株式所有者の心理狀態を指すのである。元來株式市場は、少し利益があれば賣り、下押しところで買ふ事に依つて圓滑に立會が出來るのであるが、一九二九年の慘落前の株式市場は、株主が何れも「まだ騰る、もつと昂る」で容易に株を手放さなかつた。勿論少數の株主は利益を見ては賣り、下つたところを買つてゐたが、大多數は慾にかまけて、少し位の値上りでは手放す事が出來なかつたのである。この利益があつても手放せない心理狀態が吾人の所謂パニックである。

一九二八年から一九二九年の初めにかけての米國は、急激な金儲けで、少し氣の狂ひかけたモップの如きものであつた。彼等の狂亂は、金儲けのために一寸影をひそめてゐたが、一度彼等の懷に赤字を生じ、責任の地位にある政治家、財政家、產業家が左前となつて來るに及んで、彼等の秘めたる狂亂は、ムク〳〵と頭をもたげて來たのである。而も當局者は、この來らんとする慘害を阻止すべき何等の方策をも講ぜず、徒らに袖手傍觀を續けてゐる。否袖手傍觀でなくして、國民の樂觀を助長するが如き言動を敢てし、株主をして持株を適當に處分する勇氣を失はしめてゐたのである。

第六節　公共事業と景氣問題

一九二〇年の恐慌後、失業救濟と景氣回復刺戟のため、政府が公共土木事業を起すことが頻りに提唱された。フーヴーは、商務長官當時は、その最も熱心な贊成者であつたが、大統領になつてからは、聯邦政府がその大規模なる計畫をなすを喜ばず、一九三二年の非常救濟及び建築法に於ても、聯邦政府の計畫は小規模で、流動決濟的なものだつた。彼は寧ろ州なり都市なりの地方政府が、これを實行すべしと主張してゐた。

英國でも一九二一——三一年間、失業減少と產業回復のため、公共土木事業が實行されたが、失業者は一向減少せず、景氣は全然回復しなかつた。併し學者は尙ほ右の計畫が成功しなかつたのは、小

規模なためだから、もつと大規模に實行すべしと唱へてゐる。

ルーズヴェルトは在野時代から、公共土木事業の實施を主張してゐたが、大統領就任と共に、議會に獎めて、聯邦政府の大規模事業案を、產業復興法の一部として通過させた。

この法律に依れば、大統領は、事業遂行のため聯邦非常公共事業局を設け、その長官をして、自由に專門家、使用人を雇入れて準備をなさしめる。法律公布後二年を經過するか、大統領の命令又は議會の決議に依つて、この計畫は打止められる。但しその時迄に既に著手せるものは、支拂びもなし又完成せしめる。

公共事業の中に含まるゝものは、第一、道路公園、公共建築及び設備等の建設及び修繕、第二、天然資源の開發、維持、水の利用、水力の開發、電力輸送、河川港灣土木事業、第三、公衆の利益のため、從來公共直接又は援助の下に建設されたる事業、第四、下級住宅、貧民街の清潔計畫に關する建設、修繕及び管理、第五、右の外一九三二年の非常救濟及び建築法所定のものに、病院、貯水池、船渠、除海軍住宅の建設を加へたものである。

大統領は速かに就業を增加せんがため、右事業局長官及びその代理者を通じて、斯かる公共事業の建設又は金融をなし、地方政府の事業に、その材料及び勞働者の三割を超えざる額まで補助を與へ、建設物の賣買又は賃貸をなし、鐵道の維持及び設備の金融的補助をなしたりする權限を賦與される。

この事業遂行のため三十二億弗の資金が使用されることになり、財務長官はこの範圍で所要の借入をなすことが出來る。その使途は事業に依り、大體金額が豫定されてゐる。

公共事業長官には內務長官が任命され、全國を三州又は五州宛に區分し、各區に諮問機關を設けて、事業計畫を立案審議する。一九三三年八月二日迄に、案は大部分決定し、三十三億弗の內十億弗以上は聯邦政府の直接的計畫で、殘りが州、都市その他の補助に使用されること、なつた。

この計畫が果して幾何の勞働を吸收するやに就ては、種々の意見があるが、全計畫が同時に著手されるものとすれば、二百萬乃至三百萬人の就業を見るべく、更に建設材料及び勞働者の消費のために殆んど同數の間接的就業需要があるものと考へられてゐる。併し全計畫が一時に實行されることもあるまいから、假に三年間に延ばされるとしても、年に二百萬人の失業者を、直接又は間接に吸收する事であらう。

勿論これは千萬人を超える失業者にとつては、僅かに二、三割にしか當らない。併し大規模の公共事業を主張するものは、これに依つて自ら失業者を減少せしめやうと云ふのではない。これに依つて、建設材料その他の物資の需要を喚起し、一般事業界に刺戟と信認とを與へ、物價の昂騰と生產の增加とに依つて、一般的景氣の回復を助長し、從つて失業者の減少を實現せんとするにあるのだ。この主張者は、この計畫が國民の貨幣收入を增加し、物價が昂騰し、斯くて一般的景氣の回復が起り、而も一

旦回復すれば、この刺戟が無くなつても、好調が持續するものと考へてゐるやうだ。

著者も勿論この計畫が一時的回復を齎らし、殊に既に多少のインフレーションを起してゐる際に、これに著手することは、必らず直接的刺戟になるものと思ふ。併し問題は、この刺戟に依る回復が果して永續するや否やにある。公共事業はやがて打止めになる。その後にも尙ほこの回復を維持するや如何？　そこで次に、この計畫が國民經濟に及ぼす終局の影響を考察する。

財政上の見地から見ると、三十三億弗の支出は、これだけ政府の負債を增加する。これに地方政府の支出が三十億弗あれば、全體としては六十億弗の公共負債が增加するわけだ。一九三三年八月一日現在の聯邦政府負債は二百二十億弗を超過してゐる。これに復興金融會社、聯邦土地銀行、住宅貸付會社その他政府の會社債券に對する間接的負債が數十億弗加はる。公共事業計畫がこれに更に三十三億弗を與へるのだ。

公共事業用の負債は、その結果から見て、失業者に手當を支給したのと同じだ。これが返濟は將來の國民の稅金から支出されるのだ。從つて公共事業は、勞働及び材料に對し、信用に基く人爲的購買力を創出するものに外ならない。これがため一時的回復はあるが、將來この負債に對しては、國民收入の大なる部分が元利の支拂に振向けられることになる。而も債券の元利拂を受ける階級は、通常これを再投資に用ゐ、從つて國民收入のうち消費購買力となる割合は減少すべきこと前述の通りだ。

一九二九年の恐慌の根本的一因が、消費購買力の不均衡にあつたことは、既に詳論した。併し乍ら公共事業計畫は、終局に於て、この不均衡を一層激化せんとする。景氣の回復には、生產と消費者の貨幣收入との間に均衡を維持することが必要だ。併し乍らこの計畫は、米國の經濟均衡に大なる障碍を與へることゝなる。

更に最も大なる危險は、この計畫が完了した際にある。何等かの突發事件のない限り、事業の完了は、材料その他の物資の需要減となり、失業者の增加となり、失業者の收入は減少し、從つて消費材及び生產材共一般にその需要を減少し、玆に事業界は不景氣に再轉する。これを避けんとすれば、再び大土木事業を起さゞればならない。而も一般の信用狀態は、最早その繼續を許さないことゝなるのであらう。

そこで著者の意見では、公共事業計畫は、不景氣の根本救濟策ではなく、反對に政府の產業復興計畫のうち最大の危險信號である。失業問題も、一般民間產業が失業者を吸收するのでなければ、眞の解決にはならない。そこでこの事業計畫は、不景氣の根本現在の案をずつと縮小するか、又は施行年限を延長するがいゝのだ。

然らば失業問題の根本對策として何をすればいゝのか。それは不景氣を招來した二大原因に向つて、對策を樹てることだ。即ち一般消費大衆の購買力の過少と、過度の勞働時間とに對して、これが匡正

のメスが振はれなければならないのだ。公共事業計畫や、人爲的物價昂騰は、無論一時的回復の效果はあるが、それが完了した時には、一層激しい不景氣が再來することになり、眞の救濟策ではない。米國產業界の二大缺陷を匡正するため、政府が民間の產業政策に統制を加へる必要が起る。

第十三章　財界不況對策

第一節　不景氣救濟法

一九三一年から三二年にかけての不景氣は、ナヨナル・クレヂット・コーポレーションの如き貧弱な機關を以つてしては、この形勢を挽回する事は不可能である。そこで三二年の初めからは更に大規模な復興金融會社が活動を開始したが、併しこれすらもその機能を十分に發揮する事が出來ず遂に六月に至つて財政的の行詰りに逢著し、七月には知識的行詰りに、更に八月には精神的行詰りに達した。

元來米國はこれまでの經路が餘りに坦々たるものであり、歐洲各國の如き艱苦の經驗に乏しいので、一朝不況に直面すれば、これを切拔けるべき方策を案出し得ず、結局底無しの沼に落ち込んだ如き心持になつて、意氣銷沈してしまふのである。

卽ち財政的に困つて來ると、間もなく米國人の精神は恰かも鹽をかけられた靑菜の如く萎縮してしまつた。マルクスの唯物史觀に依ると、感情、幻影、思想、生活等は、現實としての社會の經濟的構造の上に、種々異なつた上層建築となるものだと言ふのであるが、ロベール・ラ・モントは更にこれを

敷衍して「研究室にゐる科學者も、彼をめぐる生活狀態を離れて思考する事は出來ない。社會科學上の學說も自己の住める經濟的條件に依つて決定されるものである」と言つてゐる。

これと同樣に一九三一年末から三二年の夏にかけて、米國人は何れもデフレーションに依つて左右され、フーヴー・モラトリアムの中間景氣が見舞ふまでは、事態は惡化の一路をたどり、政府は袖手傍觀するのみで、殆んど何等の對策も講ぜず、偶々講ぜられたデフレーション政策は、餘りに茫漠たるもので實際的の效果をもたらさなかつた。斯くて彼等は物質的にも精神的にも、再び起つ能はざるまでに打ちのめされたのである。何故なれば、彼等は起ちあがつて動く氣持はあつても、起ちあがる力がなくなつてゐると信ずるやうになつたからだ。

これは一九三二年の八月頃に於ける米國人の心理狀態であるが、この一箇月前までは米國に獨裁政治を樹立して、この難境を切抜けて貰ひたいと言ふ要求が可成り强かつた。これは國家の非常時にはどこの國でも叫ばれる要求であるが、米國でも不景氣が深刻になり、政府の對策の手緩い事が痛感されると共に少數者の間には、この危急を救ふものは憲法政治では駄目だから、須らく歐洲諸國は流行してゐるやうな獨裁政治を行つて、荒療治をする他に方法はないと云ふ主張が盛んになつて來た。

露西亞は少數の知識階級とプロレタリアの獨裁に依つて、共產主義の名の下に國家社會主義を實現して居り、伊太利にもムツソリーニの獨裁下に一種の國家社會主義が行はれ、何れも著々效果を擧げてゐるが、米國の無產者及び、資本主義の將來に希望を失へる者等も、米國はよろしく露西亞、伊太利の例に倣つて獨裁政治を行ひ、以つて焦眉の急を救ふべきだと主張し始めた。

それ故に伊太利式のファッシズムを米國に輸入してこれを鼓吹せんとしたのは、元來露西亞の計畫經濟の讃美者であつたが、フーヴー大統領も彼等の議論に共鳴したか「獨裁政治は主義としては面白くないが、非常時には一種の獨裁政治が必要な場合もある。斯の世界大戰に際しては、大統領は一種の獨裁として行動したが、不景氣退治にも斯やうな權力を使用する事は、或は必要かも知れない」と言ふやうになつた。

この獨裁政治要望の機運を察して、六月には世界大戰當時存在した國防會議再興の要求が大統領の許に提出された。提案者は米國勞働聯合會長グリーンやフォードをはじめ、全米の有力者八十名であつたが、この要求は大統領の贊成を得るに至らなかつた。

是に次いで九月には、米國政治學評論の主筆フレデリック・オッグはカレント・ヒストリーに獨裁政治宣傳に關する論文を寄せて「米國議會には米國のデモクラシーの成功に疑ひを有つ者が五十人もゐる」と述べて注意を惹き、更にオーエン・ヤングもノートル・ダムに於ける演說中にファシスト的な意見を强調し、バーナー・マクファデンの如きは「目下要求されてゐるのは戒嚴令だ。大統領は須らく獨裁的の權力を有すべきである。憲法と雖もこの不景氣退治に獨裁權を行使する事を妨げてはならな

いとまで極言するに至つた。

この獨裁要求の風潮に刺戟されたのか、不景氣退治には殆んど無策であつた大統領も、ボーナス軍の擊退には所謂獨裁權を振りかざして、國軍の出動を促し、彼の所謂暴動を鎭壓したのであつた。即ち獨裁權は不景氣退治に用ひられずして、窮乏に狂へる市民擊退に用ひられたのだ。

ところが面白い事には、このボーナス軍の幹部であるウオーターズやアート・スミスなども又純然たるファシストで、彼等はワシントンを追はれる前に「吾々は十一月には選擧などには行かないで、更に多數の團員を率ゐてワシントンに侵入し、大統領に辭職を要求して政權を掌握する積りである」と豪語してゐたと言はれてゐる。大統領の行動と共に笑へない喜劇である。

この未曾有の不景氣に對して、共和黨はその政綱中に「國內には今や何事か恐るべき事が起らんとしてゐる」と述べてゐるが、民主黨の方では「恐るべき事は既に起つてゐる」と主張した。併しこの眞僞は大統領選擧に依つて直ちに判明した。即ち民主黨の主張は國民多數の承認を得ルーズヴェルトは大統領に當選したのである。

共和民主兩黨の爭は、デフレーションかインフレーションかであると英國の一記者は報導してゐるが、選擧戰の始めに於ては、この觀測は全然間違ひであつた。フーヴーもルーズヴェルトも最初の選擧演說は禁酒問題とクレヂットとに關するものであつた。

併し選擧戰が酣になるに從つて次第に通貨政策に觸れるやうになつて來た。フーヴーはあくまで自己の信念を曲げず、中西部の農民に向つては不換紙幣は發行しないと言明し、紐育に於ては「民主黨の政策は米國の基礎を搖がす恐れあるものである」と論難した。

これに對してルーズヴェルトは「吾々の生活は、產業資本家に支配されて、經濟上の寡頭政治に轉向せんとしてゐる」と論じ次の如き分析を試みてゐる。

イ、米國今日の狀勢には機會均等は存在しない。

ロ、米國の產業組織は完成してゐるが、問題は工場が多過ぎはしないかと言ふ事だ。

ハ、米國の土地は今や餘すところなく開發されてゐる。從つて歐洲からの移民は最早必要としない。

ニ、單に工場や鐵道を增設する者は、一方に於て助けになるかも知れないが、同時に他方に於て危險でもある。

ホ、吾人のなすべき事は天然資源の開發や、もつと多くの品物を生產する事ではなくして、過剩生產の販路を求め、生產と消費を適合せしめ、富と生產の分配を公平にし、現在の經濟機構をもつと國民に役立てる事である。

卽ちルーズヴェルトは多くの候補者が濫發する一切の不渡手形を廢し、現實に卽して國民を詐かざるところが彼の選擧戰の特徵であつた。彼のこの分析は如何にも地味であり、或點では悲觀的であつ

て、斯やうな言葉で選擧民に呼びかけた候補者は、これまで餘り多く頻を見ないところである。

これに對してフーヴー大統領は「ルーズヴェルト氏の所論は米國の將來を絶望ならしむるものである。斯かる方法を以つてしてはこの不況時代を切抜ける事は出來ない」と難じ「ルーズヴェルトの所論の如くんば、米國は進歩發展を斷念しなければならない」と述べ、更に誇張的に米國の偉大さについて大見得を切つてゐる。

併しフーヴーの選擧演説にも拘らず、米國の景氣は依然として惡化を續け、停止するところを知らないので、フーヴーは遂に八月になつて銀行界、産業界の人物をワシントンに招集して、不況打開に關する會議を開いた結果、復興金融會社の活動をより有效ならしむる事、通貨死藏の防止、準銀の緊急金融擴張計畫、低金利政策、準銀の公債買上、物價騰落の精細なる研究等を決定したが併しこれ等の景氣恢復策はこの會議以前から決定し又は論議されてゐたところであつて、決して新らしい恢復策ではなかつたのである。

一九二九年の不景氣を惹起した諸種の原因は、今度は不景氣に依つて一層激化せられた。消費者の收入は一層減少し、失業者は更に增加した。多くの産業が膨脹し過ぎた事、貯蓄を持過ぎて、消費を持ち足りないことが、一層はつきりして來た。この間の相互的因果關係を見るために、不景氣進行中の種々の出來事を次に研究する。

第一物資の需要が減退し、物價は一九二九年株式恐慌の暫く後から低落し始め、一九三〇年春には、遂に生産費以下に下つた。これが三年以上も續いた。從つて利潤は總ての産業から除かれ、生産は四年間に涉つて減少の一途を辿つた。そのどん底に於ては、製造工業の如き一九二九年の生産量の半分に下つた。從つて失業者は漸增し、一九三三年春千三百萬乃至四百萬人に上つた。同年の國民收入は一九二九年の半分以下に低下した。

一九二九年の恐慌に當つては、事業は前述の通り未曾有の製品又は原料のストックを擁してゐた。財界の信用が動搖せる際に、これを處分することは容易なことではない。誰しも買入を止め、新らしい仕事を企てるものゝない時だ。このストックの賣拔と、消費者の購買力減少とが、生産及び商業減退の二大原因だ。

物價の低落と生産及び商業の減退とに伴ひ、銀行信用の回收が急激に行はれ、それが更に物價の低落を促進する。銀行の借手は、早く品物を賣り捌いて借金を返濟せんとする。自然事業の損失と破綻とが續出し、從つて銀行信用の固定化が增加する。その結果銀行の信用が喪失し、預金の取付が起り、銀行破綻が增加する。一九二九年から三三年春までの銀行破綻數は、實に五十行の多きに上り、やがて三三年春の全國的銀行休業が起つたのだ。

銀行はこの事態に直面して、貸出の回收を計つて手許の充實を期せんとした。併し借手は元金どこ

ろかその利息の支拂ひさへ覺束かなくなり、大は鐵道會社から、小は農民及び個人商人に至る迄、負債整理の問題が急迫して來た。そこで政府の救濟が要望せられるに至つた。

殊に農民は、既に一九二〇以來不況に惱み、一九二九年以後の農産物價の崩落に當面して、全く負債の重壓に呻吟した。各地に於て、農民は最早苦惱に堪へ難しと叫ばれた。同時に政府財政の赤字增加と、これを賄ふための巨額の赤字公債の增加が、中央地方を通じて現はれた。斯くて何れの方面を見ても、事態は最早自然の推移に依つて改善さるべき見込皆無となつて來た。

需要減少に依る物價低落、生産減少、失業增加、消費の一層の減少、更に物價の一層低落。この忌むべき循環に加へて、物價の下落に基く信用の減退、更に一層の物價の低落が起り、相互に惡影響を與へて、何時果つべしとも見えない程だ。併し史上の總ての不景氣は、何時か終熄して來た。

過去のの不景氣は、ストックが一掃され、物價インフレーションが過ぎ去ると終熄し、低物價でも事業の採算が採れるやうになると、生産は增加に減じ、物價は再び上昇に轉じて來た。米國では、不景氣の際は、新らしい機會を求めて人口の西漸が起り、又新規な事業が開拓されたりして、好轉の刺戟を提供したものだ。更に斯かる際は大抵輸出の增加がこれを援けたものである。

併し乍ら一九三三年は如何。ストックは既に殆んど一掃され、銀行信用は、非常銀行法でその潜在的豐富さを示し、事業は最早損失を避け得る狀態になつてゐる。而も尙ほ景氣恢復の曙光も見えない。物資の需要は著るしい不足を示し、西部にもチャンスはない。新事業は起る餘地はないし、舊事業は水膨れだ。輸出も外國が現在の事情では增進すべくもない。

不景氣の初期には、總ての經濟的難問を不景氣のためなりとし、不景氣さへ底をつき、恢復に轉ずれば、斯かる難問は全部解決すべしと考へられた。不景氣の根本的原因を、寧ろその結果と誤認したのだ。不景氣前に於ける銀行信用が、投機及び投資的に過度に膨脹した事は認めてゐながら、主たる金融上の難問は、過度の負債と貸付の固定にありとし、舊事業組織は根本的には健全だ。唯多少の例外的事件、一時的難關に當面するだけだ、景氣が好轉しさへすれば、總て元通りになると云ふのであつた。

不景氣の當初は、フーヴー前大統領は、これを以て一時的のものと見て餘り對策を講じなかつた。併し二年間待つても繁榮は來なかつたので、これは外國の不景氣のそれも金融上の困難が、米國貿易に影響せるためなりと解し、戰債モラトリアムを宣言した。併し事態は一九三一年暮れから一層惡化した。そこで今度は復興金融會社を起して、銀行、鐵道その他の大會社に貸付をなして救濟せんとした。玆でも彼の考へは、米國の困難は主として金融上の問題なりとしたのだ。內外が金融的に回復すれば、繁榮は再來すべしと觀た。

尤もフーヴー前大統領は、金融政策以外にも二三の對策を執つた。卽ち初期に於ては、公共及び民間

とも建築事業を振起すべしと宣傳したり、一九三〇年には「今買へ」主義の宣傳をしたりした。併し空家や閉鎖工場の多い時に、新建築をするものゝある筈がなく、又消費者に、貯蓄所か購買力の無い時に、「今買へ」と云つたとて效果のあるわけはない。今度の不景氣には、從來の如き自然の回復力がないのだ。卽ち外國貿易も、二十年代は米國の貸付のために維持されてゐたのだから、不景氣で對外貸付が止めば、當然不振になる筈だ。又消費者の購買力も、急激に減少して來てゐるのだから、米國の失衆は收入があるや否やすぐこれを使つて終つてゐるので、貯蓄に廻す餘裕などありはしないのだ。

一九三二年共和黨が敗北したのは、不景氣對策の失敗のためだつた。一九三二年十一月から翌年新大統領就任迄の間、事態は尙ほ徐々に惡化した。ルーズヴェルトが就任した時は、全國銀行の大半が休業してゐた。彼は直ちに全國銀行の休業を命じ、非常銀行法を制定して、政府監督の下に銀行の再興を許可した程の事態だつた。

一九三二——三三年の冬、米國では資本主義の終焉が盛んに論ぜられ、事業が總て政府の手中に奪取されるのではないかとさへ恐れられたものだ。一部の過激論者は、この實現を熱望したが、一般大衆は決してそれを喜ばなかつた。出來るならば、或種の公共的統制の下に、資本主義は今一度再起のチャンスを與へたいと考へた。

資本主義を存續せしめつゝ、政府が現下米國の難關を處理せんとするには三つの統制策がある。卽ち次の通りだ。

第一は、不景氣に依つて困難な立場に立つもの〳〵救濟だ。失業手當、債務者への政府貸付、擔保處分や破産の防止、銀行への援助又は健全性の保證等だ。政府がこの種の救濟のみを不景氣對策とするならば、それは財界が自然的經濟力で回復し得ると云ふ假定に立つてゐる場合だ。

第二の政策は、事業界に刺戟を與へ、活を入れることだ。卽ち公共事業を起して、失業を救濟したり、物資の需要を喚起し、或は弗價を下げて物價の上昇を計つたり、農産物の政府統制に依る價格の吊上げ等がそれだ。この政策も、經濟社會の根抵に惡いところがあるのでなく、斯かる刺戟に依つて、産業組織が再びうまく運轉すべしと云ふ假定に基づくものだ。

第三の政策は、産業組織の根本的缺陷を認め、自由放任主義の代りに、政府の計畫と命令とで産業の統制をなさんとするものだ。卽ち政府の命令で賃銀の引上をしたり、勞働時間の短縮を計つたり、利潤殊に超過利潤の統制をしたり、生産量殊に農産物の生産統制をしたり、銀行信用の濫用防止等の統制をしたりすることだ。この政策は必らずしも、自由競爭を廢止するものではないが、これを許す一般的規準を設定するものだ。

新大統領就任以後の産業政策は、右の第一及び第二の當面的施設を含むと同時に、第三の根本的政策をも含んでゐる。卽ち産業復興法や銀行及び證券法に企圖するところがそれだ。次章以下にルーズ

ヴエルト政策の種々の要素を檢討すると共に、右の諸政策の强味と弱點とを併せ研究して見やう。

現在の經濟的デッドロックを解決し、四年の不景氣の後に復興せんとする諸勢力の妨礙を取除く唯一の方法は强大なる債權國の政府が、膨脹政策を執るにありとは、屢々有力なる經濟學者に依りて主張せられてゐる。デフレーションの無限螺線を變更することなしに、貨幣界以外に於て、彌縫策を講じても、成功の見込はない。通貨の膨脹を實行する以前に、生產費と物價とを適合せしめ、性質の惡しき負債を整理し、關稅を高め、爲替を制限する等の政策を執れば、益々以て通貨の緊張を來し、全經濟機關の混亂を招くのみである。合衆國に於けるデフレーションの結果が、遂に全銀行組織をして崩壞に陷らしめたる事實は、右の理論の正確なることを證し得て餘りがある。

デフレーションの作用は、二箇の明白なる、而も相近似せる線に依つて進行する。（a）資本財產と商品ストックの强制的整理——債權者特に銀行から來る一般直接的の壓迫、（b）これに隨伴して起る心理的デフレーションにして、それに依つて一層原始的なる整理法と、金の死藏を招來し、以て益々金融の逼迫を來すことがある。デフレーションの斯やうな破壞的要素を考ふる時は、遂に崩壞の來るは、當然のことにして、寧ろその一層早からざりしを怪しむのみである。

第二節　不景氣と產業工作

一九二九年に始まつた不景氣の原因は、大戰の始めから、一九二九年迄の米國產業界の主たる變化を研究すれば、自ら判然する。同時に右の研究は、今度の不景氣が、從來の不景氣と格別違つたものでないこと、米國產業史上の一轉機を劃するものであることを示し、更に、從來行はれた產業上の自由放任政策が、既に破綻を暴露し、最早國民最高の福祉に添ふ所以にあらざる事實を明らかにする。そこで本章に於ては先づ斯かる歷史的且つ分析的研究を試みる。

先づ第一に、凡ての不景氣は必ずブームの後に起る。好景氣に先行されざる大不景氣はない。不景氣を研究し、これに善處せんがためには、先行のブームを理解しなければならない。一九二九——三三年の不景氣とても、決して例外ではない。一九一六——二〇年の戰時ブーム及び一九二四——二九年のクーリッヂ景氣を釀成した事情が、卽ち今度の不景氣を誘導してゐるのだ。

世界戰爭は著るしく生產を刺戟した。無論戰前と雖も、主要產業に機械力も使用せられ、或程度大量生產もあつた。併し戰爭となるや、自動的機械の使用は急激なる增加を示し、農業も、工業も、或は又鑛業に於ても、著るしい生產增加を遂げ、而も從業勞働數は却つて減少を見た。尠くとも生產の見地からは、米國は他の何れの國よりも圖拔けた進步を示した。

戰爭は更に通貨及び信用のインフレーションを齎らし、物價の激騰を招いた。一般卸賣物價指數は、一九一三年の一〇〇から一九二〇年には二四六に昂騰し、事業はこれと比例して利潤を增加し、これ

を後日の生產のために再投資した。從つて戰時利潤は、生產能力を一層增加せしめたのだ。戰時中米國は、歐洲のため物資の提供者となり、歐洲は米國政府から百十一億弗を借入れて米國の物資を買ひ、更にこの外證券の買却七十億弗金の現送十億弗を合せて八十億弗の物資をも買ひ入れた。これが一九一五——二〇年に獲得した米國產業の大利益の一主因であつた。

一方銀行信用も未曾有の膨脹を遂げ、一九二〇年にはこれを制止しなければならなかつた。そのため一九二〇年の恐慌が來た。一九二〇年の暮れから一九二一年夏迄に、物價指數は二四六から一五八に暴落し、事業の破綻と信用の固定を齎らした。併し乍らこの恐慌は間もなく立直り、一九二二年から再びブームに轉化した。

戰後經濟的疲弊に惱んだ歐洲は、米國銀行から借入をして、米國物資を買ひ入れた。その結果米國の貿易は急速な回復を示したのだ。更に戰時中禁止された建築が、出征兵歸還のため住宅不足を告げるや、急激に增加し、一九二〇年一寸停頓したが、二一年から再び激增し、住宅の外種々のビルディング公共建築等未曾有の增加を示した。更に道路建設が大規模に行はれたことも加はつて、一九二二年以後、一九二九年迄、米國は一年增に所謂繁榮に突進したのだ。

一九二二——二九年間に製造工業の生產量は四二%を增加し、從業勞働は反對に約四%を減少した。自然一人當り生產量は殆んど五〇%を增加した。その結果繁榮の高潮時たる一九二九年春に於て、失業者は二百萬に上つた。而も物價は低下せず、從つて事業の利潤は未曾有の巨額を示した。一方賃銀は幾分增加したけれども、勞働數の減少のため、全體から見れば勞働の購買力は、實際上一九二九年も二二年も變りはなかつたのだ。

斯くて一方に於て利潤增加に依る再投資、從つて一層の生產增加があつたに拘らず、勞働の購買力は餘り增加しなかつた。それでも增加した物資が吸收されて行つたに就ては、何等かの理由がなければならない。その理由は次の四つだ。卽ち第一に、一九二八年迄は、生產增加の大部分が新建築や資本設備に還流したこと、第二に、八十億弗に相當する物資が出超として外國に捌けたこと、第三に、割賦販賣で現在の購買力以上の消費が行はれ、この八年間に、その販賣額は十五億弗から九十億弗に激減したこと、第四に、この間投機市場の利益數十億弗が物資消費に使用された事だ。右の人爲的購買力が增加物資を吸收し且つ物價を同じ水準に維持したのだ。

處が資本設備の增加は、國民の必要とする以上に上り、合理的な報酬を產まない浪費となつた。外國への輸出超過も、それ以上の對外貸付のために實現したもので、而もこの貸付の多くは返濟される見込が全くない。割賦販賣は無論全然の人爲的所作であり、證券投機の利益に依る消費も、現實の收入以上の消費たりしこと、割賦販賣と同樣だ。株價崩落の結果、米國民はその獲たる利益以上の額を、現在損失として吐き出しつゝあるのだ。

一方生産物の價格が、そのコストの低下に從つて低下調整されてゐたならば、過剰生産設備の浪費も起らず、現在の購買力が增加し、斯かるブームも發生せず自然現在の不景氣も避け得た筈だ。而も人爲的購買力を斯程に創設しなかつたならば、物價は必らずや、生産費と共に低下したであらう。

更に事業擴張に伴つて發行せられる證券が、銀行借入金で買はれ、外國證券の大部分も又借入資金で流動した。割賦販賣業者は、その證書擔保にして銀行から借入をなし、又株式投機のために用ひられた銀行信用は、この期間百五十億弗から二百五十億弗に上つた。これ等の多くは證券擔保貸で、投資貸付と稱すべく、少くとも普通の商業貸付ではない。

一九二九年にこの行詰りが來た。聯邦準備局の銀行への警告となり、外國證券の發行激減し、從つて輸出の減少となり、株價の行過が感得され、十月遂に最初の株式瓦落が來た。十一月再度暴落以來は、三年間低落の一途を辿つた。商品價格の低落は一九三〇年初めから起り、貿易は急激な不振に陷り、遂に史上未曾有の大不景氣に當面するに至つたのだ。

株價急落に伴ひ、銀行は回收を急ぎ、割賦販賣業者はその活動を收縮した。株價急落に依る一般の損失と、貿易減退とがこれに加はつて、消費物資の需要は、一九三〇年中既に多大の減退を示し、物價は徐々ながら執拗に低落を辿つた。

その結果滯貨は未曾有の巨額に上り、而も生産力は著るしい過剰を示した。例へば自動車の製造能

力は、消費の頂點を示した一九二八年の二倍に上り、オクラホマ州だけの石油生産量で、世界一年分の消費を充すに足りた。自然各産業に生産短縮と、收入減と失業とが起つたのだ。

斯くて不景氣の原因を、今一度簡單に繰返すと、技術進步時期に於ける過剰の利潤と、低賃銀と、勞働の長時間とが、その重要の根因だ。これが實際の購買力を不足せしめる一方、過剰の生産力と滯貨とを造つたのだ。これに加へて投機及び投資のため、巨額の銀行信用が撒布せられ、これが人爲的購買力を維持すると共に、更に生産過剰を誘致した。これ等の事實は、不景氣の原因となつたのみならず、自由放任政策の破綻を實證するものともなつたのだ。

米國は既に、資本及び生産の不足、從つて收入節約の時代から、資本及び生産の過剰、從つて國民收入を勞働者にもつと多く割當分配し、以て購買力を十分に維持せしむべき時代に這入つたのだ。今や米國は、資本增加のための富者の大收入と大節約とを必要とせざるに至つた。安定物價に於ける生産量の增加は、必らず國民收入に同樣の增加を實現し、而も同時に、利潤及び利子として資本に分配さるべき收入の割合が減少する。斯くて生産力は增大するに反し、現實の消費となるべき購買力は減少して行くことになる。玆に自由放任の産業政策の破綻がある。最早自由競爭は、社會の最大の利益のために働かなくなつたのみならず、遂に彼等を經濟的及び商業的破局に追ひやることになつたのだ。

利己のための行動が、一方に於て自由競爭の制限に依り、同時に社會全體の最善のサーヴイスとなつた時代は既に過ぎた。自由放任政策はアダム・スミスの時代に於ては、殆んど眞理であつた。併し近代の事情に於ては、自己のための營利は、直ちに社會の利益ではなくなつた。自由競爭も最早この社會的弊害を匡正し得ないことになつたのだ。

近代に於ける產業の增加は、勞働力に代はる自動的機械の發達のためだ。從つて生產激增の時代にも、勞働は現に減少を示してゐる。勞働の供給は減少しないのみか、反對に失業者が增加する。從つて勞働一人當り及び時間當り生產力の減少にも拘らず、勞銀は增加せず又勞働時間は決して減少しない。否時間は現に增加してゐる例が尠くない。併し生產の增加に連れて、物價が低落するならば、勞働者は產業進步の弊を受けず、消費者の購買力が不足することはないわけだ。自由放任の理論は、生產增加の場合競爭に依つて物價の低落すべきを豫定する。併し乍ら最近の事實は、この理論通りに動いてゐない。

然らば何故一九二二——二九年の間物價が下らなかつたかといふに、これには三つの理由がある。第一は前述の通り、建築及び資本設備の過剩膨脹だ。これに基く物資の需要は、所詮人爲的なもので、將來迄永續し得べきものではない、第二は、これ又前述通り、割賦販賣及び對外貸付に基く貿易出超等の人爲的購買力の創設だ。第三は、事業の獨占的非競爭傾向の增大だ。これが米國產業界に物價維持力を與へたことは甚大だ。多くの產業が、價格協定に依つて、價格引下競爭を排した。鋼及び石油の如き獨占的大企業の或產業では、他の事業家は何れもこの獨占的價格に追隨し、又或種の產業では餘剩物資を海外にダンピングして、國內物價を高位に持續した。一九二九年に多大の滯貨が出來たのは、斯かる傾向のため市場に出さない餘剩物資が多かつたせいだ。

そこで以上の所論から引出される當然の結論は、自由放任政策を修正して、公共の利益のため何等かの統制をしなければならないと言ふことだ。その根本的改革は次の四點にある。

一、國民收入のより大なる割合が消費者に行渉り、より小なる割合が投資家に行くやうに、分配の統制を計ること。卽ち勞銀をもつと高くし、利潤をもつと低くすることだ。

二、產業が技術的に進步すると共に、勞働者に仕事を提供するやうに、勞働時間の短縮を規定すること。

三、個々の物資の價格を、その生產のコストの變化に應じて變化せしめること。

四、銀行信用の投機的利用に依つて、物價水準が人爲的に變化せしめられないやうに、銀行信用に對する公共的統制を加へること。

第三節　デフレーシヨンの悲哀

ベビー・ゴルフが流行を極めてゐる間に、失業の方は月と共に増加して來た。これは即ち政府のデフレーションが效いて來たからである。デフレーションは事業縮小であり、物價下落であり、賃銀引下であり、失業者の續出である。この中で最も問題になつたのは、賃銀引下の件であるが、これは最初各會社とも極力賃銀維持を聲明し、實際に於てもこれに努めたが、併しデフレーションに次ぐ物價の下落は、勢ひ賃銀引下の問題を要求せずには置かない。然してこれに火を點じたのがクリーヴランドで開かれた米國銀行家協會の會合であつた。次いでチエース・ナショナルのアルバート・ウイギンは「繁榮をもたらすものは高い賃銀に非ず、繁榮が高賃銀を可能ならしむるものである」と聲明して、大統領の高賃銀政策に一矢を酬ゐ、同時に賃銀引下の大勢に油を注いだものである。

一方失業者が彌が上にも增加し、一九三一年の一月を以つて終る九箇月間には失業者無慮一四九%の增加（一九三〇年四月には二百五十萬であつた失業者が、一九三一年の一月には六百萬に增加）を示してゐる。これに對して大統領は一方に賃銀維持を主張すると同時に、他方產業家に對して、もつと勞働時間を短かくしてもいゝから、人を多く使用するやうにと勸告したが、併し凡そ斯やうな勸告位產業家に取つて、有難迷惑なものはない。彼等は一國の元首としての大統領の勸告は有難く拜聽するが、併しこれが實際に行はれない事を大統領のために遺憾とした。そして大統領の言を尊重して最後まで賃銀率を維持せんとしたユー・エス・スチールすらも遂に大勢に抗する能はず、コロラドのロックフェラー鑛山が賃銀二〇%の引下斷行に次いで、遂に賃銀の引下を決行した（一九三一年七、八、九月）。

斯やうな趨勢の中にあつて何故大統領はあくまで賃銀引下に反對したかと言ふと、その理由の一つは生活費が安くなつてゐると言ふのである。商務省の調査に依ると、生活費は二〇%方下落して居り、一九二三年と一九二九年の一弗は、一九三一年の一弗十六仙に該當すると言ふのである。斯く弗の購買力は昂つてゐるか、併し金を儲ける事が前よりも困難になつてゐるから、弗の購買力增加を相殺して、猶は且つ生活は前よりも苦しくなつてゐるのである。換言すれば、物價は下落し、弗の購買力は增加したために、勞働者の生活費は、一九二五年に比べて、一九三一年のそれは約一五%方下落してゐるが、同時に製造業者の賃銀支出は約四〇方減少してゐるために、結局勞働者はそれだけ金儲けが少なくなり、生活が苦しくなつてゐるのである。

生活苦に惱むものは、單に工場勞働者のみではない。農民も又農產物の下落と、不作のために饑餓線に立つものが多かつた。就中最も甚だしかつたのは旱害に惱まされたアーカンサス州で、同州のイングランドと言ふ小さな町では、農民が群れをなして商家に亂入し、食料品を要求した。彼等は曰く「自分等は乞食ではない。併し生きて行くために必要なものを借るだけだ」と。これ彼等の僞らざる告白である。

この暴動が動機になつて、大統領は議會に旱害地農民の救濟費として二千五百萬弗の豫算を計上すべき事を勸告したが、議會はこの金額を過少なりとし、六千萬弗を計上した。フーヴー大統領はこれに對し「自分の勸告した額は最大限度である。」とて議會の專斷を非難したので、結局議會は豫算を四千五百萬弗と云ふ事にしたが、それでも大統領は承知せず「農民救濟法には赤十字社が、その基金を以つて當つてゐるから、議會は、全國民の負擔に於て、しかく巨額の救濟費を支出する必要はない」と主張した。そこで上院は早速赤十字社の總裁ジョン・バートン・ペインを議會に招き、その證言を徵したが、このペイン總裁が又フーヴーに輪をかけたやうな男で「農民の救濟には大した金は必要でない。赤十字社には、五百萬弗の基金があり、この中から既に百萬弗ばかり支出したから議會から別に補助を受けなくともいゝと思ふ」と言ふのである。これに對し上院議員等は「百萬弗では三人家内の一家族に對し一箇月一弗十五仙の割であるが、これでは如何な農民でも救濟出來ないではないか？」と突込んだので、ペインも遂に兜を脫ぎ大統領に對し旱害農民救濟費として、一千萬弗の補助金を請願する事になつた。

旱害農民救濟劇は、この後にも可成のゴタ〳〵があつたが、結局大統領は「聯邦政府は直接國民に金錢を與へないのが原則である」と立前を固執して、議會の凡ゆる行動を阻止する事に努めたのである。

併し國民は次第に各自の悲慘な境遇に目覺めて來た。ウォール街の崩壞後十五箇月にして、上院はその委員會の一つに對して不況の重大性につき調査報告書方を要求し、國民は繁榮來の幻想を斷念して「賃銀を引下げられても失業しない方がましだ」と考へるやうになつた。卽ち失業問題は從來の意味を一變して來たのである。以前は賃銀を引下げられる位なら失業する方がましだと云ふ風であつたのが、今や全く反對となつて來たのだ。

この國民の感情の變化は、別に統計の據るべきところはないが、併しこの期間に生きてゐた者は、何人も免かれない變化であつた。そして東部の住民は何れも、中西部分の住民の生活を羨み、中西部の者は又東部及び極西部諸州の住民を羨望すると言ふ風に、各地の住民は何れも、他の部分の住民に比して、自分等だけが不幸であるかの如く感ずるやうになつた。勿論不景氣はところに依つて多少の輕重はあつたが、併し一九三一年の春頃になると、この輕重は殆んどなくなつてしまつた。卽ち不況の重壓は全米を隈なく蔽ひ、自殺者の率が著しく增加して來た。

これと同時に、當時の世相を最もよく現はしたものは映畫と雜誌の廣告である。映畫はどれもこれもギャングものばかり。卽ち人間の絕望が犯罪に赴く要求に投せんとしたのだ。それから雜誌はその廣告に內容を列擧せずして、單に不況切拔に要する勇氣を抽象的に掲げ、これに依つて廣告料を節約すると共に、不景氣に惱める人々を釣らうと云ふのである。この他に海軍省「最近水兵の逃亡者が著し

く減少した」と報告せる事、上等のウイスキーやシャンペーンが非常に安くなつた事、次期大統領候補にクーリッヂを擔ぐ運動が擡頭して來た事等も、この期間の顯著な現象であつた。

以上の他に、ウォール街と共産黨に對する國民の感情の變化した事もこの期間の特筆すべき現象であつた。國民の多數は、この不景氣を招來した者はウォール街であるとなし、從來これに對して非常な憎惡の感情を抱いてゐたが、不況愈々深刻を加へ、これを救濟すべき手段の盡きたる今日、彼等のウォール街に對する憎惡感は、次第に信賴のそれに變つて來たのである。ウォール街は今日の不況の責任者であるが、併し時には好景氣出現の原動力ともなる事がある。この際ウォール街が何とか奇蹟的な方法に依つて、景氣恢復の端緒を着けて呉れ～ばと言ふのである。

次は共産黨に對する國民の感情であるが、從來好景氣時代には、米國人は共産黨など殆んど見向もしないのみならず、これを以つて人道の敵となし、延いて露西亞に對して非常な惡感情を抱いてゐたものである。それが不況の深化と共にこの感情は次第に緩和されて露西亞に對する親善感が著るしく目立つて來た。尤もこの期間にも露西亞の製材が、罪人を使用して作られたものだとの理由で輸入を禁止したり、露西亞の農産物のダムピングを取締つたりした事はあるが、併し彼等が從來抱いてゐた「露國政府乃至共産黨の魔手」なる考へは殆んど一掃され「米國の機械を何千萬弗と買込む國が、米國内の貧弱な共産黨を援助するために、巨額の資金を支出するなどは考へられない」と云ふやうにな

つた。

國民の心理が以上の如き變化をなしつゝある間に、更に形勢を惡化せしめたのは銀行や大産業家の態度であつた。殊に銀行が金融機關たるの本分を忘れて證券の賣買に沒頭せる狀態に對して、國民は從來に見ざる憤懣の意を洩らし、銀行に對する信用は次第に地を拂ふやうになつて來た。

斯く國民の幻滅は、その心境に一大變革を來たしたが、米國だけの活動では效果なしと弱音を吐くやうになるべきものなく、結局この不況を救ふの途は、政府のこれに應ずべき政策は依然として見た。卽ちこの不況は世界的のものであるから、主要金本位國が協力し各自の中央銀行の共同戰線に依つて、始めて救濟する事が出來ると云ひ出したのである。

第四節　次のデフレーション

米國の不況はモラトリアムの失敗と共に愈々重大性が加はつて來た。英國が金本位を離脫した月から、米國の金は次第に佛蘭西銀行に流出し、一九三二年六月下旬までに約十二億五千萬弗の金が歐洲に現送された。この中佛蘭西に行つたのは七億五千萬弗ばかりで、佛蘭西の金保有量は、これで米國と略々同額（最初は米國の半分であつた）となつた。

斯くて米國内では、增稅、土木事業、失業救濟、年金支拂等の諸問題と共に、金本位維持の問題が

盛んに論議されるやうになり、議會は徒らに經費の節約を論じ、販賣稅の創設を議してゐたが、年金法案が葬らるゝに及んで、米國の金流出は漸く小康を得るに至つた。卽ち經費節約論が勝ちを制して、第二のデフレーションが行はれるやうになつたのだ。

デフレーションは物價の下落であるが、政府はどう言ふものか公債その他の證券の利下を行はない。三年前の公債も今の公債も同じ利子であるから、公債所有者は非常な利益である。ところがこの利子を支拂ふ方はたまらない。物價は下つて借金の利子だけ高く拂はなければならないのだ。一方には夫の死後多額の公債の利子で安逸な生活をしてゐる寡婦があるかと思ふと、他方には利子收入は一文もなく、賃銀は引下げられ、おまけに一九二九年頃高い月賦で買つた家具類を、前の高い割合で支拂はなければならない者が大勢ある。

換言すれば、斯やうなデフレーションは、結局金を貸したり、金を支配する少數の人々の手に社會の實權が移つて行く事を意味するものであつて、社會的に極めて寒心すべき現象である。

理論的にはデフレーションには別に限界はないが、併し餘り行き過ぎると、その長所が影をひそめて結局金を貸す方も借る方も共倒れになるものだ。故にデフレーションは或程度まで進行すれば、これを阻止するために適當なる方法を講ずる必要がある。それ故にその方法の中には、物價を一定のレヴェルに安定せしめる事と、逆にインフレーション政策を採用する事の二つがある。

併し物價を一定のレヴェルに安定せしめる事は、そのレヴェルの程度に依つて、或は最良の策となり、或は最惡の方法となるものであるから、これが實施に當つては非常な注意が必要だ。そこへ行くと第二の方法たるインフレーションは、比較的容易であり安全である。多くの經濟學者はインフレションを目して不景氣の原因をなすものとし、非常に危險視してゐるが、吾人の經驗に依ると、インフレーションの方が遙かに危險である。

元來米國はこれまで成長を續けて來た國であるから、大體に於てその貨幣政策はインフレーションを續けてゐるが、幸にしてカリフォルニアの產金が豐富であつたとき國勢が日に、隆盛を續けたゝめに、インフレーションは殆んど弊害はなかつたのである。インフレーションで失敗したものは最近の獨逸であり、成功したものに佛蘭西がある。佛蘭西は巧みにインフレーションを（フランが一弗に對し五十フランに下落した時に）阻止して、遂に今日の地位を占むるに至つたのである。

デフレーションに伴ふて起る問題は失業である。經費の節約は賃銀切下か解雇であるが、この兩者は往々にして同時に行はれるから厄介だ。斯くて一時影をひそめて居た失業救濟問題は、デフレーションと共に再び米國民の最大關心事となり、「失業救濟の一弗か？一時間の仕事か？」を解決する事が焦眉の急務となつて來た。

失業救濟の要否は上院でも盛んに論議され、上院議員のビンガムの如きは全國各州の知事に宛てゝ

「州民にして饑餓に瀕しつゝある者ありや否や」を照會したりした。この照會に對して四十州の知事から回答があつたがこの中三十九州「州内に饑餓の事實なし」と回答し、ピシショット知事のみが「州民中饑餓に瀕せる者次第に增加しつゝあり」と報告した。

こんな譯で失業救濟問題は容易に決定しかねてゐたが、一九三二年の七月になつて民主黨側から「失業者及び農民救濟のため、政府は公債を發行して三億弗を州及び都市に交附し、別に二百萬弗を失業救濟の土木事業費として支出する事」と言ふ案を提出したが、大統領はこれに對して「救濟費は政府の公債發行に依らず、復興金融會社をして支出せしめ、その額は新生産事業、土木建築事業費として十億弗以上としたい」と主張し、更に都市への金融に反對を唱へ、救濟費は州のみに交附すべきであると述べたが、上院は結局ワグナー案（復興金融會社に三億弗＝利率三分＝を各州に救濟費として支出する權能を與へんとするもの）を可決し、下院は議長ガーナーの「政府は直接救濟費として一億弗を支出すべし」と言ふ案を可決したが、兩院の妥協で結局次の如き案が可決確定された。即ち「復興金融會社は各州に對し三億弗を直接救濟費として融通する事を得」と言ふのである。これが大統領の主張たる「聯邦政府は民間の個人に貸付をなすべからず」と言ふ原則はこれで破壞される事となつた。

第五節　デフレーションの反動

以上の救濟妥協案が出來上るまでには約六ヶ月を要したが、この間に議會は大規模なる復興計畫を樹立し、從來フーヴァー大統領の主張せるデフレーション政策を裏切つたものである。その中で最も顯著なるものは復興金融會社の設立とゴールヅ・ボロー法案の下院通過である。ゴールヅ・ボロー法案は九十億弗の通貨を市場に供給して物價を一九二一——二九年の水準にまで騰貴せしめやうと云ふのである。この法案は下院を通過したゞけで、結局大統領の手許には屆かなかつた。

斯くて復興金融會社は開業以來押すな押すなの繁昌で鐵道、銀行等をはじめ金の必要なものは先を爭ふて融資を申込むやうになつた。卽この會社が出來る前には、一週間に約七十の銀行が潰れてゐたが、金融會社が出來てからは、この數が一週間八行に減少し、その後この數は更に減少した。

併し乍ら銀行は何故か極度に貸出しを警戒したので、預金者は銀行の信用を疑ひ、盛んに預金を引出して貨幣の死藏を開始した。そこで大統領は五月の始めに國民に對して通貨死藏の危險を警告したが、併し通貨死藏の風潮は依然として繼續され、五月の終りには聯邦準備銀行の金準備が最低を示すに至つた。

この危機に臨んでも議會は大統領と同樣に極めて無能であつた。彼等は大統領の行動を手緩るしと

してゐるが、併し彼等の行動も又緊急非常時に當つては同樣にまだるいものである。復興金融會社に救濟資金の融通を許したが、實際に於てはこの救濟費は燒石に水であつた。

そこで七月頃になると議會の無能に對する叫びが直接議員の耳に入るやうになつて來た。第一には院外の控室に押寄せた陳情團體の聲である。第二は街上を練り歩くボーナス軍の示威運動は最も猛烈であつた。

これより先き、フーヴー大統領は一九三一年の九月デトロイトに於て開かれた亞米利加、リジョンの年次大會に臨んで、政府が除隊兵のボーナス支給案に贊成し得ざる所以を縷々說明し、ボーナス軍の要求に對して最後の止めを刺したが、併しボーナス軍の運動はこれがために一層激化し、次の議會が近づくと共に全國各地から有志を糾合しウォルター・Wウオーターズがこれを指揮してワシントンに乘込み、目的を貫徹するまでは一步も退かずと聲明して示威運動を繼續した。彼等はアナコスチア公園にキャンプを張つて本營とし、毎日隊伍を組んで市中を行進し、時々警官隊と衝突を起してゐたが、卽ち七月二十八日に至つて彼等は遂にホワイト・ハウスを包圍して形勢險惡を告げたので、大統領は陸軍長官に命じて軍隊を出動せしめ、武力を以つてボーナス軍をワシントンから驅逐し、その本營たるアナコスチア公園のキャンプを燒拂つた。

この事件は幸にして流血の慘事をこそ惹き起さなかつたが、米國の軍隊が首府で米國市民を攻擊したのは米國史上未曾有の出來事であり、產業の妨害をなさゞる市民に對して、軍隊が戰鬪行爲を執つたのは、南北戰爭以來曾てなきところである。

失業、失業救濟金、デフレーション、反デフレーション、ボーナスの五問題は一九三一年の秋から一九三二年の中頃に亙る約十箇月間の主要問題であつたが、本章及び次章に於ては主としてこれ等五問題の精神及び道義的方面を述べて見やう。

先づ第一に注目すべき點は世人が經濟學に興味を持ち、その複雜性を知りたがつて來た事だ。一九三一年の末から米國民の心を最も多く占領したものは不景氣の問題であり、人々の話題は必らずこの問題に歸著するのが常であつた。蓋し不景氣は世界的でも、直接この影響を蒙るのは國民の各個人だからである。國民の多數が經濟學に異常の興味を持ち始めたのは、決して道樂からではなくして、身に泌みる不景氣風を防ぐ必要からである。

次に失業に對する人々の考へが變つて來た事も見逃す事の出來ない現象である。卽ちこの期間に於ては、失業は一時的のものだと言ふ考へが消え失せてしまつた。換言すれば失業は人生につき物であり、永久的存在だと言ふ風に考へて來たのである。

失業救濟金も米國人は從來その必要を感じなかつたので、これに對して殆んど無關心であつたのみならず、政府から金を貰ふなどは自尊心を傷つくるの甚だしきものとして一顧だも與へなかつたもの

である。これは國民が然るばかりでなく、政府の當局者も又これを原則と心得てゐたのだ。

ところが不景氣が深刻になり、失業者の洪水か起つて來ると、自尊心は饑餓の前には何等の權威なき事が證明されて來た。卽ち失業者側は貰へるのなら失業救濟金でも何でも差支へないと言ふのだ。彼等は最初は「吾々に職を與へよ」と言つてゐたが、最近では「吾々に食を與へよ」と云つてゐる。

併し政府は失業救濟金を支出する事を欲しない。政府が個人に金錢を與へるのは聯邦政府の方針に反すると云ふのである。そこで窮餘の策が失業救濟のための寄附金募集だ。政府の救助を受けるよりも、富者の慈善心にすがる方が却つて自尊心を傷つくるが、失業者はそんな呑氣な事を言つて居られないので、各地の慈善團體は盛んに失業救濟寄金の募集に著手した。

この寄附金募集は最初は相當の成績をあげたが、富者の餘力にも限度があるから、月日の經つにつれて集れる金が減少して行くのは已むを得ない。中には主義として寄附金制度に反對する人も出て來た。フォードの如きがその一人である。元來寄附金は富者に取つては自分の贅澤な生活費の中の、ほんの一部分であり、これを支出する事は何等の痛痒を感じないが、併しこれを出す者は、これに依つて生活する者に對して、非常な優越感を抱くものである。彼等は寄附金を目して不勞所得だと言ふのである。併し失業救濟の寄附金は不勞所得どころではない。失業者に取つては、寄附金は長時間勞働に對する生活標準以下の賃錢を意味する。人から助けて貰ふ事をと考へ、更にその額の少なきに對して不滿を洩らすやうにすらなつて來たのである。

又失業問題の深刻化するにつれて、人々の心は次第に過激になつて來た「革命は饑餓から生れる」と言ふのはマルキシズムの考へ方だが、保守主義者として自他共に許してゐる米國勞働聯合會の會長ウイリアム・グリーンは、勞働者の搾取階級に對して、「搾取階級の人々は革命の起つた國々の歷史をよく見るがよい。革命は常に饑餓から起つてゐる」と警告してゐる。この保守主義者にしてこの言をなすのである。他の者の心境が如何に過激化せるかは多言を費さずして明らかであらう。

以上の他に更に注目すべき米國民の心的變化は、對露承認問題と禁酒法緩和問題とである。これは不景氣とデフレーションに對する一種の反動であるが、兎に角これまで毛蟲のやうに嫌つてゐた露西亞に對して、次第に從來の憎惡感が薄らいで來たのは事實である。

對露通商拒絕は、最初は經濟的及び國際信義的の理由からであつた。就中露西亞が舊帝政時代の債務廢棄を聲明した事は、國際生活上許すべからざる行爲として、クーリッヂ政府は斷然これが承認を拒絕したものである。併し實業家に取つては、露西亞は米國製品の重要な市場であるから、領事のない點や、取引の淸算について多少の懸念を抱きながらも、ゼネラル・モーターやスタンダード石油その他の大會社は、盛んに露西亞と商取引を開始し、一九二九年以後は特にこの必要が感せられたのであつた。

斯くて米國民の對露觀念は次第に變化を來たし、今日では露西亞を承認する事に依つて獨英諸國の享有せる便宜及び利益を獲得せんとする希望は、國民の間に相當根強くなつて來たが、政府の意向はまだ民間のそれ程に變化を來たしてゐない。併し民主黨は共和黨よりも親露的であるから、ルーズヴエルト政府が如何なる對露政策に出るかは興味ある問題である。

次に禁酒法廢棄運動は隨分前から各地に行はれてゐたが、一九三〇年に至つて漸くビール釀造復活の機運が醸成されて來た。これも要するに不景氣のため政府の收入が減じて來たので、ビールの釀造販賣を許し、これに課稅して財源に充てやうと云ふのが動機である。

金錢のために米國人の道義的觀念を棄て、折角これまで續けて來た禁酒を破る事は、精神的に忍びざるところであるが、併し今日の赤字豫算を救濟するにはこれも又已むを得ないであらう。禁酒を破ることは精神的の墮落であるかも知れないが、併し一方禁酒家に言はせると、禁酒は人の權利を侵害するものであるからこれを廢棄するのは人間の本道に還るものだと主張する。それは何れにしても、兎に角不景氣が禁酒法の緩和を助長した事は事實である。

第六節　モラトリアム景氣

一九三一年の六月、フーヴー大統領が提案した一箇年間の國際モラトリアムは、前述の國際協力による不景氣退治が問題になり出してから間もない事であつた。フーヴー大統領のモラトリアムは、提案が餘り突然であつたので、一時世界の視聽を聳たしめたが、米國ではこれを以つて最初單に歐洲が困つてゐる間、その負債を輕減してやる意味のものと解し、各國の中央銀行及び金の神秘性などについては深くこれを穿鑿しなかつたものである。

それ故に當時に於ける米國人の對歐認識は大體次の如きものであつた。

一、佛蘭西は歐洲一の强國であり、金保有國であつて相當な生活をしてゐる。

二、獨逸は將に破產に瀕してはゐるが、併し借金で相當な生活をしてゐる。

三、英國は過去十年間不景氣續きで、一度も繁榮を經驗した事がない。

四、伊太利はその財政次第に堅實味を加へつゝあるが、まだ相當の困難を免かれない。

五、その他の歐洲諸國は、前述の各國をめぐつてその日を送つてゐる。

又國際財政の問題に對しては、「一般に歐洲は貧乏であるから、この際戰債を輕減する事は極めて必要であり、戰債を輕減する事は、やがて各國の外國貿易を增加する所以である。併し戰債を輕減したからと言つて、歐洲は決して好景氣に惠まれるやうな事はない。蓋し戰債は歐洲各國の支出としては、極めて小額に過ぎないからだ」と考へてゐたのである。

併し當時の歐洲の經濟及び財政關係は、決してこんな簡單なものではなかつた。吾々は墺地利が破

産に瀕してゐる事を知らず、更にこの墺地利が英國から借金をして漸く破産を免れてゐる事を知らなかつた。當時英國は墺地利に金を融通するために、佛蘭西から借金してゐたのであるが、米國人にはこの英國の行動が十分に諒解出來なかつたのだ。つまり歐洲諸國の國際政治及び國際財政の關係は、餘りに複雜であり、餘りに神秘に過ぎて、彼等米國人には容易に呑込めなかつたのである。

蓋し獨墺兩國は機會ある毎に接近して共同戰線を張らんとし、佛蘭西政府はこの兩國の提携を、自國の安全の立場から猛烈に反對し、從つて英佛が共同で墺地利を援助する提案には眞向から反對を表明してゐたからである。

然らば何故英國は墺地利に金を貸したか？獨逸は何故に借金で息を繼いでゐるのか？これは政府と民間の金融業者の行動が異なるからである。政府は金を貸す事に反對でも、個人の金融業者は或程度まで投資をやつてゐるのだ。これ即ち墺地利が破産しかけると、一方で佛國が急いでイングランド銀行から金を引揚げながらも、他方では佛國の資本が英國を經て墺地利に注入される所以である。

フーヴー・モラトリアムに斯る込み入つた國際金融關係者は殆んど無關心であつた。彼の目的は、「墺地利が破産すれば獨逸も破産する。獨逸が破産すれば忽ち英國が脅威を受けるが、米國は英國に約五億弗、獨逸に十億弗以上の投資をしてゐるのみならず、その他の歐洲各國にも相當の金が貸付けてあるから、取敢えず獨逸の破産を救ふために、應急の策を執らなければならない」と云ふのがモラトリアムの眞意であつたのだ。卽ち提案を要約すると次の如きものとなる。

一、米國政府は、各國政府間の債務、賠償金及び復興のための債務の支拂ひを元利全部向ふ一箇年間延期する事。但し民間に對する政府の債務はこれを除外す。

二、前項の支拂猶豫は主要債權國に對する政府の債務の支拂が、同じく一箇年延期せらるべき事を條件とす。

三、本提案の目的は債務國に對して一箇年の休養期間を與へ、彼等をしてその繁榮を恢復せしめんとするに外ならない。

このモラトリアム案に對しては、米國內は勿論世界の市場は狂喜してこれを迎へたが、併しこの狂喜は單に一時的のものであつた。提案の眞意が明らかとなり、佛國が文句を竝べ始めるに及んで忽ち冷却してしまつた。六月二十四日に發せられた佛國の對米回答は、無條件賠償金の支拂猶豫に絕對反對を表明したので、大藏長官メロン、國務長官スチムソン等の渡佛となり、すつたもんだの揚句、米佛の妥協が成立したのは七月六日であつた。

併し米佛交涉中に獨逸の危機は更に加速度を以つて進展し、世界の株式市場は幻滅の結果大慘落を演じた。斯くてこの危機を打開するために催された倫敦會議の如きも、單に英國をして不安の念を深めしむるに止まり、獨逸では大銀行は閉鎖し、開業せるものも、預金一割以上の支拂ひを拒絕し、歐

洲の財政制度は根抵から動搖を始めて來た。

斯くて八月にはイングランド銀行は聯邦準備銀行から一億二千五百萬弗の借款をなし、更に同額の金を佛蘭西銀行から借入れたが、それでも追付かないので、更に巨額の借款を米國に申込んで來た。併し乍ら米國の財團は、英國政府が失業の救濟などに餘り金を費し過ぎるから、これを中止しなければこの借款には應ずる事が出來ないと突ばねたものだ。英國の勞働黨內閣が倒壞して、擧國內閣に對し、米佛兩國の財團は四億弗の金を融通して英國の金本位維持を援けんとしたが、併し四億弗は單に英國の金本位制を一箇月間維持せしめたに止まり、九月二十日には英國は遂に金本位を離脫してしまねばならなかつた。

フーヴー・モラトリアムに伴つて起つた株式景氣は、過去三年間に見ざる高潮であつた。過去一箇年間國民に逆らつて苦闘を續けてゐた大統領は、こゝに再び國民の指導として輝しき名を新聞紙上に謳はれるやうになつた。併しこの盛名も好景氣も、權花一朝の夢に過ぎなかつた。佛蘭西が浴せかけた冷水に依つて、米國民の好景氣は忽然として消散したのである。

佛蘭西は由來米國の友人であつた。米國の獨立戰爭に於ても、お互に相援けて來た間柄であるが、彼は今や舊誼を拋つて利己一點張りに直進してゐる。斯くて日の經つに從ひ獨逸は斷崖に垂れた繩の尖端に露命を支へ、その繩の一端は佛蘭西の手に握られてゐる。卽ちフーヴー・モラトリアムは佛蘭西の遲延のためにその本來の目的を失はんとするに至つた。否佛蘭西はモラトリアム案に署名した後に於ても、これをして效果的ならしむる事に反對し、結局獨逸救濟の目的は、その半をも達することが出來なかつた。それでフーヴー大統領も遂に「モラトリアムは何等歐洲を救濟する事が出來なかつた。若し獨逸が救濟出來れば、銀行家は各自の貸付が安全となり、結局各國の利益となるのであるが、佛蘭西にこの理窟が解らないのは不思議でならない」と告白するに至つた。

然らば何故に米國は英國の援助を以つてして失敗したか？　それは要するに米國が佛蘭西を屈服せしむるに足る實力がなかつたからだ。米國は當時佛蘭西よりも多くの金を保有してゐた。故に金力で敗けたのでない事は明らかだ。それでは何で敗けたか？　曰く安定と信用だ。佛蘭西は金の保有量こそ米國に比して劣つてゐたが、その財政は米國に比して遙かに安定であり、國際的に信用が高かつた。これが佛蘭西の勝因である。

以上がモラトリアム劇の終幕であつたが、併し米國はこの失敗に依つて貴重な經驗と敎訓を得た。それは物事をなすに當つては、事前に十分なる識見と强固な意志とが必要だと言ふ事である。米國は戰後の歐洲の出來事中、最も複雜な事件に足を踏み込んだが、併し若し第三者が邪魔をしなければ、この難事業も決して失敗に終るやうな事はなかつたのだ。惜むらくは彼等にこの邪魔物を見通す證見が足らなかつたのである。

第十四章　失業對策

第一節　一九三四年の失業者豫想

然らばその復興事業に及ぼす結果は如何であらうか。假りに一九三四年一箇年の有形的生産額は、一九二三——二五年の平均程度と見る。これは相當に忙しかつた通常時であつたのだから、來年その程度まで往けば結構なのである。それで來年の生産額をそう假定して、一週間の平均時間を四十時間と見る——復興規約の多くはさうなつてゐる。で、一九三三年六月に於ける一人當りの生産高指數を以て割出すと、一九二三——二五年の平均生産額だけのものを造るには、一九二三年——二五年に於ける勞働者數の七一%だけあればいゝことになる。つまり一九三三年六月程度の技術を以てすると、一九二三——二五年に百人かゝつて爲した仕事をば、七一人の勞働者で爲し得るのみならず、勞働時間は却つて短かくて濟む譯になる。

尙この點を確める爲めに Facts for Workers の九月號から數字を引用するがこれは正確である。それによると一九三二年七月から一九三三年七月の間に、製造高に於ては七七%增す、製造の仕事率に於

ては二〇%增す、一人當りの收入は五%增しとなつてゐる。この數字を基に計算してみても、一九二三——二五年に百人かゝつた仕事は、一九三三年七月には七十人でなし、そして時間は四十二時半約四十三時間となる。卽ち前記の計算と殆んど合致する。

去る八月中、紐育タイムスは聯邦準備局の數字に基づいて、一九一九年から一九三三年六月に至る製造工場の有形的生産額と仕事の圖表を掲げてゐた。これを指數に直すと左の如くなる。

一九三三年六月に於ける一人當りの生産高は、一九二〇年一月よりは七〇%高く、一九二九年六月よりも一五%高い。併し勞働時間をも加算して、一人一時間當り生産高を見なければ一層正確とは云へない。が、それには信據すべき數字が得られぬ。「米國近時の社會的傾向」では、一九二八年製造工場に於ける平均は一週間約四十八時間としてある。一九二九年六月には一寸下向きであつたから、それよりも少し減つてゐたらう。一九三三年六月は勞働省の數字では、四十二時六となつてゐる。春の躍動の影響にて、時間外勞働までした工場も多かつたであらうが、幾百萬の勞働者はまだ部分時間勞働に從事し、又仕事分與計畫の下にあつた（この結果は左表の一九三三年三月に於ける一人當り生産額が一九二五年の以下であつたのに、一九三三年六月には激增してゐるので判然する）。それで前指數表よりして次の結論を得る。一九二〇年一月から一九二九年六月の間に於て一人當り生産高は五〇%以上高まり、一九二九年六月から一九三三年六月の間に約三〇%高まつた。併し乍ら生産そのものは、